

北海道立帯広美術館年報
平成15年—16年度

北海道立帯広美術館年報
平成15年—16年度



目 次

目 次	3
展覧会事業	
平成15-16年度コレクション・ギャラリー一覧	4
ひがし北海道:美の回廊	5
渋谷栄一展	6
風景へのまなざし	9
神田日勝と能勢眞美—大地に生きた画家たち	11
版画集の愉しみ	12
半谷学展	14
[虚と実]プリントアートの現在	16
平成15-16年度特別展一覧	17
マン・レイ写真展	19
ヴェネツィアの光と影	34
帯広美術館コレクション選集	38
木のワンダーランド	42
アメリカ現代美術展	46
ローゼンクイスト:〈水の惑星によろこそ〉全シリーズ特別公開	51
安野光雅・絵本の世界展	55
ピカソ、マティスと20世紀の画家たち	60
遊べや遊べ!子ども浮世絵展	65
ピノッキオ★その誕生から現代まで	72
森の薫り、そして巴里の風	79
教育普及事業	
美術講演会	83
特別展セミナー	84
ギャラリー・ツアー	85
アート・ダイアログ	85
ミュージアム・カレッジ	86
土曜映写室／映写室スペシャル	87
トークショー	88
ワークショップ	88
ジュニア・アートウォッチング	89
キッズ・ミュージアム	90
ミュージアム・ミステリー	91
団体オリエンテーション	93
博物館実習	94
移動美術館	95
芸術週間	97
ミュージアム子どもフェスタ／ウィンター子どもフェスタ	98
その他	99
美術作品の収集	
平成15年度作品収集状況	101
購入	101
平成16年度作品収集状況	102
購入	102
受贈	102
図版目録	103
美術作品の貸出	110
特別観覧	111
貸館事業	112
名簿	113
館内案内図	114
建築概要	115
設備概要	115
沿革	116
観覧者数一覧	117

展覧会事業

平成15年度コレクション・ギャラリー一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数
1	ひがし北海道：美の回廊	4月4日(金)～8月5日(火)	99
2	十勝の新時代Ⅵ 渋谷栄一展	8月15日(金)～11月12日(水)	78
3	風景へのまなざし バルビゾン派の画家と写真家	11月21日(金)～3月24日(水)	93

平成16年度コレクション・ギャラリー一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数
1	神田日勝と能勢眞美―大地に生きた画家たち	4月6日(火)～7月14日(水)	79
2	ポर्टフォリオ 版画集の愉しみ	7月23日(金)～10月13日(水)	62
3	十勝の新時代Ⅶ 半谷学展	10月22日(金)～1月23日(日)	71
4	[虚と実]プリントアートの現在	1月29日(土)～3月31日(木)	48

ひがし北海道：美の回廊

会期＝平成15年4月4日(金)－8月5日(火) 99日間

主催＝北海道立帯広美術館

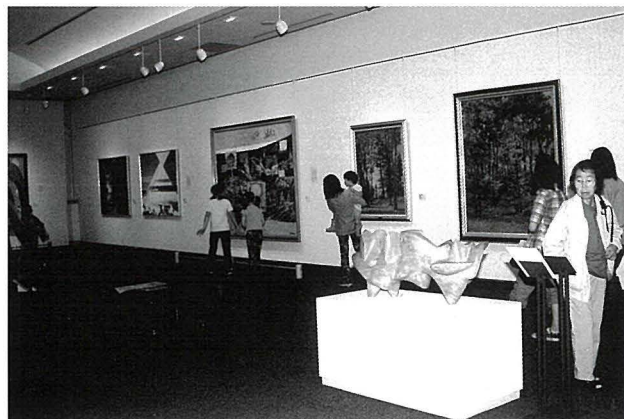
観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下・65歳以上の方および心身に障害のある方
などは無料

()内は10名以上の団体料金

帯広美術館のある北海道東部地域に本格的な美術の歩みが見られるようになったのは、昭和期に入ってからのことである。以降、多くの美術家たちがこの地から生まれ、活発な制作活動を展開してきた。変化に富んだ自然や風土、そうしたなかでの人間の生や営みを題材とした作品、あるいは国内外の美術動向を反映した作品など、さまざまな美術表現が試みられている。

本展では、こうした道東ゆかりの作家たちによる作品を紹介した。草創期の昭和初期から現在までの画家・彫刻家11名が生み出した20作品により、地域の美術の一端をあらためて振り返るとともに、時代を超えて個性を放つ美術作品の魅力にふれる機会とした。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	伊藤 隆二	裏門	1933 (昭和8)	油彩、キャンバス	66.6×91.0
2	伊藤 隆二	初秋	1935 (昭和10)	油彩、キャンバス	80.7×116.8
3	岡沼 淳一	潮行	1986 (昭和61) 鑄造:1991 (平成3)	ブロンズ	150.0×300.0×135.0 (中庭展示)
4	岡沼 淳一	MONSOON	1988 (昭和63)	木	185.0×44.3×190.0
5	神田 日勝	瘦馬	1956 (昭和31)	油彩、板	52.3×61.0
6	神田 日勝	画室 D	1967 (昭和42)	油彩、板	163.3×183.0
7	神田 日勝	画室 E	1967 (昭和42)	油彩、板	163.0×183.0
8	小林 満枝	水辺	1977 (昭和52)	紙本彩色	96.8×145.4
9	武田 伸一	凍土	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	182.0×229.0
10	寺島 春雄	柵と人	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	162.1×130.7
11	富谷 道信	マントル対流	1976 (昭和51)	鉄	40.0×40.0×230.0 (ホール展示)
12	富谷 道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木	115.0×30.0×50.0
13	長尾 栄三	山脈の見える風景	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	145.4×112.4
14	長尾 栄三	晩秋の高原	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	130.3×161.8
15	楢原 武正	日の出	1975 (昭和50)	油彩、キャンバス	165.0×132.5
16	楢原 武正	子供	1976 (昭和51)	油彩、キャンバス	135.0×110.0
17	能勢 真美	木々	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	162.1×130.3
18	能勢 真美	門のある風景	1962 (昭和37)	油彩、キャンバス	116.5×91.0
19	森 健二	光年のメロディー No.3	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	130.5×162.5
20	森 健二	光年の導「道」	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス	130.0×162.0

* 寸法は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行×高さ。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

十勝の新時代Ⅵ 渋谷栄一展

会期＝平成15年8月15日(金)－11月12日(水) 78日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下・65歳以上の方および心身に障害のある方
などは無料

()内は10名以上の団体料金

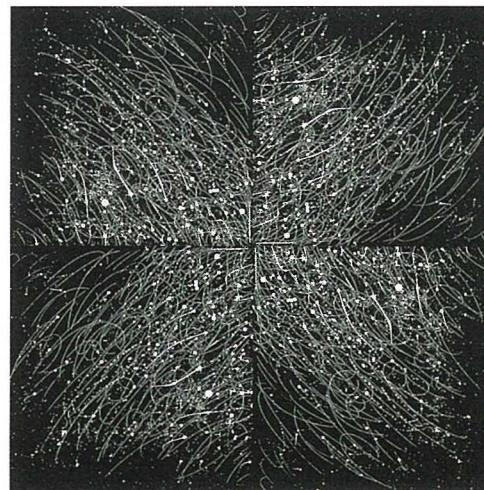
図 録

規格＝27.0×21.5cm／総頁数32ページ

構成＝あいさつ／平利弘「線と色彩の飽くなき探求―抽象と
具象を超えて」／作品図版／出品リスト／渋谷栄一
年譜／参考文献

関連記事

平利弘「渋谷栄一展に寄せて」十勝毎日新聞／11月5日



EIICHI SHIBUYA

図録

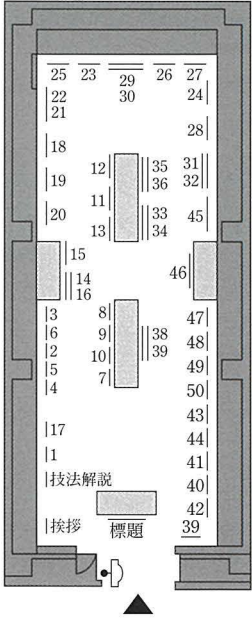


会場風景

本展は、十勝ゆかりの作家をとりあげ、個展形式でその制作活動の現況を紹介するシリーズ企画「十勝の新時代」の第6回展である。1928（昭和3）年帯広に生まれた渋谷栄一は、北海道学芸大学（現・北海道教育大学）で美術を学び、卒業後、東京で開かれた駒井哲郎の個展を見たことがきっかけで、版画制作を始めた。その後、パリに渡りフリードリッヒやヘイターの工房で本格的な版画技術を習得し、細密な線描と淡い色彩により人物像や風景などを描いた作品に詩情あふれる画風を見せる一方、新たな技法の開発にも取り組み、銅版画の技術にコピー機や写真などの技術を組合せ、光や音の律動を想起させるような斬新な抽象作品も手がけている。今展では、グループ展を中心に発表してきた実験的な作品を展示し、版画の新しい表現を追究する渋谷栄一の造形世界を紹介した。

実際の展示では、幅広い版画技術に習熟し、新しい技術の開拓に飽くなき情熱を傾けた作家であることに鑑み、作品解説など技法的な効果と表現との関係を重視した解説資料を可能な限り充実させた。また、展示構成にあたっては、年代順、技法的なグルーピングに配慮しつつ、画面の緊密性が高い版画としての特性をふまえ、展示空間も可能な限り仕切を設け近接して鑑賞出来るよう心がけた。会期中は、道内外から多くの版画愛好者が訪れ、3千人を超える来館者があった。

展示図面

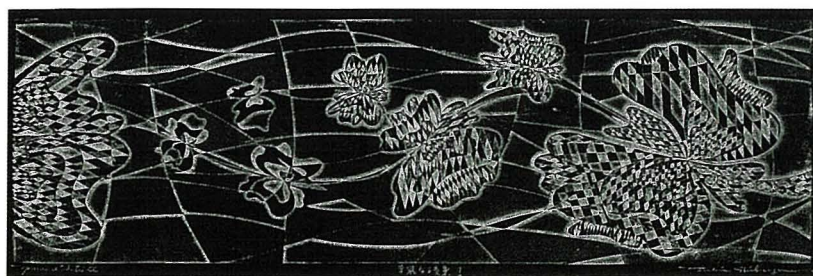


出品目録

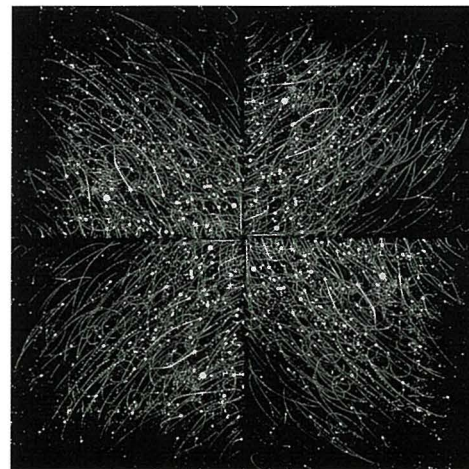
No.	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・材質	所蔵先
1	ある女	1698(昭和43)	60.0×36.5	エッチング、シュガーアクアチント、紙	北海道立帯広美術館
2	モニュマン C	1979(昭和54)	55.3×40.1	シュガーアクアチント、エッチング、紙	北海道立帯広美術館
3	モニュマン D	1979(昭和54)	55.2×40.1	シュガーアクアチント、エッチング、紙	北海道立帯広美術館
4	モニュマン E	1979(昭和54)	57.0×40.8	シュガーアクアチント、エッチング、紙	北海道立帯広美術館
5	モニュマン F	1979(昭和54)	56.4×41.4	シュガーアクアチント、エッチング、紙	北海道立帯広美術館
6	モニュマン H	1979(昭和54)	61.3×38.4	シュガーアクアチント、エッチング、紙	北海道立帯広美術館
7	月夜のマリオネット	1983(昭和58)	70.7×44.2	シュガーアクアチント、紙	北海道立帯広美術館
8	月明りのマリオネット A	1983(昭和58)	85.4×33.8	シュガーアクアチント、紙	作者
9	月明りのマリオネット B	1983(昭和58)	53.8×48.5	シュガーアクアチント、紙	北海道立帯広美術館
10	月明りのマリオネット C	1983(昭和58)	70.8×36.2	シュガーアクアチント、紙	北海道立帯広美術館
11	月明りのマリオネット D	1983(昭和58)	75.0×55.0	シュガーアクアチント、コラージュ、紙	作者
12	月明りのピエロ D	1983(昭和58)	51.7×49.6	シュガーアクアチント、紙	北海道立帯広美術館
13	月明りのピエロ E	1983(昭和58)	48.8×42.3	シュガーアクアチント、紙	北海道立帯広美術館
14	華麗なる変身 G	1984(昭和59)	36.3×24.5	凹版（カッティングシート）、紙	北海道立帯広美術館
15	華麗なる変身 H	1984(昭和59)	36.3×35.1	凹版（カッティングシート）、紙	北海道立帯広美術館
16	華麗なる変身 I	1984(昭和59)	13.2×42.5	凹版（カッティングシート）、紙	北海道立帯広美術館
17	未来都市	1986(昭和61)	49.4×36.0	シュガーアクアチント、紙	北海道立帯広美術館
18	A n i m a l A	1986(昭和61)	41.5×77.7	シュガーアクアチント、エッチング、コラージュ、紙	北海道立帯広美術館
19	A n i m a l C	1986(昭和61)	37.5×80.0	シュガーアクアチント、エッチング、コラージュ、紙	北海道立帯広美術館
20	A n i m a l E	1986(昭和61)	67.2×34.4	シュガーアクアチント、エッチング、コラージュ、紙	北海道立帯広美術館
21	A n i m a l F	1986(昭和61)	66.3×40.5	シュガーアクアチント、エッチング、コラージュ、紙	北海道立帯広美術館

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・材質	所蔵先
22	A n i m a l G	1986(昭和61)	68.8×36.1	シュガーアクアチント、エッチング、コラージュ、紙	北海道立帯広美術館
23	宙 N o . 1	1990(平成2)	74.2×47.8	カラーコピー、紙	作者
24	宙 N o . 2	1990(平成2)	48.0×74.3	カラーコピー、紙	北海道立帯広美術館
25	宙 N o . 3	1990(平成2)	74.8×48.0	カラーコピー、紙	作者
26	追想 C	1990(平成2)	75.8×41.5	カラーコピー、紙	北海道立帯広美術館
27	追想 D	1990(平成2)	75.5×53.4	カラーコピー、紙	北海道立帯広美術館
28	追想 E	1990(平成2)	75.8×51.2	カラーコピー、紙	作者
29	遊泳 A	1991(平成3)	28.5×149.1	カラーコピー、紙	北海道立帯広美術館
30	遊泳 B	1991(平成3)	28.8×148.1	カラーコピー、紙	北海道立帯広美術館
31	遊泳 C	1991(平成3)	30.0×148.5	カラーコピー、紙	作者
32	遊泳 D	1991(平成3)	30.0×148.5	カラーコピー、紙	作者
33	ディティール '92-A	1992(平成4)	58.9×58.9	カラーコピー、紙	作者
34	ディティール '92-B	1992(平成4)	58.6×58.6	カラーコピー、紙	作者
35	ディティール '92-C	1992(平成4)	59.4×58.7	カラーコピー、紙	作者
36	ディティール '92-D	1992(平成4)	57.3×58.3	カラーコピー、紙	作者
37	5-A	1993(平成5)	27.9×142.6	カラーコピー、紙	北海道立帯広美術館
38	5-B	1993(平成5)	27.7×135.8	カラーコピー、紙	北海道立帯広美術館
39	光	1994(平成6)	20.0×20.1	カラーコピー、色鉛筆、紙	北海道立帯広美術館
40	6-B	1994(平成6)	60.6×60.6	モノクロコピー、色鉛筆、紙	作者
41	6-C	1994(平成6)	60.0×61.0	モノクロコピー、色鉛筆、紙	作者
42	7-A	1995(平成7)	60.6×60.6	モノクロコピー、色鉛筆、紙	作者
43	7-B	1995(平成7)	60.7×60.7	モノクロコピー、色鉛筆、紙	北海道立帯広美術館
44	7-D	1995(平成7)	60.6×60.6	モノクロコピー、色鉛筆、紙	北海道立帯広美術館
45	H 8-A	1996(平成8)	81.0×81.0	凹版凸刷、透明水彩、紙	北海道立帯広美術館
46	H 8-B	1996(平成8)	81.7×122.7	凹版凸刷、透明水彩、紙	北海道立帯広美術館
47	H 8-C	1996(平成8)	40.7×40.4	凹版凸刷、透明水彩、紙	北海道立帯広美術館
48	H 8-D	1996(平成8)	40.7×40.5	凹版凸刷、透明水彩、紙	北海道立帯広美術館
49	H 8-E	1996(平成8)	40.9×40.9	凹版凸刷、透明水彩、紙	作者
50	H 8-F	1996(平成8)	40.7×41.0	凹版凸刷、透明水彩、紙	北海道立帯広美術館

* 寸法は縦×横。



「華麗なる変身Ⅰ」



「H8-A」

風景へのまなざし バルビゾン派の画家と写真家

会期＝平成15年11月21日(金)ー平成16年3月24日(水)

93日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下・65歳以上の方および心身に障害のある方
などは無料

()内は10名以上の団体料金

関連記事

「バルビゾン派絵画、写真51点」北海道新聞(夕刊)／12月16日



会場風景

19世紀中頃のフランス、パリ近郊のバルビゾン村には多くの画家が集まり、フォンテーヌブローの森の豊かな自然景観やバルビゾン村の農村風俗を主題に数多くの絵画が制作された。同時に、写真術が登場して間もないこの時代、複雑で微妙なニュアンスに富んだ自然は格好の被写体となり、写真制作の舞台としても注目された。

写真の持つ精密な再現性や記録性には時代の関心が集まり、画家の中にもバルビゾンの風景を記録した写真を資料として所持する者がいたり、一方、写真家の方では画家と肩を並べるような自然との深い交感を表現する者が現れるようになった。

本展では、バルビゾン派の作品を中心に西洋の美術作品の収集を進める帯広美術館のコレクションから、画家と写真家たちが競い合い、あるいは交流する中から生み出していった、バルビゾンの田園や農村風景をとらえた絵画と同時代の写真作品を併せて展示し、その魅力を紹介した。

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	E.A.ラヴィエイユ	村の眺め	19世紀後半	油彩、板	32.8×56.0
2	L.リッシュ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7
3	Th.ルソー	ビオーの平原	1848頃	クリシェ＝ヴェール、紙	21.8×27.7
4	トーバン	自然の習作	19世紀後半	鶏卵紙プリント	18.2×25.1
5	W.H.ハリソン／M.ツイーム	フォンテーヌブローの森	1870頃	鶏卵紙プリント	17.4×19.5
6	A.ブリッケ	狼溪谷 フォンテーヌブローの森	1863／65	鶏卵紙プリント	17.7×24.0
7	A.キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.3×24.7
8	C.ファマン	ダニョーの沼	1874	鶏卵紙プリント	19.3×25.0
9	C.ファマン	〈樹木〉	1874頃	鶏卵紙プリント	25.9×19.5
10	C.ファマン	〈沼地〉	1874頃	鶏卵紙プリント	20.3×25.9
11	Th.ルソー	ビオーのサクランボの木	1848	クリシェ＝ヴェール、紙	22.1×27.7
12	Th.ルソー	樺の木と岩	1861	エッチング、紙	12.7×17.2
13	C.F.ドービニー	羊の柵囲い	1860	エッチング、紙	18.4×34.3
14	P.ユエ	フォンテーヌブロー付近	1866	エッチング、紙	19.3×28.0
15	A.キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5×23.5
16	A.キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5×25.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
17	F.L.フランセ	風景 丘陵の牛	1859	パステル、紙	54.7×82.6
18	K.ボドメール	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩、キャンバス	101.0×81.0
19	トーパン	自然の習作	19世紀後半	鶏卵紙プリント	11.8×16.8
20	A.キネ	フォンテーヌブローの森	1868頃	鶏卵紙プリント	24.9×19.3
21	ジエグレール	自然の習作	1870年代	鶏卵紙プリント	25.7×21.0
22	J.F.シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4×100.4
23	J.デュブレ	水飲み場	19世紀後半	パステル、紙	80.0×98.8
24	A.ド・クニフ	春の水辺	1875頃	油彩、キャンバス	75.0×150.4
25	C.E.ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865-70頃	油彩、キャンバス	81.2×65.0
26	C.E.ジャック	オランダ牛	19世紀後半	エッチング、紙	11.0×17.9
27	C.E.ジャック	雄鶏と雌鶏	19世紀後半	エッチング、紙	12.1×17.0
28	A.アロンジェ	池の水門	1879	リトグラフ、木炭、紙	55.7×41.6
29	C.ファマン	〈牛〉	1874頃	鶏卵紙プリント	11.7×16.7
30	C.ファマン	〈羊の群れ〉	1874頃	鶏卵紙プリント	11.4×16.4
31	C.ファマン	〈荷馬車〉	1874頃	鶏卵紙プリント	12.0×17.4
32	A.キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.2×24.3
33	不詳	〈自然の習作〉	19世紀後半	鶏卵紙プリント	19.3×22.6
34	A.キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	24.7×19.2
35	トーパン	〈自然の習作〉	19世紀後半	鶏卵紙プリント	18.0×23.9
36	J.F.ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0×34.0
37	J.F.ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2×25.0
38	C.E.ジャック	水飲み場	19世紀後半	エッチング、紙	14.5×21.0
39	C.E.ジャック	豚飼いの少年	19世紀後半	エッチング、紙	11.5×17.7
40	C.E.ジャック	蹄鉄場	1865	エッチング、紙	12.8×19.3
41	C.E.ジャック	夏	19世紀後半	エッチング、紙	12.8×9.7
42	ジエグレール	自然の習作	1870年代	鶏卵紙プリント	21.3×26.7
43	A.キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	24.2×19.7
44	G.クールベ	釣り人のいる風景	1870	油彩、キャンバス	60.0×73.0
45	J.デュブレ	ベリー地方の農家	1830年代	油彩、キャンバス	45.7×67.3
46	L.シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンバス	32.0×47.5
47	A.キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.0×24.8
48	C.ファマン	〈雌牛〉	1874頃	鶏卵紙プリント	10.4×17.2
49	A.キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	18.3×24.8
50	L.シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼いの	1872	油彩、キャンバス	69.1×99.8
51	C.トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6×99.7

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



ファマン「ダニョーの沼」



クニフ「春の水辺」

神田日勝と能勢眞美—大地に生きた画家たち

会期＝平成16年4月6日(火)－7月14日(水) 79日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般150(120)円、高大生90(60)円

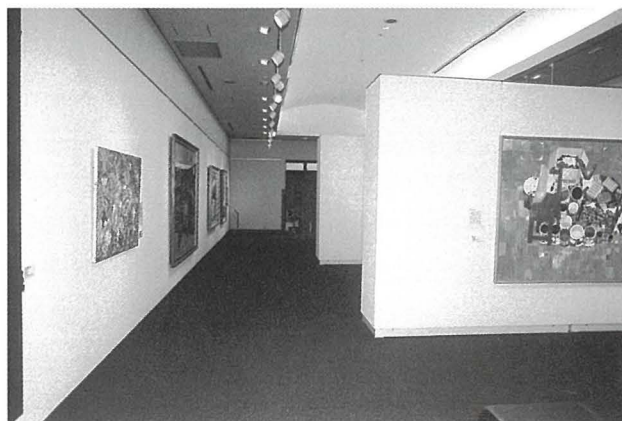
中学生以下・65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

()内は10名以上の団体料金

山河や海に囲まれ、自然がさまざまな相貌を見せる道東の地では、多くの画家たちが風景や人々の生活を描いてきた。その主題や描法は多岐にわたるが、この地方の厳しくも豊かな風土を彼らの制作活動の原点ととらえることもできる。

なかでも、農民としての生活の中から独自のリアリズムを展開した神田日勝や微妙な光や澄んだ空気を的確にとらえ風景描写において優れた成果を遺した能勢眞美をはじめとして、伊藤隆二、竹山義雄、望月正男ら道東の地で長く活動が続けた美術家たちの作品には、道東の変化に富む豊かな大自然やそこに営まれる人間生活に根ざした大地の匂いを感じられる。また、この地の自然や大地からインスピレーションを得て、それを抽象的な造形に昇華させている寺島春雄や檜原武正の制作のうちにも北方の風土の血が脈打っていると言えよう。

本展では、個性豊かな道東ゆかりの美術家を取り上げ、風土に根ざして描き表した絵画世界を当館の所蔵作品により紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作品名	作家名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	池のほとり	伊藤 隆二	1931	油彩、キャンバス	72.8×91.0
2	瘦馬	神田 日勝	1956	油彩、板	52.3×61.0
3	画室D	神田 日勝	1967	油彩、板	163.3×183.0
4	画室E	神田 日勝	1967	油彩、板	163.0×183.0
5	人と牛 B	神田 日勝	1968	油彩、板	183.5×182.5
6	凍土	武田 伸一	1966	油彩、キャンバス	182.0×229.0
7	早春山野	竹山 義雄	1978	油彩、キャンバス	130.6×162.0
8	柵と人	寺島 春雄	1957	油彩、キャンバス	162.1×130.7
9	北の碑	寺島 春雄	1962	油彩、キャンバス	130.7×162.4
10	赤の原野	寺島 春雄	1959	油彩、キャンバス	131.3×194.3
11	山脈の見える風景	長尾 栄三	1977	油彩、キャンバス	145.4×112.4
12	冬の街 (E)	檜原 武正	1979	油彩、キャンバス	96.5×130.0
13	大地/開墾'93-A	檜原 武正	1993	塗料、麻布、金属、廃品、釘、針金、トタン板	230.7×186.0
14	木々	能勢 眞美	1958	油彩、キャンバス	162.1×130.3
15	樹列	能勢 眞美	1966	油彩、キャンバス	145.5×89.5
16	樹草	能勢 眞美	1973	油彩、キャンバス	97.0×145.5
17	草木の径	能勢 眞美	1973	油彩、キャンバス	89.0×130.0
18	落日	望月 正男	1977	油彩、キャンバス	112.1×145.5

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

ポートフォリオ
版画集の愉しみ

会期＝平成16年7月23日(金)－10月13日(水) 62日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般150(120)円、高大生90(60)円
中学生以下・65歳以上の方および心身に障害のある方
などは無料
()内は10名以上の団体料金

版画は、しばしば何枚もの作品を収めた版画集として出版される。そこでは、連作という性質を生かし、進行する物語を表したり、日記をつけるように作品を制作したり、また、あるテーマをめぐって連鎖するイメージを展開するなど、単独の作品では不可能なさまざまな試みが行われている。

もちろん一点一点を独立した作品として鑑賞することもできるが、個々の作品を全体に関連づけながら味わうのが、版画集本来の愉しみかたであろう。

本展では、当館が所蔵する7点の版画集を79点の全作品を通して展示し、その魅力を味わってもらう機会とした。



会場風景

出品目録

No.	作品名	作家名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	『祖国への旅』				
1	出発	北岡 文雄	1947	木版、紙	11.0×13.0
2	母と子	北岡 文雄	1947	木版、紙	17.5×13.0
3	木蔭の休息	北岡 文雄	1947	木版、紙	14.0×18.5
4	野宿の夜	北岡 文雄	1947	木版、紙	11.0×13.0
5	部落を通る	北岡 文雄	1947	木版、紙	14.0×18.5
6	渴き	北岡 文雄	1947	木版、紙	13.0×18.4
7	雨の日	北岡 文雄	1947	木版、紙	10.8×12.9
8	太車の旅	北岡 文雄	1947	木版、紙	14.0×18.5
9	収容所の人々	北岡 文雄	1947	木版、紙	11.0×14.0
10	新しい寡婦	北岡 文雄	1947	木版、紙	11.0×13.0
11	杖をつく老人	北岡 文雄	1947	木版、紙	18.0×11.0
12	引揚者の顔 (A)	北岡 文雄	1947	木版、紙	16.3×10.8
13	引揚者の顔 (B)	北岡 文雄	1947	木版、紙	19.2×12.7
14	足を洗う	北岡 文雄	1947	木版、紙	17.5×15.0
15	孤児	北岡 文雄	1947	木版、紙	13.0×11.1
16	船艘	北岡 文雄	1947	木版、紙	13.9×18.5
17	上陸前のDDT	北岡 文雄	1947	木版、紙	10.9×13.0
2	『ギリシャ神話』				
1	ゼウス	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	34.9×26.6
2	バルナッソス山とムーサたち	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	24.5×33.3
3	レムノス島のアルゴナウタイ	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	24.6×34.0
4	プロメテウス	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	33.3×24.6
5	牧神の夜	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	24.1×33.5
6	テセウスとケンタウロス	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	24.9×33.7
7	アマゾンと戦うヘラクレス	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	33.2×24.5
8	デュオニューソス王とミダス王	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	25.3×34.7
9	牧神の午後	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	24.5×33.2
10	トロイの馬	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	33.5×24.9
11	ゼウスとエウロペ	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	25.0×33.1
12	ヘラクレスとクレタの牡牛	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	24.5×33.0
3	『旧約聖書』				
1	バベルの塔	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	33.0×24.3
2	幸の泉	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	24.5×33.3

No.	作品名	作家名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
3	紅海	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	24.5×33.5
4	金の子牛	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	24.5×33.5
5	チンの荒野	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	24.5×33.4
6	十戒	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	33.0×24.3
7	エリコの陥落〈主の契約の箱〉	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	24.5×33.6
8	ダビデ王	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	33.8×24.6
9	ソロモンの王〈ダビデ王の子〉	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	33.1×24.0
10	イスラエルの王スリヤの王を討つ	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	24.5×33.5
11	王妃エステル	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	33.1×24.4
12	バビロン虜囚	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	24.5×33.2

4 『Bonjour Messieurs et Mesdames』

1	アコーデオニスト	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	17.6×21.3
2	スペイン酒場	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	14.6×20.2
3	サンジェルマンのパブ	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	15.5×19.3
4	カルト	増田 誠	1976	エッチング、紙	15.4×22.2
5	ギャルソン	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	15.4×22.0
6	観光客	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	14.6×20.3
7	モンパルナス	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	18.5×23.3
8	キャフェ	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	17.5×23.6
9	シルク	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	17.3×23.8
10	フルフル	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	17.4×21.3
11	レ・ミュジシャン	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	18.4×23.3
12	リュ・ムフタール	増田 誠	1976	リトグラフ、紙	18.5×24.3

5 『Seed Project』

1	マメゲンバイナズナ 1992年8月6日香川県小豆島寒霞溪	太田 三郎	1992	和紙、種子	20.4×11.7
2	ナナカマド 1992年12月30日北海道小樽市幸	太田 三郎	1992	和紙、種子	20.4×11.5
3	クジャクソウ 1993年6月4日東京都中央区築地	太田 三郎	1993	和紙、種子	20.7×11.7
4	イヌムギ 1993年6月12日東京都練馬区北町	太田 三郎	1993	和紙、種子	20.5×11.7
5	ヤマノイモ 1993年11月3日東京都練馬区北町	太田 三郎	1993	和紙、種子	20.5×11.8
6	センダングサ 1993年12月11日東京都練馬区高松	太田 三郎	1993	和紙、種子	20.5×11.7
7	シロバナタンポポ 1994年4月24日岡山県津山市北園町	太田 三郎	1994	和紙、種子	20.9×11.7
8	チカラシバ 1994年10月14日岡山県津山市山北	太田 三郎	1994	和紙、種子	20.7×11.6
9	ツワブキ 1995年1月3日岡山県津山市北園町	太田 三郎	1995	和紙、種子	20.8×11.7
10	ヘリクリサム 1995年7月26日山形県山形市霞城公園	太田 三郎	1995	和紙、種子	20.8×11.7

6 『飛んだえんぴつ』

1	まどの氷	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
2	にじ	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
3	星	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
4	青い空のような花	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
5	ぶた	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
6	バレンタインデー	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
7	おとうさんのちんこ	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
8	飛んだえんぴつ	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7

7 『男と女』

1	男と女 (1)	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	37.1×52.7
2	男と女 (2)	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	52.1×37.8
3	男と女 (3)	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	36.2×53.0
4	男と女 (4)	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	51.9×37.0
5	男と女 (5)	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	52.0×37.5
6	男と女 (6)	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	38.8×53.7
7	男と女 (7)	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	52.6×38.4
8	男と女 (8)	矢柳 剛	1982	シルクスクリーン、紙	53.0×38.8

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

十勝の新時代Ⅶ 半谷 学 展

会期＝平成16年10月22日(金)－平成17年1月23日(日)
71日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般150(120)円、高大生90(60)円

中学生以下・65歳以上の方および心身に障害のある方
などは無料

()内は10名以上の団体料金

関連事業

ジュニア・アートウォッチング

「美の現場＝半谷 学 すくいとられる精霊」
かたち

講師＝半谷 学 氏 (造形作家)

日時＝8月7日(土)～8日(日) 午前10時～午後3時30分

会場＝当館講堂・中庭

トークショー

「出会いと再生の物語－半谷学のフレイバー・ワーク」
リサイクル

講師＝半谷 学 氏 (造形作家)

日時＝10月23日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

図 録

規格＝27.0×21.5cm／総頁数24ページ

構成＝あいさつ／平利弘「往還する造形－しなやかな詩的感性
の行方」／作品図版／半谷学「わすれられたもの」／ワ
ークショップの事業写真／半谷学略年譜／出品リスト

関連記事

塚本博隆「十勝人」北海道新聞(夕刊)／11月10日

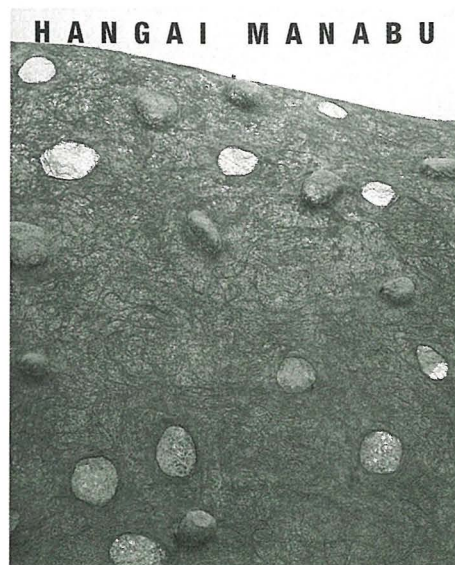
古家昌伸「展覧会 半谷学展」北海道新聞(朝刊)／12月28日

本展は、十勝ゆかりの作家をとりあげ、個展形式でその制作活動の現況を紹介するシリーズ企画「十勝の新時代」の第7回展である。今回は帯広市出身の造形作家・半谷学(はんがい・まなぶ)の作品を紹介した。

武蔵野美術大学で美術を学んだ半谷学は、ホソジズモといわれる海藻をベースにした紙の立体造形や、その制作体験を軸とするワークショップを中心に活動を続け、国内外のさまざまな展覧会やアート・イベントで注目を集めている。

半谷にとって、海藻紙の原料となるホソジズモとの出会いが大きな転機となった。養殖カキの生育を妨げるこの海藻は、やっかいものとして捨てられていたが、紙の素材としての可能性は計り知れないものがあつた。ホソジズモは、素材としての扱いやすさにとどまらず、紙に強靱さと、独特の透明感のある光沢を与え、魅力的な素材として蘇った。

この作家の原動力は、ワークショップの場を通じた人との出会い、作り手や使い手に結びついたモノを通じた人との出会いであつた。そこから再生がこの作家の重要なテーマとなり、「捨てら



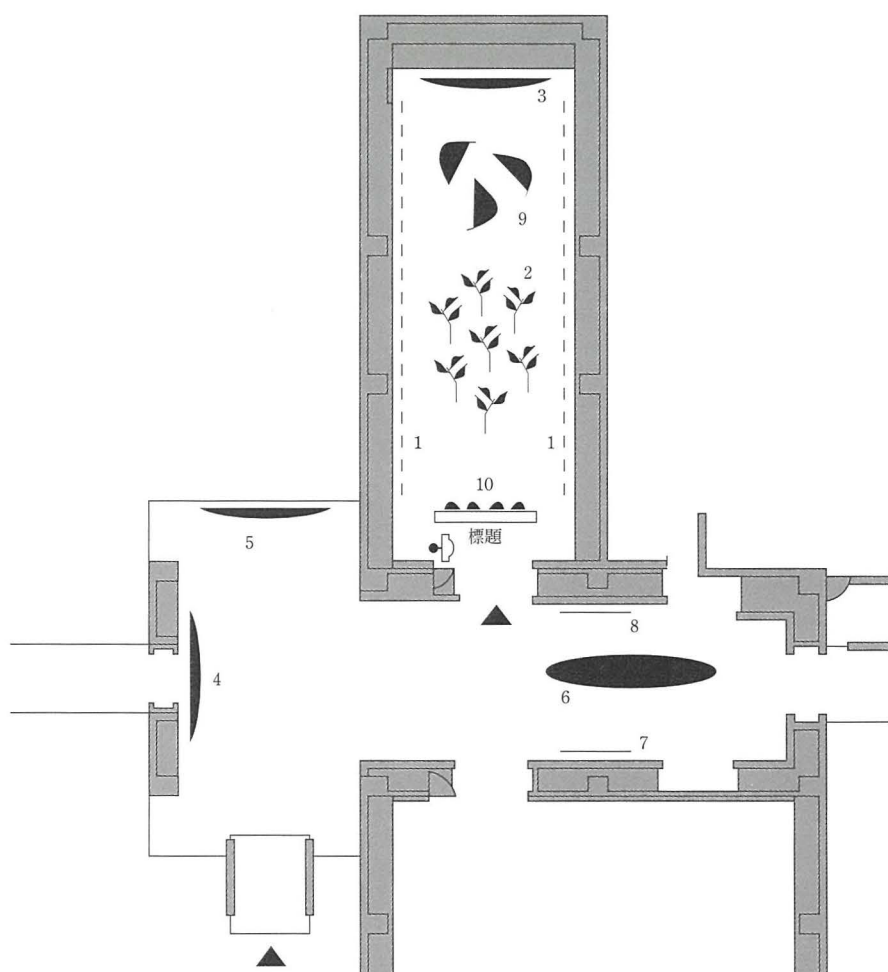
図録



会場風景

れたモノ、忘れ去られたモノを美しいモノとして蘇らせよう」とする視点から、海藻紙にはさまざまな廃棄物や再生素材が封入された。本展に先立って8月7日、8日の二日間にわたって行われたジュニア・アートウォッチングのワークショップ参加者の作品も作家の新たな作品として生まれ変わるようになった。このことも、モノを介した人との出会いへの道筋であつた。

展覧会では、これらの作品を含み、不思議な光をはらむ海藻紙による新作を中心に、この作家の独創的な造形の世界を紹介した。コレクション・ギャラリーの展示室にとどまらず、ロビーやホールの大空間までも埋め尽くすようなスケールの大きな制作ぶりは、訪れた来館者に強い印象を残した。特に、来館者がおこす空気の流れなどに応じて動く作品や、公園の森を借景として刻々表情を変える作品などには大きな関心の目が注がれ、ワークショップも含め美術家の活動としてこの地域に残したものは得難いものとなった。会期中、幅広い年齢層が関心を示し、4千人を超える来館者を迎えた。



展示図面

出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
1	外の人が座っていった	2000～	海藻（ホソジュズモ）紙、原麻、顔料、種、蠟、鉄粉、銅粉、スロヴァキアの草、月夜野町の椿の花、桜の花、ロウ・セルローズ、季節ごとに収集した物	31.8×25.7cmなど60点によるインスタレーション	作者
2	銀座の森 すくいとりたいもの	2003	海藻（ホソジュズモ）紙、原麻、顔料、再生素材（花びら、葉、切り枝、パンフレット、チラシ、紙ナプキン、箸袋、シュレッター紙）	h 250.0×w 150.0×d 150.0cmなどによるインスタレーション	作者
3	月に降る雨	2004	海藻（ホソジュズモ）紙、原麻、顔料、再生素材（アルミリッチ、銅リッチ、鉄リッチ、ハーネス、消磁コイル）	220.0×346.0cm	北海道立帯広美術館（作者寄託）
4	月に吹く風	2004	海藻（ホソジュズモ）紙、原麻、顔料、再生素材（アルミリッチ、銅リッチ、鉄リッチ、ハーネス、消磁コイル）	242.0×400.0cm	作者
5	光を裏がえすための窓	2004	海藻（ホソジュズモ）紙、原麻、再生素材（ガラス・カレット）	402.0×239.0cm	作者
6	歩く人の風の装置	2004	海藻（ホソジュズモ）紙、原麻、顔料	301.5×603.0cm	作者
7	石の葉音 1	2004	海藻（ホソジュズモ）紙、原麻、顔料、再生素材（シュレッター紙）	313.0×193.0cm	作者
8	石の葉音 2	2004	海藻（ホソジュズモ）紙、原麻、顔料、再生素材（シュレッター紙）	308.0×196.0cm	作者
9	月に惹かれるもの	2004	海藻（ホソジュズモ）紙、原麻、顔料、再生素材（ガラス・カレット）	241.5×159.0cmなどによるインスタレーション	作者
10	つながった思いが月に乗る ー8月のワークショップ	2004	海藻（ホソジュズモ）紙、原麻、ワークショップ参加者の作品（プラスチック・タック、缶バッジ、陶器の欠片、切手、卵の殻、貝殻、石、紙屑、再生素材）、照明器具	h 22.0×w 60.0×d 60.0cm h 20.0×w 60.0×d 52.0cm h 19.0×w 60.0×d 42.0cm h 25.0×w 60.0×d 35.0cm 4点組	作者

平成16年度特別展一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主 催 ・ 後 援 ほ か
1	アメリカ現代美術展第2部 ローゼンクイスト:水の惑星に ようこそ全シリーズ特別公開 併陳:戦後日本のポスター	4月6日(火)～ 5月26日(水)	44	主催/北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、NPO十勝文化会議
2	安野光雅・絵本の世界展 『ふしぎなえ』から『旅の絵本』まで	6月4日(金)～ 7月14日(水)	35	主催/北海道立帯広美術館、北海道新聞社、安野光雅・絵本の世界展実行委員会 企画監修/津和野町立安野光雅美術館
3	ピカソ、マティスと20世紀の 画家たち フォーヴィスムとキュビスム	9月3日(金)～ 10月13日(水)	35	主催/北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、十勝毎日新聞社、NPO十勝文化会議、ピカソ、マティスと20世紀の画家たち展実行委員会 後援/フランス大使館、十勝町村会、十勝教育局、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小・中校長会、帯広市校長会、帯広市町内会連合会、帯広市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、NHK文化センター帯広教室、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA 協力/エールフランス航空 協賛/十勝道路(株)、東洋印刷(株)、ホクレン農業協同組合連合会、大成建設(株)
4	歌麿・国貞・広重… 遊べや遊べ!子ども浮世絵展	10月22日(金)～ 12月1日(水)	36	主催/北海道立帯広美術館、NHK帯広放送局、NHK北海道ビジョン、北海道新聞社 後援/文化庁 協力/くもん子ども研究所、公文教育研究会 企画協力/NHKプロモーション 監修/黒田日出男(群馬県立歴史博物館長)、稲垣進一(国際浮世絵学会常任理事)、中城正堯(国際浮世絵学会会員)
5	名作ファンタジーとの再会 ピノッキオ★その誕生から現代まで	12月7日(火)～ 1月23日(日)	35	主催/北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、読売新聞北海道支社、十勝毎日新聞社、美術館連絡協議会、イタリア文化省フィレンツェ地区美術館特別監督局 後援/イタリア大使館、イタリア文化会館、イタリア政府観光局(E.N.I.T.)、国立カルロ・コッローディ財団 協賛/花王株式会社 協力/日本航空 企画協力/R & F インターナショナル
6	森の薫り、そして ^{パリ} 巴里の風 フランスーパリーノバルビゾン	1月29日(土)～ 3月13日(日)	38	主催/北海道立帯広美術館

マン・レイ写真展

会期＝平成15年4月4日(金)－5月21日(水) 41日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、北海道新聞社、マン・レイ写真展実行委員会

協力＝エクセ・コレクション

観覧料＝一般900(700)円、高大生550(400)円、小中生350(200)円
心身に障害のある方などは無料
()内は10名以上の団体および前売り料金

関連事業

特別展セミナー

「マン・レイの芸術―〈光の巨匠〉のポートレート」

講師＝寺嶋弘道(当館学芸課長)

日時＝4月19日(土)、5月17日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

図録

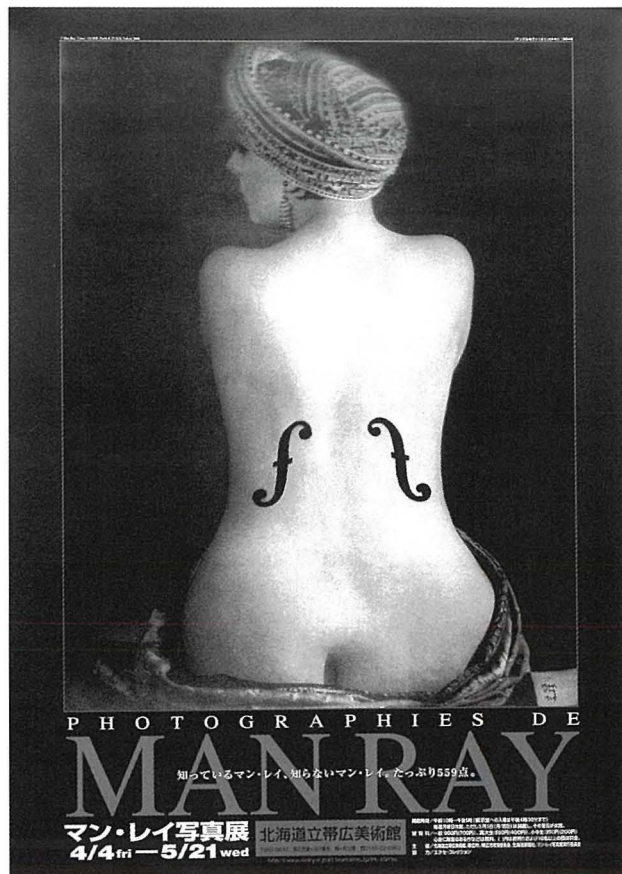
規格＝26.0×18.2cm／総頁数308ページ

構成＝あいさつ／木島俊介「マン・レイ 自由と快楽」／アラン・サヤグ「『ものを映す鏡』のむこうに」／リュシアン・トレイヤール「マン・レイと写真」／カタログ／年譜・マン・レイのことば／テーマ別主要書誌等目録／出品作品一覧

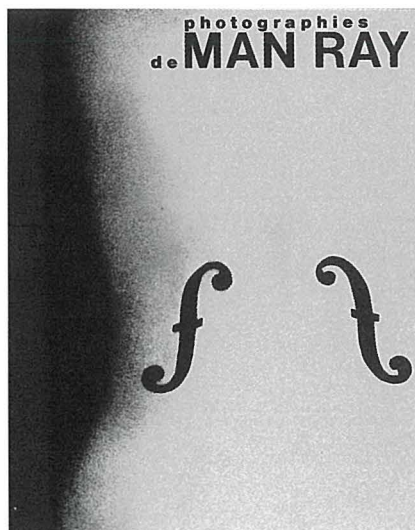
関連記事

瀬尾明彦「時代の感情 見事に表現」北海道新聞(夕刊)／4月16日

寺嶋弘道「光の巨匠 マン・レイの写真芸術 1～5」北海道新聞(朝刊)／4月15日～19日



ポスター



図録

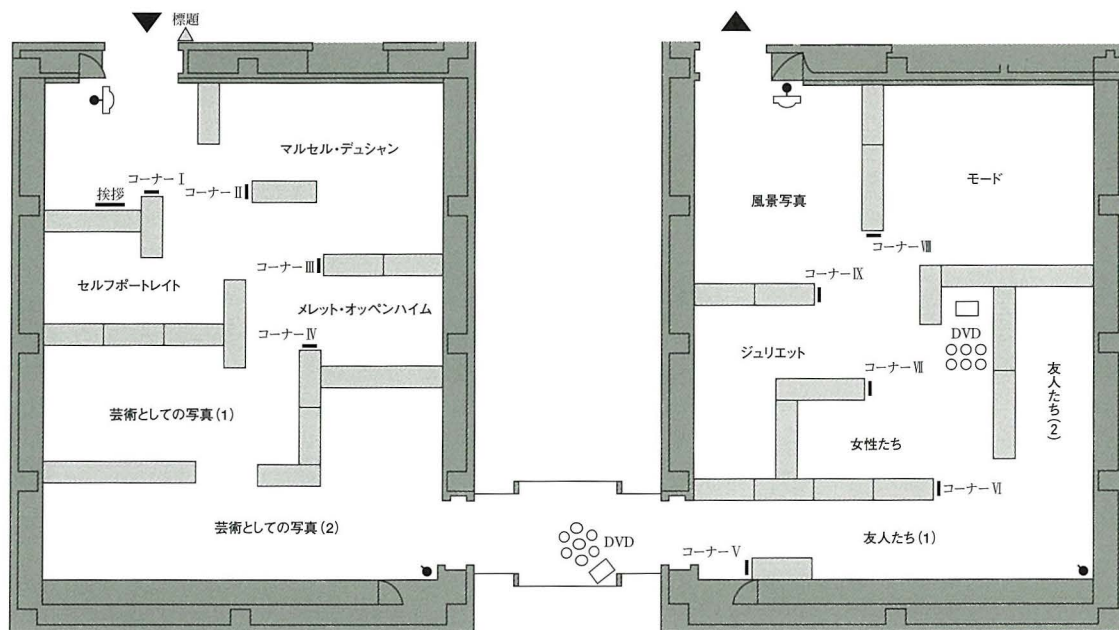
マン・レイ＝光の人。そう名乗った芸術家マン・レイ(1890～1976、エマヌエル・ラドニツキー)は1910年代以降ニューヨークとパリで活躍し、絵画、オブジェ、写真、映画など現代美術のさまざまな分野で前衛的な作品を手がけた美術家である。とりわけ新しい技術であった写真に表現の可能性を見だし、20世紀の芸術表現という地位を写真に与えた業績は今日高く評価されている。

自身の作品を記録するところから出発し、やがてダダ、シュルレアリスムといった前衛芸術運動の中心人物となったマン・レイは、友人の芸術家マルセル・デュシャンの作品や肖像写真の撮影を始めた。1921年パリに渡った後は、ファッション・デザイナーのポール・ボワレの衣裳を撮った写真が評判となり、写真家としての名声を獲得した。また、彼が発見したソラリゼーションや

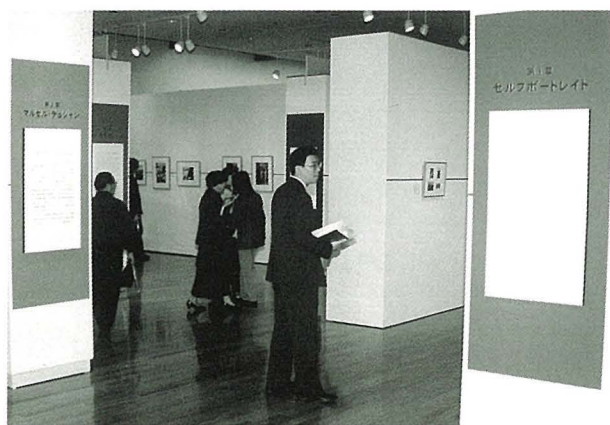
レイヨグラフィなどの実験的な手法は写真のイメージを一新させ、その後の写真芸術に大きな影響を与えていった。

本展は、マン・レイが写真を始めた1915年前後から晩年まで、約60年間にわたる写真作品559点を9セクションに分けて一挙に公開した。セクションは「セルフポートレート」「マルセル・デュシャン」「メレット・オッペンハイム」「芸術としての写真」「友人たち」「女性たち」「ジュリエット」「モード」「風景写真」。また、マン・レイによる短編映画5本(計65分)も上映し、彼の写真／映像表現の全貌を紹介した。

会期中の観覧者総数は4,617人。マン・レイの写真芸術の全貌を取り上げる本格的な展覧会は道内では初めてということもあり、十勝管内のみならず、札幌、旭川などからも熱心なファンが訪れた。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

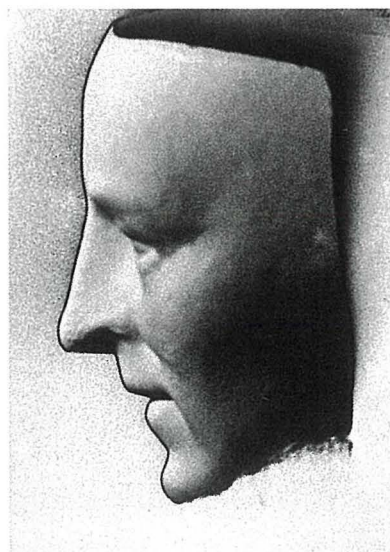
no.	作品名	制作年	プリント(*)	紙寸法 (mm)
I セルフポートレイト				
1	セルフポートレイト / 円窓	1927		407×303
2	セルフポートレイト / 歪み	1932		404×302
3	セルフポートレイト / 歪み	1938頃	V	165×118
4	セルフポートレイト / 歪み			295×207
5	アトリエにて			406×304
6	自殺	1929		303×207
7	仮装 / 「ひとで」	1935		238×179
8	セルフポートレイト			356×258
9	半分のひげのセルフポートレイト	1943	V	590×417
10	セルフポートレイト	1945		310×259
11	マスクをしたマン・レイ	1945頃		347×296
12	ウッドマンを持つアトリエのセルフポートレイト	1927頃	V	228×291
13	セルフポートレイト			239×298
14	セルフポートレイト	1929頃	V	114×84
15	波打ち際のセルフポートレイト		V	112×75
16	ヴォワザンの前でのセルフポートレイト	1930	V	64×108
17	セルフポートレイト	1930頃	V	101×138
18	セルフポートレイト	1925		305×351
19	セルフポートレイト			308×350
II マルセル・デュシャン				
20	マルセル・デュシャン (画家、ダダイスト)	1921頃	V	231×176
21	横顔のマルセル・デュシャン	1920	V	81×58
22	横顔のマルセル・デュシャン	1920		302×238
23	横顔のマルセル・デュシャン	1916頃		296×234
24	ニューヨークのマルセル・デュシャン	1921頃		301×235
25	マルセル・デュシャン	1916		304×239
26	アトリエのマルセル・デュシャン	1920頃		233×300
27	アトリエにて			238×304
28	剃髪	1921		297×232
29	剃髪	1921		298×234
30	マルセル・デュシャン 《回転半球体》	1924		300×217
31	アトリエにて / マルセル・デュシャン 《回転ガラス板》	1920		299×234
32	マルセル・デュシャン 《壺掛け》	1921		236×299
33	デュシャンのアトリエ / 《回転ガラス板》	1920	V	122×86
34	アトリエにて / マルセル・デュシャン 《回転ガラス板》	1920		303×238
35	アトリエのマルセル・デュシャン / 《回転ガラス板》	1920頃	V	125×89
36	アトリエのマルセル・デュシャン / 《回転ガラス板》	1920頃		305×210
37	アトリエのマルセル・デュシャン / 《回転ガラス板》	1920頃		293×230
38	アトリエにて / マルセル・デュシャン 《回転半球体》	1924		295×240
39	アトリエにて / マルセル・デュシャン 《回転半球体》	1924		323×246
40	マルセル・デュシャン 《Tu m'》のあるキャサリン・ドライヤーの書斎	1919		296×235
41	マルセル・デュシャン 《彼女の独身者たちによって裸にされた花嫁、さえも》 (《大ガラス》)	1926		299×223
42	《大ガラス》の下側部の「9つの雄の鋳型」	1915-23		236×303
43	埃の培養	1920		240×303
44	埃の培養Ⅲ	1920	V	126×192
45	埃の培養	1920		307×413

no.	作品名	制作年	7*リット(*)	紙寸法 (mm)
46	シェービングクリームをつけたマルセル・デュシャン / 《モンテカルロのルーレット》のための	1924		408×302
47	シェービングクリームをつけたマルセル・デュシャン / 《モンテカルロのルーレット》のための	1924	V	82×56
48	シェービングクリームをつけたマルセル・デュシャン / 《モンテカルロのルーレット》のための	1924	V	78×55
49	マルセル・デュシャン 《モンテカルロのルーレット》	1924		305×239
50	マルセル・デュシャン 《ローズ・セラヴィ》	1920		280×222
51	マルセル・デュシャン 《ローズ・セラヴィ》	1920		298×240
52	マルセル・デュシャン 《美しい吐息、オー・ド・ヴォワレット》	1921	V	114×89
53	マルセル・デュシャン 《美しい吐息、オー・ド・ヴォワレット》	1921		297×234
54	マルセル・デュシャン 《L.H.O.O.Q.》 1919年 パリ	1964		305×234
55	マルセル・デュシャン 《L.H.O.O.Q.》 1919年 パリ	1964		303×240
56	シネ・スケッチ/アダムとイヴ：マルセル・デュシャンとブローニャ・ペルルミュッテル＝クレール（ルネ・クレール夫人）	1924		304×237
57	横顔のマルセル・デュシャン	1924	V	81×55
58	マルセル・デュシャン/ソラリゼーション	1924	V	88×60
59	マルセル・デュシャン	1924		304×237
60	ラウル・ド・ルシーとチェスをするマルセル・デュシャン	1924		235×305
61	ラウル・ド・ルシーとチェスをするマルセル・デュシャン	1924		304×403
62	仮面 / ソラリゼーション	1930	V	297×210
III メレット・オープンハイム				
63	メレット（マン・レイ友人、シュルレアリスト）とルイ・マルクーシ（画家）	1933		303×238
64	銅版プレス機の後ろのメレット・オープンハイム	1933		301×406
65	銅版プレス機のそばのメレット	1933		406×302
66	メレットとルイ・マルクーシ	1933		400×297
67	メレットとルイ・マルクーシ	1933		404×306
68	メレット / ソラリゼーション	1933		301×215
69	思考に対する物質の優位性	1932		239×298
70	水泳帽のメレット、正面 / ソラリゼーション	1933		407×302
71	メレット・オープンハイム	1933	V	112×80
72	メレット・オープンハイム	1933	V	109×80
73	メレット・オープンハイム	1933	V	110×80
74	メレット・オープンハイム	1933	V	109×81
75	水泳帽のメレット / ソラリゼーション	1933		406×301
IV 芸術としての写真				
76	卵と貝 / ソラリゼーション	1931		304×238
77	モード			302×218
78	合わせた手	1935頃	V	240×179
79	手 / ソラリゼーション	1930頃		389×305
80	『マン・レイ写真集/1920-34年、パリ』の中の作品/ソラリゼーション	1930頃		334×243
81	手の習作	1934		402×303
82	宝石と幾何学的オブジェ	1927頃		193×257
83	シュルレアリスムのコンポジション	1927頃		296×240
84	幾何学的オブジェによるコンポジション	1935頃		288×378
85	宝飾品のための最初の広告写真 / 横顔	1935頃		290×392
86	幾何学的オブジェによるコンポジション/ソラリゼーション	1935頃		291×377
87	宝飾品のための最初の広告写真	1935頃		384×376
88	手、プレスレット、建築デザイン	1935頃		294×227
89	ブラインドの上のジュリエットの手	1943頃	V	171×108
90	ジュリエットの手遊び	1945頃	V	164×115
91	くちびるの上の手	1931		385×283
92	手 / ソラリゼーション	1930頃		304×238

no.	作品名	制作年	プリント(*)	紙寸法 (mm)
93	フェルナン・レジェの映画「バレエ・メカニック」の中のキキ	1924		223×296
94	唇 (リー・ミラー)	1930頃		248×305
95	接吻/ポジ	1930		304×239
96	接吻/ネガ	1930		302×404
97	カザティ侯爵夫人 (ダヌンツィオ友人) / ネガ	1922		304×239
98	カザティ侯爵夫人 / ポジ	1922		305×239
99	ガラスの涙	1932		280×378
100	ガラスの涙	1932		225×299
101	ガラスの涙	1932		303×238
102	ドラ・マール (ピカソ友人、写真家) / ソラリゼーション	1936		238×305
103	頭部、ニューヨーク	1920		393×310
104	顔 / ソラリゼーション			404×303
105	体形	1930頃		303×239
106	長い髪の女性	1929		305×238
107	リー・ミラー	1930頃		399×234
108	リー・ミラー	1930頃		405×304
109	リー・ミラー (マン・レイ助手、写真家)	1930頃		402×302
110	ソラリゼーション	1929頃		305×403
111	モード	1932		352×243
112	ジャクリーヌ	1930		321×263
113	ジャクリーヌ	1930		321×262
114	ジャクリーヌ (モンマルトルのスター)	1930		335×257
115	イルフォクロームによる試作 (緑)	1930		312×418
116	イルフォクロームによる試作 (灰青)	1930		312×418
117	試作	1930		321×420
118	試作 (部分)	1930		320×264
119	横たわるメレット	1933		218×297
120	横たわるメレット	1933		218×299
121	アングルのヴァイオリン (キキ)	1924		303×241
122	横向きのヌード/ネガ	1930		378×146
123	横向きのヌード/ポジ	1930		378×146
124	祈り	1930頃		298×233



「半分ひげのセルフポートレート」



「仮面／ソラリゼーション」

no.	作品名	制作年	プリント(*)	紙寸法 (mm)
125	横たわるニュッシュ (ポール・エリュアール夫人)	1930		228×293
126	からみあった女性ヌード	1936		305×237
127	ヌード / ソラリゼーション	1925		407×302
128	女性のヌード / ソラリゼーション	1931頃		297×220
129	自殺	1930		217×298
130	眠るモデル/ソラリゼーション	1929頃		237×303
131	背中のヌード	1931頃		303×239
132	座るヌード / ソラリゼーション	1930		287×219
133	ヌード	1927頃		296×224
134	ヌード	1930頃		298×221
135	ヌード / ソラリゼーション/ネガ	1931		290×212
136	ヌード / ソラリゼーション	1931頃		299×241
137	体形	1930		300×239
138	理性への回帰	1923		300×217
139	ヌード	1925		397×305
140	ヌード	1927		403×306
141	ヌード	1940頃	V	195×251
142	シュルレアリストの雑誌のためのモード写真風の作品	1931		384×279
143	シュルレアリスム国際展でのデュシャンのマネキン、ギャルリー・デ・ボザール	1938	V	230×146
144	シュルレアリスム国際展のマネキン	1938		304×239
145	シュルレアリスム国際展でのマン・レイのマネキン	1938	V	84×62
146	シュルレアリスム国際展でのマン・レイのマネキン	1938		301×217
147	シュルレアリスト展でのドミンゲスのマネキン	1937	V	229×150
148	贈り物	1921		305×239
149	贈り物	1921		216×156
150	贈り物	1921		202×155
151	ボルトとリング	1931		296×234
152	桃と葉	1931		239×304
153	ジョルジョ・デ・キリコへのオマージュ	1931	V	180×220
154	イジドル・デュカスの謎	1920	V	236×295
155	イジドル・デュカスの謎	1920		237×293
156	謎Ⅱ	1935	V	490×596
157	解剖台の上のミシンと蝙蝠傘の偶然の出会いのように美しい	1933		303×405
158	「危険なダンサー」のあるアトリエ	1930		303×230
159	エマク・バキア	1928		132×197
160	砂利	1933頃		239×301
161	ミニカーの習作	1930-35	V	81×119
162	オブジェ			302×403
163	男性の背中のヌード / ソラリゼーション	1933頃		303×237
164	金銀細工師組合の広告	1933		382×289
165	車輪と影	1935		402×302
166	シュルレアリスト的コンポジション	1930		298×240
167	古典主義 / ヘレナ・ルビンスタインのための試作頭部	1930	V	108×83
168	古典主義 / ヘレナ・ルビンスタインのための試作頭部	1930	V	111×81
169	鏡と古風な頭部	1932		409×302
170	無題			301×234
171	セルフポートレイトのある作品	1933		303×252
172	『マン・レイ写真集/1920-1934年、パリ』のための表紙の習作	1933		400×302
173	コンポジション / 金銀細工師組合のための広告	1932		392×284
174	コンポジション / 金銀細工師組合のための広告	1932		377×288
175	古典主義 / ヘレナ・ルビンスタインのための試作頭部	1930		405×302

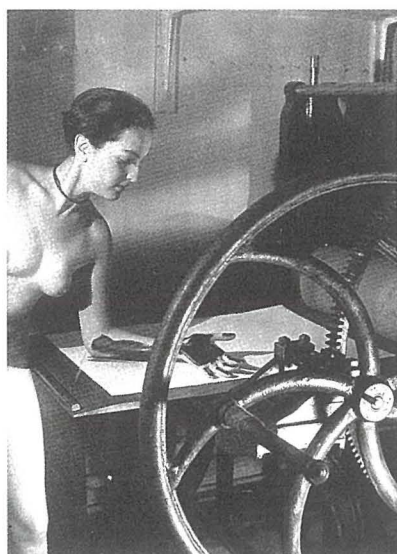
no.	作品名	制作年	プリント(*)	紙寸法 (mm)
176	詩人 / ダヴィデ王	1938		406×303
177	頭部と装身具 / カルティエの広告	1935		300×215
178	無題	1933		301×239
179	頭部とウッドマン夫妻	1926		404×303
180	ウッドマン夫妻	1927		242×300
181	ウッドマン夫妻 / ますます良く	1947	V	195×136
182	テレビの前のウッドマン夫妻	1975	V	183×244
183	テレビの前のウッドマン夫妻	1975	V	192×257
184	ウッドマン・シリーズ	1926頃	V	88×117
185	サド侯爵領	1975	V	290×229
186	尼僧に変装したブルトン	1930		304×237
187	ティタイナが盗んだアンコールワットの仏頭	1928		405×302
188	アフリカ彫刻	1934		303×239
189	アフリカ彫刻	1934		303×239
190	無題 / ソラリゼーション	1933頃		302×236
191	蝶の屏風	1935		399×303
192	花	1931		239×301
193	花 / ソラリゼーション	1931		303×238
194	レイヨグラフ	1923		235×161
195	レイヨグラフ	1926		236×150
196	レイヨグラフ	1926		192×143
197	レイヨグラフ			237×153
198	レイヨグラフ			189×141
199	レイヨグラフ			237×152
200	レイヨグラフ	1928		237×158
201	レイヨグラフ	1927		237×150
202	レイヨグラフ	1922		197×154
203	レイヨグラフ	1923		196×154
204	レイヨグラフ	1924		236×157
205	レイヨグラフ	1925-35		364×288
206	レイヨグラフ			181×145
207	レイヨグラフ	1922		303×238
208	レイヨグラフ	1924		190×142
209	レイヨグラフ	1922		303×238
210	レイヨグラフ (アルファベットと拳銃)	1924	V	278×217
211	レイヨグラフ	1927	V	275×216
212	レイヨグラフ	1923		299×228
213	不安	1920	V	235×294
214	充分なロープ/レイヨグラフ、ソラリゼーション	1944	V	590×445

V 友人たち

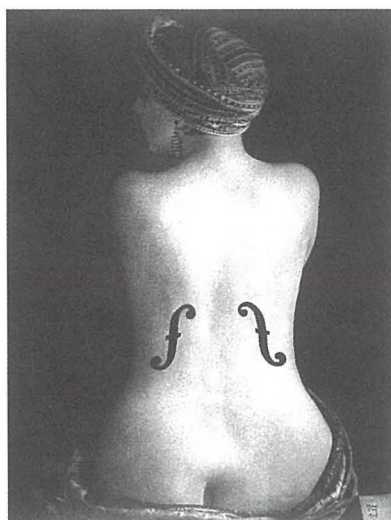
215	マルセル・デュシャンとジョセフ・ステラ (画家)	1920		330×235
216	アンドレ・ブルトン (詩人)	1930	V	86×56
217	アンドレ・ブルトン	1930		289×203
218	アンドレ・ブルトン / ソラリゼーション	1930		301×240
219	アンドレ・ブルトン	1930頃		305×237
220	アンドレ・ブルトン	1930頃		301×239
221	アトリエのジョルジュ・ブラック (画家)	1922頃	V	82×60
222	ジョルジュ・ブラック	1922頃	V	223×165
223	ジョルジュ・ブラック / ソラリゼーション	1933		302×237
224	ジョルジュ・ブラック / ソラリゼーション	1933		302×237

no.	作品名	制作年	プリント(*)	紙寸法 (mm)
225	フランシス・ピカビア (画家、ダダイスト)	1922		302×405
226	トリスタン・ツァラ (詩人、ダダイスト)	1928	V	120×91
227	トリスタン・ツァラ	1924		292×234
228	マックス・エルンスト (画家、シュルレアリスト)	1926頃		403×302
229	マックス・エルンスト / ソラリゼーション	1935		304×228
230	クルト・シュヴィッターズ (画家、ダダイスト)	1936		304×238
231	クルト・シュヴィッターズ	1936		298×228
232	マルセル・デュシャン	1916	V	116×84
233	ジェームズ・ジョイス (作家)	1922	V	123×90
234	ジャン＝ルイ・フォラン	1922	V	115×93
235	ジョルジョ・デ・キリコ (画家)	1925	V	122×91
236	ジョアン・ミロ (画家、シュルレアリスト)	1930	V	121×84
237	サルバドール・ダリ (画家、シュルレアリスト)	1929-31	V	228×177
238	アトリエのアンリ・マティス (画家)	1926	V	91×120
239	アンリ・マティス	1926		299×241
240	ジョルジュ・ブラック	1922		401×305
241	アトリエのパブロ・ピカソ	1922		400×303
242	ダダ・グループ	1922		226×300
243	シュルレアリストのグループ	1925	V	171×123
244	シュルレアリストのグループ		V	121×176
245	詩を朗読するジゼル・ブラシノスを囲むシュルレアリストのグループ	1930		239×303
246	「パラディ」でのシュルレアリストたちの宴	1929		236×303
247	「醒めて見る夢」の会	1924		239×303
248	「醒めて見る夢」の会	1924	V	91×122
249	シュルレアリストの会	1924	V	78×105
250	シュルレアリストのグループ	1924	V	86×96
251	シュルレアリストのグループ	1930	V	69×97
252	ムージャンのパブロ・ピカソ (画家)	1932-36	V	230×173
253	横顔のパブロ・ピカソ	1932	V	290×277
254	正面のパブロ・ピカソ	1932		303×239
255	フェルナン・レジェ (画家)	1922		291×234
256	ハンス・アルプ (画家、シュルレアリスト)	1930		303×237
257	アンドレ・ドラン (画家)	1923		302×408
258	アンドレ・ドラン	1923		304×405
259	アルベルト・ジャコメッティ (彫刻家) / ソラリゼーション	1934		298×239
260	藤田嗣治 (画家)	1930	V	283×228
261	マリー・ローランサン (画家)	1923	V	309×240
262	ジャン・コクトー (詩人)	1924		406×302
263	アレクサンダー・コールダー (彫刻家)	1928		297×237
264	アレクサンダー・コールダー	1928		299×244
265	アントナン・アルトー (詩人)	1926		298×240
266	ジャック・リゴー (詩人、ダダイスト) / 裸のトルソ	1935		407×303
267	アンリ＝ピエール・ロッシュ (作家)	1920頃	V	171×125
268	ロベール・ドロネ (画家)	1922	V	171×129
269	エドガー・ヴァレーズ (作曲家)	1925頃	V	225×170
270	アンリ・カルティエ＝ブレッソン (写真家)			172×129
271	ピカソ (ムージャンでのヴァカンス)	1937		224×320
272	ピカソとマン・レイ (ムージャンでのヴァカンス)	1937		258×375
273	ピカソとエリュアール (ムージャンでのヴァカンス)	1937		221×320
274	ピカソとアディ (ムージャンでのヴァカンス)	1937		223×321
275	ニュッシュ・エリュアール	1935頃	V	118×90

no.	作品名	制作年	プリント(*)	紙寸法 (mm)
276	ヴァランティエヌ・ユゴー (画家、シュルレアリスト)		V	136×115
277	ヴァランティエヌ・ユゴーとポール・エリュアール(詩人)、モンリニョンのグランデル夫人の家で	1935	V	230×180
278	ジャック・ドゥーセ (コレクター) と愛犬	1925		348×240
279	ウォルフガング・パーレン	1935	V	243×189
280	レイモン・クノー(作家)	1930頃	V	121×91
281	レイモン・クノー	1930		299×242
282	アーノルド・シェーンベルク (作曲家)	1926		304×239
283	イゴール・ストラヴィンスキー (作曲家)	1925頃		302×236
284	ルネ・クルヴェル (詩人、シュルレアリスト)	1928		300×268
285	マルセル・ラルピエの映画の主演俳優、ジャン・カトラン	1920-25	V	224×171
286	シンクレア・ルイス (作家)	1925頃		252×209
287	シンクレア・ルイス	1925頃		301×210
288	ガートルード・スタイン (作家)	1926		302×239
289	ガートルード・スタイン	1926		303×240
290	ココ・シャネル (ファッション・デザイナー)	1935頃	V	119×89
291	ココ・シャネル	1935頃	V	119×89
292	ココ・シャネル	1935頃		298×240
293	ココ・シャネル	1935頃		344×259
294	オトン・フリエス (画家)	1930頃		301×234
295	ヴァージニア・ウルフ (画家)	1935		303×239
296	ジャン・コクトーとトリスタン・ツァラ	1924		305×239
297	マン・レイ、リー・ミラー、マックス・エルンスト、マリ＝ベルト・オランシュ	1932頃		405×301
298	エルザ・スキヤパレリ (ファッション・デザイナー)	1934頃		305×236
299	エルザ・スキヤパレリ/ソラリゼーション	1927-28	V	78×58
300	音楽家 / 開いた目			303×239
301	音楽家 / 閉じた目			303×239
302	ヴェレスカ・ゲルト	1925	V	270×185
303	ヴァランティエヌ・ユゴーのデザイン衣装「ロミオとジュリエット」より	1920	V	233×177
304	バルベット (曲芸師)	1926		303×239
305	バルベット	1926		296×219
306	バルベット	1926		299×220
307	バルベット	1926		221×298
308	衣装をつけるバルベット	1926		304×238



「銅版プレス機のそばのメレット」



「アングルのヴァイオリン (キキ)」

no.	作品名	制作年	プリント(*)	紙寸法 (mm)
309	ベレニス・アボット (マン・レイ助手、写真家)	1922頃		304×249
310	スザンヌ・ピウ	1926	V	286×231
311	ディディ・ルノワール	1945	V	346×256
312	長い髪 / ヘレン・タミリス (ダンサー)			405×301
313	ジョルジェット・ルブラン	1925頃	V	328×257
314	アンナ・ド・ノアイユ (子爵夫人、芸術擁護者)	1927	V	305×276
315	プリンセス・ビベスコ	1925-26	V	288×214
316	キュヴァ・ド・ヴェラ伯爵夫人	1935頃	V	229×179
317	ヴァンダ・ヴァンゲン	1929	V	208×103
318	ヴァンダ・ヴァンゲン	1929	V	204×158
319	ヴァンダ・ヴァンゲン	1929	V	205×108
320	ヴァンダ・ヴァンゲン	1929	V	206×107
321	ニューヨークの銀行家ウィーラー夫人	1925	V	230×167
322	マリ＝ベルト・オランシュ	1930	V	291×229
323	サラ・チャーチル嬢	1920年代	V	269×200
324	ブローニャ・ペルルミュッテル＝クレール	1925	V	200×177
325	イリス・トレー (女優)	1923		355×258
326	イリス・トレー	1923		326×257
327	レディ・アブディ	1925	V	119×89
328	レディ・アブディ	1925	V	238×177
329	ナンシー・キューナード、ヴォーグ	1926		303×238
330	ナンシー・キューナード (トリストラン・ツァラ友人)	1926		305×238
331	マン・レイとエヴァ・ガードナー	1950		239×303
332	「パンドラ」のエヴァ・ガードナー	1950	V	107×67
333	「パンドラ」のエヴァ・ガードナー	1950	V	103×65
334	「パンドラ」のエヴァ・ガードナー (女優)	1950		303×224
335	エヴァ・ガードナー	1950	V	112×81
336	エヴァ・ガードナー	1950	V	113×80

VI 女性たち

337	カフェのキキ	1922頃		305×239
338	キキ			297×229
339	キキ (マン・レイ友人、モンパルナスのスター)			302×241
340	ジャコメッティ 《午前四時の宮殿》の前のキキ	1923頃		303×241
341	自殺 (キキ)	1922		404×305
342	ベールをかぶったキキ	1922		300×241
343	キキ	1924	V	109×79
344	キキ	1925頃	V	239×180
345	踊るキキ	1924		300×241
346	グラスを持つ女 (キキ)	1925		350×290
347	腰に布を巻いたキキ	1922頃		294×236
348	背中ヌード	1926		300×241
349	モンパルナスのキキ	1922		302×241
350	モンパルナスのキキ	1922		292×228
351	モンパルナスのキキ	1925頃		303×240
352	ヌードのキキ、ブルターニュ	1925頃	V	114×96
353	ヌード	1922頃		297×238
354	リー・ミラー/ソラリゼーション	1929	V	131×92
355	婦人帽をかぶったリー・ミラーとセルフポートレイト		V	89×130
356	横顔の肖像	1930頃		403×303
357	ターバンをつけたリー・ミラー	1930		310×219

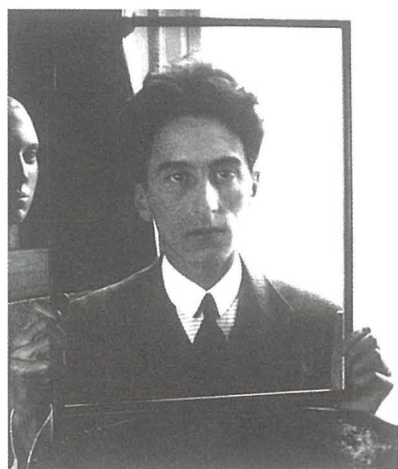
no.	作品名	制作年	プリント(*)	紙寸法 (mm)
358	絹のドレスのリー・ミラー	1930		310×224
359	アディと輪	1937		301×448
360	アディ (マン・レイ友人) とニュッシュ	1937		306×239
361	アディのヌード	1937	V	85×58
362	アディのヌード	1937	V	88×57
363	アディのヌード	1937	V	86×61
364	アディ / 座るヌード	1937	V	77×51
365	アディ / 歪み	1930頃	V	132×88
366	マルティニック島の衣装をつけたアディ	1938	V	172×112
367	アディ	1938頃	V	88×136
368	アディ	1937		294×395
369	アディ	1937		270×372
370	ポール・エリュアールとアディ (ピカソとムージャンでのバカンス)	1937		399×300

VII ジュリエット

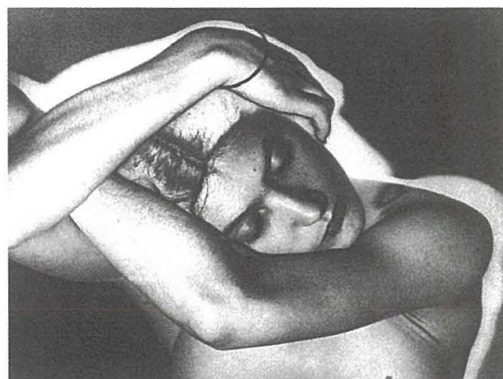
371	のけ反るジュリエットのヌード、手の影		V	247×198
372	腕を上げるジュリエット		V	248×200
373	座るジュリエット (マン・レイ夫人)	1946頃	V	176×220
374	帽子をかぶったジュリエット	1946頃	V	127×176
375	ターバンをかぶったジュリエット	1946頃	V	175×124
376	ジュリエット (ターバンとブレスレット)	1946頃	V	288×243
377	ジュリエット	1945頃	V	242×148
378	ジュリエット	1945頃		293×234
379	ジュリエット	1945頃		299×239
380	水着で横たわるジュリエット		V	116×165
381	うづくまるジュリエット		V	126×176
382	花を飾ったジュリエット	1945	V	323×223
383	ベットのヌード、ジュリエット	1940頃	V	115×71
384	ジュリエット	1943	V	163×116
385	上半身のヌード	1946頃	V	255×181
386	ジュリエットとセルマ・ブラウナー	1945頃		252×204
387	ジュリエットとセルマのヌード		V	176×126
388	刺繍した布を巻いて踊るジュリエット	1950頃	V	245×158
389	刺繍した布を巻いて踊るジュリエット	1950頃	V	250×161
390	横顔、ジュリエット	1943	V	172×123
391	ブラインドの前のジュリエットの頭部		V	251×202
392	ジュリエット/ソラリゼーション	1940頃	V	85×60
393	ジュリエットのポートレイト / ネガ	1945	V	240×154
394	詩人のポートレイト (ジュリエット)	1953-54	V	594×415
395	重厚な首飾りをつけたジュリエット		V	176×128
396	花飾りをつけたドレスのジュリエット		V	176×127
397	手袋をはめたジュリエット		V	241×193
398	黒いドレスのジュリエット	1946		298×239
399	黒いドレスのジュリエット		V	162×106
400	ショールを頭に巻いた黒い服のジュリエット		V	132×142
401	ジュリエット		V	241×192
402	帽子と手袋のジュリエット	1945頃	V	250×200
403	羽と耳飾り、真珠の首飾りで着飾ったジュリエット	1946	V	176×127
404	ウールの花飾りの帽子をかぶったジュリエット	1945頃	V	178×128
405	羽と耳飾り、真珠の首飾りで着飾ったジュリエット	1946	V	251×203
406	帽子をかぶったジュリエット		V	221×151

no.	作品名	制作年	プリント(*)	紙寸法 (mm)
407	とんがり帽子のジュリエット	1945頃	V	251×204
408	とんがり帽子のジュリエット	1945頃	V	251×127
409	真珠と宝石の首飾りと白い頭巾のジュリエット	1949	V	251×203
410	ジュリエット	1949	V	245×199
411	コート姿のジュリエット		V	181×135
412	新しいコートを着たパリのジュリエット		V	252×205
413	椅子に座って食べるジュリエット		V	252×194
414	レインコート姿のジュリエット		V	251×202
415	ジュリエット	1945	V	322×258
VIII モード				
416	モード	1925頃	V	166×90
417	モード	1925頃	V	165×88
418	モード	1925頃	V	188×105
419	モード	1925頃	V	137×98
420	モード	1925	V	118×88
421	モード	1925頃	V	118×89
422	モード	1920-25	V	88×60
423	モード	1925	V	67×44
424	モード	1925	V	68×56
425	モード	1925	V	64×46
426	モード	1925-30	V	146×93
427	モード (ヴォーグ)	1925	V	87×64
428	モード (ヴォーグ)			293×223
429	鏡を持つ女	1929		405×304
430	モード	1925-30		264×374
431	モード	1925-30	V	141×163
432	スキャパレリのモード/ソラリゼーション	1930頃	V	130×91
433	モード	1930頃		405×302
434	モード	1930		403×302
435	モード	1930		385×277
436	モード	1930頃	V	285×162
437	モード	1931		400×304
438	モード			298×237
439	顧客	1931		390×284
440	モード / マダム・ド・グラモン	1930	V	282×225
441	絹のストールと花をあしらった黒いドレス	1933		260×197
442	絹のストールと花をあしらった黒いドレス	1933	V	154×111
443	絹のストールと花をあしらった黒いドレス	1933	V	156×112
444	モード / 帽子	1931		186×245
445	ルイーズブーランジェのモード	1936		252×195
446	モード	1936		304×254
447	モード	1936頃		255×180
448	モード	1936頃		253×191
449	モード	1936頃	V	103×71
450	モード	1936頃	V	121×93
451	モード / ネガ	1930頃		304×205
452	モード / ボジ	1930頃		298×241
453	メレット・オッペンハイム	1936頃		345×252
454	モード、下着 / メレット・オッペンハイム	1933		410×300
455	モード、下着 / メレット・オッペンハイム	1933		380×275

no.	作品名	制作年	プリント(*)	紙寸法 (mm)
456	モード、下着／メレット・オッペンハイム	1933		407×295
457	モード、下着／メレット・オッペンハイム	1933		396×276
458	モード、下着／メレット・オッペンハイム	1935		412×265
459	モード、下着／メレット・オッペンハイム	1935		370×263
460	モスリンのドレス (パリ、ヴォーグ)	1936		301×406
461	アメリカのモード、ハリウッド	1935頃		392×290
462	アメリカのモード、ハリウッド	1935頃		403×292
463	スキャパレリのドレス/ソラリゼーション	1935頃		390×288
464	スキャパレリのためのモードの習作/ソラリゼーション	1935頃	V	141×98
465	スキャパレリのドレス	1935頃	V	138×84
466	スキャパレリのドレス	1935頃		383×283
467	スキャパレリのモード	1935頃		391×293
468	スキャパレリのモード	1935頃		252×195
469	モード	1935		384×278
470	モード		V	159×77
471	モード	1935-37	V	147×78
472	モード	1935頃		389×287
473	スキャパレリのモード	1936		253×196
474	モード	1936		390×290
475	ダンサー	1940	V	201×156
476	ポール・ボワレへのオマージュ / バドヴァの広告	1936		303×238
477	蝶柄のスキャパレリのドレス	1934	V	139×89
478	蝶柄のスキャパレリのドレス	1934		407×299
479	下着のモード	1935		253×193
480	下着のモード	1935	V	370×264
481	ハリウッド (映画衣装)	1935頃	V	111×81
482	ハリウッド (映画衣装)	1940-51	V	110×83
483	ハリウッド (映画衣装)	1935頃	V	155×114
484	モード	1935頃	V	155×113
485	オスカー・ドミンゲスの手車、マドレーヌ・ヴィオネのドレス	1937		297×240
486	イルカ・チェイス	1945頃	V	252×200
487	モード			255×191
488	女と自動車	1925		256×323
489	モード	1925		297×237
490	モード	1925		243×187
491	モード	1925		247×190



「ジャン・コクトー」



「眠るモデル／ソラリゼーション」

ヴェネツィアの光と影 ルネサンスからバロック

会期＝平成15年5月30日(金)－8月5日(火) 58日間

主催＝北海道立帯広美術館

後援＝ポーランド共和国大使館

協力＝ルフトハンザ ドイツ航空

観覧料＝一般1,000(750)円、高大生600(450)円、小中生400(300)円

心身に障害のある方などは無料

()内は10名以上の団体料金

関連事業

美術講演会

「ヴェネツィア－水上の祝祭都市」

講師＝陣内秀信氏(法政大学工学部教授)

日時＝5月31日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「ヴェネツィア派の絵画－主題と表現」

講師＝石尾乃里子(当館学芸員)

日時＝6月28日(土)、7月26日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

土曜映写室

「ヴェネツィアの曙と黄昏」

日時＝6月7日(土) 午後2時～

「ヴィーナスの舞い降りた街」 「ティツィアーノ：ヴェネツィアの巨匠」

日時＝6月21日(土) 午後2時～

会場＝いずれも当館講堂

ミュージアム・ミステリー2003サマー

「光と影の迷宮でんせつ」

日時＝7月12日(土)、7月19日(土) 午前10時～午後4時

会場＝当館講堂、ホール、主展示室ほか

ヴェネツィアン・ナイト－イタリア絵画とワインのタベ

講師＝上田真理氏(日本ソムリエ協会会員)

上映プログラム＝「ヴィーナスの舞い降りた街」

日時＝7月24日(木)、7月25日(金) 午後6時～

会場＝当館講堂

図録

規格＝27.9×22.4cm／総頁数168ページ

構成＝ごあいさつ／グラジナ・バステック「色彩の勝利－14-16

世紀ヴェネツィア絵画の様式と技法」／油彩／ミケー

レ・マリエスキの版画／ベルナルド・ペロットの素描／

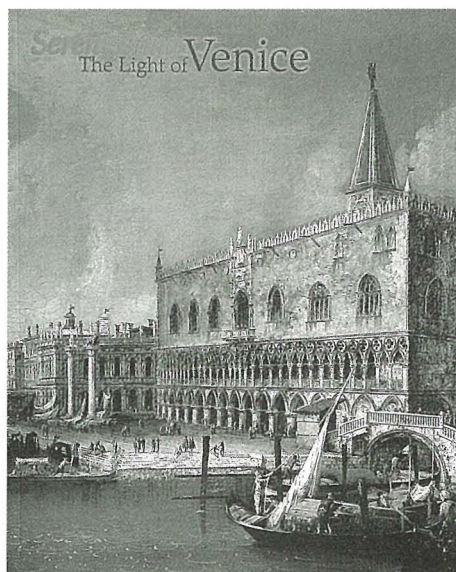
ベルナルド・ペロットの版画／カルロ・ボンティが撮影

したとされる、ヴェネツィアの写真／作品リスト／用語

解説



ポスター

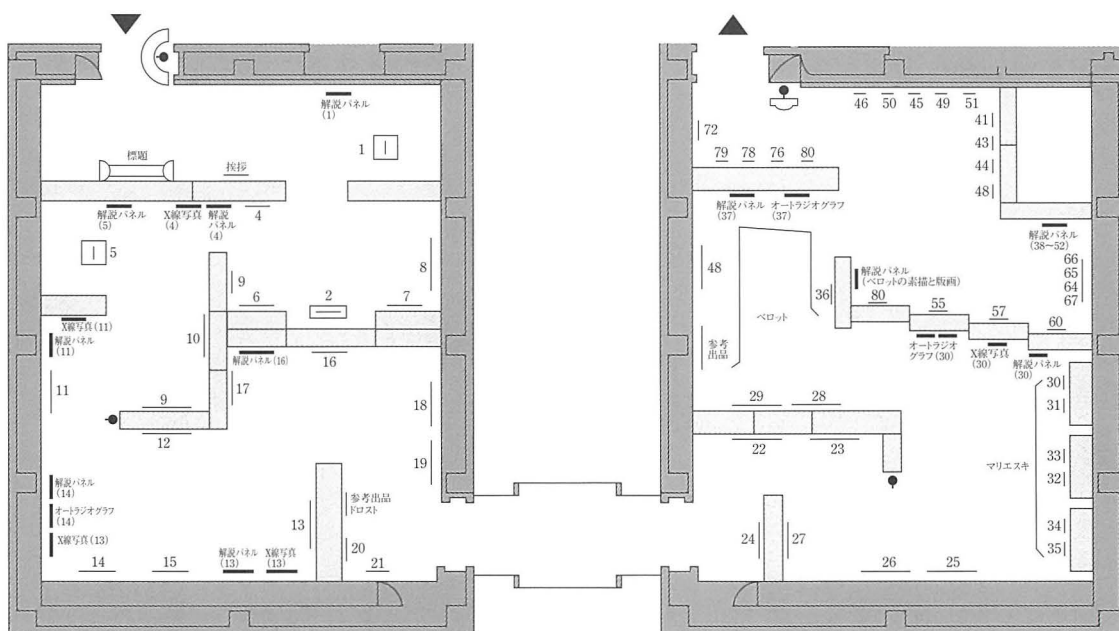


図録

赤尾美樹「名画の秘密X線で捜査 帯広美術館・ヴェネツィア展」
北海道新聞(夕刊)／6月20日
寺嶋弘道、石尾乃里子、浅川泰「ヴェネツィアの光と影 ①～⑤」
十勝毎日新聞／7月20日～27日

この展覧会では、ワルシャワ国立美術館が所蔵する油彩、版画、素描、写真により、14世紀から18世紀にいたるヴェネツィア絵画の世界を紹介した。様式とともに、作品のテーマもさまざまな、ヨー

また会期中には講演会や講座のほか、夜間開館を実施しての教育普及事業を行ない、展覧会とあわせてイタリアの芸術文化を学び親しむ機会とした。会期中には7,577人の来館があった。



35

出品目録

No.	作家名	作品名	技法・材質	寸法(cm)	展示会期
1	ロレンツォ・ヴェネツィアーノ	聖母子と聖ベルナルドゥス	テンペラ、板	74.7×50.5	
2	ピアッジョ・ディ・ジョルジョ・ダ・トラオ	聖遺物付き三連祭壇画	テンペラ、板	49.0×69.0×5.0	
3	ジェンティーレ・ペリーニ	ロレンツォ・ジュスティニアアーニの肖像	テンペラ、板	41.0×29.5	
4	パスカリーノ・ヴェネト	キリスト哀悼	テンペラ、油彩、カンヴァス	67.7×75.0	
5	ニコラオス・ザフーリ	三連のキリスト受難図	テンペラ、板	17.3×13.5,18.2×15.6	
6	ジョヴァンニ・パッティスタ・チーマ・ダ・コネリアーノ	博士達の中のキリスト	テンペラ、油彩、板	54.5×87.0	
7	フランチェスコ・ピッソーロ	聖母子と聖ペテロ、聖カタリナ、洗礼者聖ヨハネ (聖カタリナの神秘の結婚)	テンペラ、カンヴァス (板から移し替え)	72.0×96.0	
8	ジョヴァンニ・ブオンコンシリーオ (通称イル・マレスカルコ)	洗礼者聖ヨハネと聖ステファヌスの間の聖母子	テンペラ、油彩、板	157.0×172.0	
9	ジョヴァンニ・ブージ (通称カリアーニ)	田園の奏楽	テンペラ、油彩、カンヴァス	88.0×163.0	
10	ボニファチオ・ヴェロネーゼ (本名ボニファチオ・デ・ピターティ)	キリストと姦淫の女	テンペラ、油彩、カンヴァス	134.0×171.0	
11	パリス・ボルドーネ	ウェヌスとクビド	テンペラ、油彩、カンヴァス	93.7×143.3	
12	フランチェスコ・パッサーノ・イル・ジョヴァーネ (子)	ウルカスの鍛冶場	油彩、カンヴァス	98.5×136.5	
13	ジョヴァンニ・パッティスタ・ゼロツティ	アポロンとマルシユアス	テンペラ、油彩、カンヴァス	186.0×218.0	
14	ティントレット (本名ヤーコポ・ロブスティ)	ヴェネツィア提督の肖像	油彩、カンヴァス	81.0×68.0	
15	ティントレット (子: 本名ドメニコ・ロブスティ)	キリストの洗礼	油彩、カンヴァス	186.5×116.0	
16	ベルナルド・ストロツィ	聖母の訪問	油彩、テンペラ、カンヴァス	73.0×92.0	
17	作者不詳	≪聖母の訪問≫の欠損部分	混合技法(油彩、テンペラほか)、 カンヴァス	142.0×100.0	
18	ピエトロ・デッラ・ヴェッキヤ	キリストと姦淫の女	油彩、カンヴァス	66.0×117.0	
19	ピエトロ・デッラ・ヴェッキヤ	手相をみてもらう兵士	油彩、カンヴァス	73.0×146.5	
20	カルロット (本名ヨハーン・カール・ロート)	カトーの自殺	油彩、カンヴァス	125.0×105.0	
21	アントーニオ・カルネオ	ルクレティアの死	油彩、カンヴァス	99.0×82.5	
22	マルコ・リッチ、セバスティアノー・リッチ	曲がり道のある風景	油彩、テンペラ、カンヴァス	121.5×171.5	後期※
23	マルコ・リッチ、セバスティアノー・リッチ	橋のある風景	油彩、テンペラ、カンヴァス	121.5×171.5	
24	アントワヌ・ベース	フリードリヒ・エルンスト・フォン・クニプハウゼンの肖像	油彩、カンヴァス(調査段階)	195.0×142.0	
25	ジョヴァンニ・パッティスタ・ピットーニ	バッカスとアリアドネ	油彩、カンヴァス	171.0×130.0	
26	ジョヴァンニ・パッティスタ・ピットーニ	軍神マルスとウェヌス	油彩、カンヴァス	171.0×130.0	
27	フランチェスコ・フォンテパッソ	東方三博士の礼拝	油彩、カンヴァス	107.0×173.5	
28	ガスパーレ・ディツィアーニ	ファラオの王冠を踏みつけるモーセ	油彩、カンヴァス	79.0×96.0	
29	ジャンパティスタ・ティエポロ (工房)	最後の晩餐	油彩、カンヴァス	77.0×78.0	
30	ミケーレ・マリエスキ	バラツツォ・ドゥカーレ (総督宮)	テンペラ、油彩、カンヴァス	41.0×52.0	
31	ミケーレ・マリエスキ	リアルト橋	テンペラ、油彩、カンヴァス	41.0×52.0	
32	ミケーレ・マリエスキ	宮殿の建築奇想画 (アーキテクチュラル・ファンタジー)	テンペラ、油彩、カンヴァス	35.7×55.5	
33	ミケーレ・マリエスキ	監獄の建築奇想画 (アーキテクチュラル・ファンタジー)	テンペラ、油彩、カンヴァス	36.0×56.5	
34	ミケーレ・マリエスキ、 フランチェスコ・アルボット (?)	古いアーチのある風景	テンペラ、油彩、カンヴァス	36.0×57.0	
35	ミケーレ・マリエスキ、 フランチェスコ・アルボット (?)	村の風景	テンペラ、油彩、カンヴァス	36.0×57.0	
36	ベルナルド・ベロット	ザクセンのビルナとゾンネンシュタイン城の眺め	油彩、カンヴァス	55.0×75.5	
37	ベルナルド・ベロット	ヴェネツィア行政官の衣装を着た自画像	油彩、カンヴァス	153.0×114.0	後期※
38	ミケーレ・マリエスキ	見聞き献辞頁「パチーノ・ディ・サン・マルコから見たヴェネツィアの眺め	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	33.4×47.0	後期
39	ミケーレ・マリエスキ	時計台から見たサン・マルコ広場	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	31.1×45.2	前期
40	ミケーレ・マリエスキ	バラツツォ・ドゥカーレ (総督宮) の中庭	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	31.2×44.9	前期
41	ミケーレ・マリエスキ	サン・パッソ小広場	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	31.1×42.8	後期
42	ミケーレ・マリエスキ	リアルト橋とバラツツォ・ディ・カーメルレンギ (カーメルレンギ宮)	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	31.8×46.8	前期
43	ミケーレ・マリエスキ	兵器廠	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	30.4×47.1	後期
44	ミケーレ・マリエスキ	サンタ・マリア・デッラ・サルーテ聖堂	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	31.6×46.9	後期
45	ミケーレ・マリエスキ	サン・シメオーネ・ピッコロ聖堂とスカルツィ教会の ほとりのカナル・グランデ (大運河)	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	31.6×46.8	後期
46	ミケーレ・マリエスキ	カンボ・サン・ロッコ	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	31.4×47.6	後期
47	ミケーレ・マリエスキ	カンボ・サンティ・ジョヴァンニ・エ・パオロ	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	30.9×44.3	前期
48	ミケーレ・マリエスキ	サン・ジョルジョ・マッジョーレ聖堂	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	31.8×47.2	後期
49	ミケーレ・マリエスキ	ベーザロ邸のほとりのカナル・グランデ (大運河)	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	31.4×46.8	後期
50	ミケーレ・マリエスキ	ドイツ人協会のほとりのカナル・グランデ(大運河)	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	31.6×46.7	後期
51	ミケーレ・マリエスキ	カンナレージョのほとりのカナル・グランデ(大運河)	エッチング、エングレイヴィン グ、レイド・ペーパー	31.8×46.7	後期

No.	作家名	作品名	技法・材質	寸法(cm)	展示会期
52	ミケーレ・マリエスキ	フォスカリー邸のほとりのボート・レース (レガッタ)	エッチング、エングレイヴィング、レイド・ペーパー	31.1×46.6	前期
53	ベルナルド・ベロツト	サンタ・マリア・ダラーコエリ聖堂のあるローマのカピトリノの丘	鉛筆、褐色インク、紙	32.5×53.5	前期
54	ベルナルド・ベロツト	ナヴィ橋の見えるヴェローナの眺め	鉛筆、褐色インク、紙	47.5×74.5	後期
55	ベルナルド・ベロツト	ドレスデンの古いほうの聖十字架教会	ペン、褐色インク、紙	58.7×46.9	後期
56	ベルナルド・ベロツト	ビルナの市場	ペン、褐色インク、紙	37.7×65.0	前期
57	ベルナルド・ベロツト	騎馬像のあるヴェネツィアの奇想画 (カプリッチョ)	鉛筆の上にペン、褐色インク、紙	46.0×62.6	後期
58	ベルナルド・ベロツト	理想の都市景観画 (ヴェドゥータ)、宮殿の中庭の階段	鉛筆の上にペン、褐色インク、紙	41.4×57.5	前期
59	ベルナルド・ベロツト	宮殿の中庭に柱廊のある理想の都市景観画 (ヴェドゥータ)	鉛筆の上にペン、褐色インク、紙	44.5×61.5	前期
60	ベルナルド・ベロツト	階段とテラスのある理想の都市景観画 (ヴェドゥータ)	鉛筆の上にペン、褐色インク、紙	44.8×61.4	後期
61	ベルナルド・ベロツト	人物像と彫像	ペン、褐色インク、鉛筆の跡、紙	34.3×20.5	前期
62	ベルナルド・ベロツト	人物像の習作	鉛筆の上にペン、褐色インク、紙	35.0×20.6	前期
63	ベルナルド・ベロツト	立ったり座ったりしている六人の貴婦人と紳士、それに一匹の犬	鉛筆の上にペン、褐色インク、紙	34.3×20.5	前期
64	ベルナルド・ベロツト	東洋風の衣装をまとった二人の男性	鉛筆の上にペン、褐色インク、紙	16.6×8.7	後期
65	ベルナルド・ベロツト	おそらく寓意の女性彫像	鉛筆の上にペン、褐色インク、紙	17.4×9.1	後期
66	ベルナルド・ベロツト	石彫花瓶Ⅰ	鉛筆の上にペン、褐色インク、紙	14.3×6.7	後期
67	ベルナルド・ベロツト	石彫花瓶Ⅱ	鉛筆の上にペン、褐色インク、紙	13.0×7.1	後期
68	ベルナルド・ベロツト	ゼーシュトラセ通りから見たドレスデンのアルトマルクト (旧市場) 1752年	エッチング、紙	55.0×84.0	前期
69	ベルナルド・ベロツト	クラコフ門から見たクラコフスキ・プシェドミェシチェ通り、1771年	エッチング、紙	50.2×61.7	前期
70	ベルナルド・ベロツト	プラガから見たワルシャワとヴィスワ川のパノラマ的な眺め、1772年	エッチング、紙	63.0×89.0	前期
71	カルロ・ボンティ	サン・マルコ聖堂 1865年頃	アルビュメン・プリント	40.4×53.5	前期
72	カルロ・ボンティ	ソスピーリ橋 1865年頃	アルビュメン・プリント	41.0×53.6	後期
73	カルロ・ボンティ	リアルト橋 1865年頃	アルビュメン・プリント	40.3×53.3	前期
74	カルロ・ボンティ	ソスピーリ橋 1865年頃	アルビュメン・プリント	42.0×53.5	前期
75	カルロ・ボンティ	カナレ・グランデ (大運河) の眺め 1865年頃	アルビュメン・プリント	41.8×53.5	前期
76	カルロ・ボンティ	サン・ジョルジョ・マッジョーレ聖堂のある市外から見たヴェネツィアの眺め 1865年頃	アルビュメン・プリント	41.3×53.7	後期
77	カルロ・ボンティ	パラッツォ・ドゥカーレ (総督宮) の中庭 1865年頃	アルビュメン・プリント	42.3×53.6	前期
78	カルロ・ボンティ	パラッツォ・ヴェンドゥラミン (ヴェンドゥラミン宮) 1865年頃	アルビュメン・プリント	40.0×53.3	後期
79	カルロ・ボンティ	サンソヴィーノ図書館 1865年頃	アルビュメン・プリント	42.2×53.5	後期
80	カルロ・ボンティ	パラッツォ・ドゥカーレ (総督宮) 1865年頃	アルビュメン・プリント	40.5×53.6	後期
参考出品	ウィリアム・ドロスト	本を携えた老人 (福音伝道師?)	油彩、カンヴァス	86.0×74.0	
参考出品	ベルナルド・ベロツト	ワルシャワのウジャスドー宮装飾計画	油彩、カンヴァス	126.0×76.5	

* 寸法は縦×横。

* 展示会期のうち前期は5月30日～6月22日、後期は6月24日～8月5日、後期※は7月1日～8月5日。記載のないものは全期展示。

* 作品はすべてワルシャワ国立美術館蔵。



ヴェネツィアーノ「聖母子と聖ベルナルドゥス」



ベロツト「ヴェネツィア行政官の衣装を着た自画像」

帯広美術館コレクション選集 現代版画／ヨーロッパのポスター

会期＝平成15年8月15日(金)－11月12日(水) 78日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般300(250)円、大学生150(100)円
高校生以下・65歳以上の方および心身に障害のある
方などは無料
()内は10名以上の団体料金

関連記事

「『コレクション選集』展」北海道通信／8月21日

美術作品を収集し公開するとともに、それらを後世にまで伝えることは、美術館の最も基本的で重要な活動である。北海道立帯広美術館では平成3年の開館以来、道東の美術、プリントアート、西洋の絵画という3つの目標を掲げ、継続的なコレクションづくりに取り組んできた。本展はこうした当館所蔵作品の中から、プリントアートにかかわる二つの柱「現代版画」と「ヨーロッパのポスター」の代表作を紹介するものである。

多様な展開をみせる現代版画の分野では、木版画や銅版画など伝統的な技法に拠りながら今日的な主題を取り上げた版画作品が多数制作される一方、既成の概念にとらわれないさまざまな技術や手法も試みられている。美術家の自由な発想から生み出されたそれらの作品は、今日の版表現の可能性を切り開いている。また、帯広美術館が所蔵するヨーロッパのポスター・コレクションは、19世紀後半から20世紀前半のフランスのポスターが中心で、当時、街頭での掲示用に作製されたリトグラフ（石版画）の大型ポスターである。市民を主役とする大衆文化が開花したこの時代、劇場やカフェの催し、商品や観光の宣伝などを目的とした数々のポスターは、時代の証言者としての価値と芸術性が今日高く評価されている。

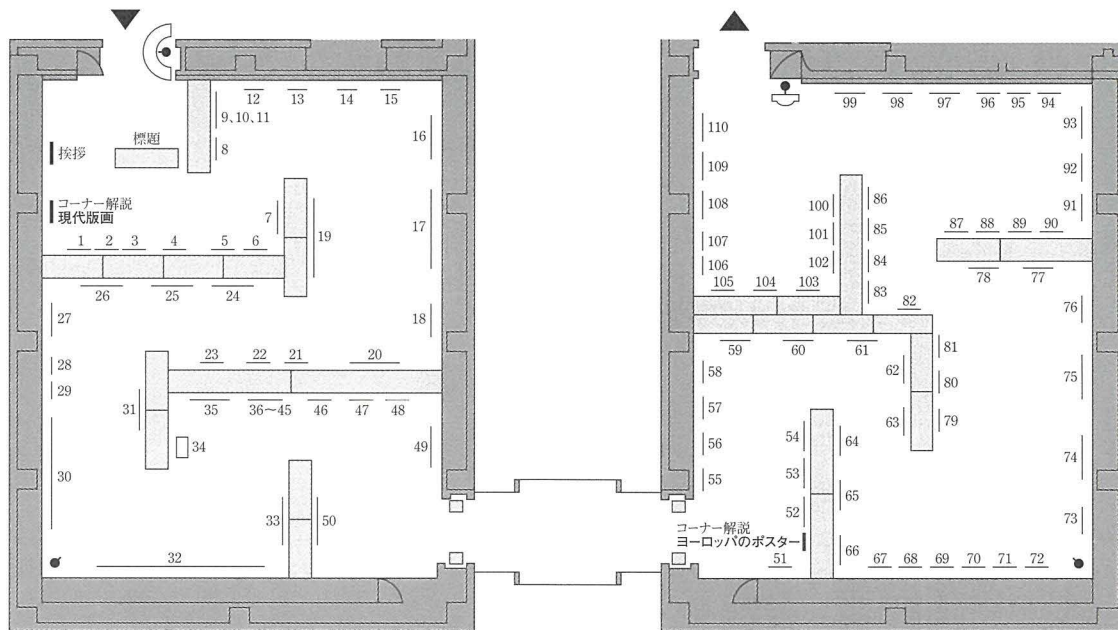
今回のコレクション選集は、現代版画約50点、ヨーロッパのポスター約60点により、帯広美術館の所蔵作品の現況を紹介した。観覧者総数は4,070人。



ポスター



会場風景

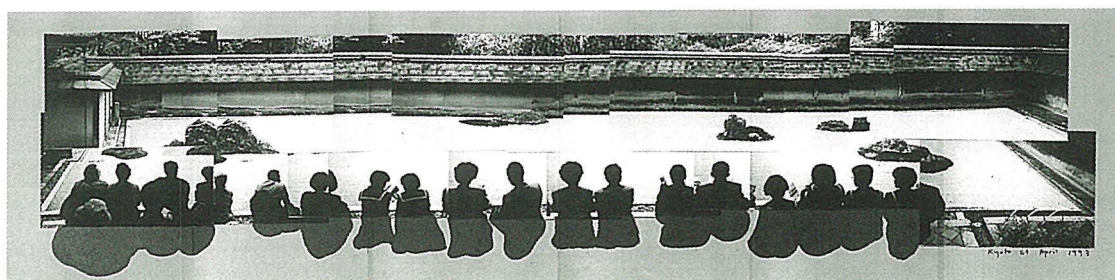


展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
■現代版画					
1	矢柳 剛	雑草マンダラ(B)	1989(平成元)	シルクスクリーン、紙	74.9×52.8
2	矢柳 剛	雑草マンダラ(A)	1989(平成元)	シルクスクリーン、紙	69.5×47.9
3	矢柳 剛	雑草マンダラ(C)	1989(平成元)	シルクスクリーン、紙	75.0×53.0
4	ジョージ・シーガル	前向きの二人の人物	1975	エッチング、アクアチント、紙	85.0×126.5
5	島 州一	FINGER PRINT	1981(昭和56)	粘土、段ボール、フロッタージュ、紙	99.0×69.0
6	島 州一	FINGER PRINT	1981(昭和56)	粘土、フロッタージュ、紙	73.0×63.5
7	島 州一	CONSTRUCTION OF FINGER PRINTS No.38	1982~1985(昭和57~60)	チョーク、シルクスクリーン、フィンガープリント、スチレンボード、アクリルボックス	90.0×98.0×11.3
8	一原有徳	スパナー	1980(昭和55)	熱版、紙	38.2×32.2
9	一原有徳	木の葉 (柏)	—	木の葉版、紙	18.6×12.0
10	一原有徳	木の葉 (辛夷)	—	木の葉版、紙	14.5×27.6
11	一原有徳	木の葉 (檜)	—	木の葉版、紙	18.5×32.0
12	一原有徳	A M	1990(平成2)	アルミニウム版、紙	66.0×98.5
13	一原有徳	S Y (A)	1989(平成元)	アルミニウム版、紙	80.0×121.5
14	百瀬 寿	Square-Metallic Yellow and Silver	1984(昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
15	百瀬 寿	Square-Metallic Green and Violet	1984(昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
16	百瀬 寿	Square-Vertical Blue to Magenta	981(昭和56)	スクリーングラフィック (NECO)、キャンバス	80.0×180.2
17	横尾忠則	ブルー・ワンダーランド	1973(昭和48)	シルクスクリーン、紙	各103.2×72.6(8点組)
18	横尾忠則	葬列 II	1969(昭和44) 再制作: 1985(昭和60)	シルクスクリーン、アクリルプレート	75.2×114.0×9.5
19	巖 嘯	オープニング或いは再び田園	1992(平成4)	シルクスクリーン、紙	各105.0×157.0(2点組)
20	長はるこ	B-cushion	1998(平成10)	スクリーングラフィック (NECO)、紙	153.1×211.2
21	佐藤克教	不毛の驕り	2000(平成12)	木版、紙	73.0×90.5
22	佐藤克教	土色の午後	2001(平成13)	木版、紙	75.0×103.0
23	佐藤克教	土色の午後	2002(平成14)	木版、紙	158.9×158.1
24	デイヴィッド・ホックニー	京都 1993年4月24日	1993	カラー・レーザー・プリント、紙	43.2×160.2
25	池田 緑	Silent Breath サホロの7ヶ月/12ヶ月/21ヶ月/24ヶ月	2001~2002(平成13~14)	コロタイプ、紙	各13.0×10.0(12点組)
26	池田 緑	ALICE'S SPECIMEN	1996(平成8)	シルクスクリーン、アクリルパイプ、 枯葉、木屑、紙	102.4×190.6×9.8
27	小谷博貞	蝶	1963(昭和38)	シルクスクリーン、ポリエチレン	181.2×72.4
28	小谷博貞	樹水	1996(平成8)	シルクスクリーン、紙	42.8×32.9
29	小谷博貞	海辺	1991(平成3)	シルクスクリーン、紙	34.0×18.2
30	國安孝昌	Wind Field Project	1994(平成6)	コピー、鉛筆、紙	各35.2×52.2(15点組)
31	中谷有逸	碑(羅生門)	1996(平成8)	凹凸併用版、アルミ、銅、鉛、紙	186.4×186.5
32	ジェームズ・ローゼンクイスト	F - 1 1 1	1974	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	92.8×190.8(2点)/ 92.8×178.0(2点)/4点組
33	出店久夫	私風景、過去-2000-未来 No. II	2000(平成12)	モノクロコピー、ゼラチンシルバープリント、 調色剤、手彩色	182.0×228.8×9.0
34	岡部昌生	フロッタージュ・ファックス・レター プロジェクト「島から…」1991年7月22日~8月24日	991(平成3)	フロッタージュ、紙、ファックス・レター	35.3×25.0など88点組

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
35	岡部昌生	オビヒロ・マトリックス1991の10ピース	1991(平成3)	フロッタージュ、鉛筆、紙	各50.9×39.4(10点組)
36	太田三郎	Seed Project マメグンバイナズナ	1992(平成4)	和紙、種子	20.4×11.7
37	太田三郎	1992年8月6日香川県小豆島寒霞溪 Seed Project ナナカマド	1992(平成4)	和紙、種子	20.4×11.5
38	太田三郎	1992年12月30日北海道小樽市幸 Seed Project クジャクソウ	1993(平成5)	和紙、種子	20.7×11.7
39	太田三郎	1993年6月4日東京都中央区築地 Seed Project イヌムギ	1993(平成5)	和紙、種子	20.5×11.7
40	太田三郎	1993年6月12日東京都練馬区北町 Seed Project ヤマノイモ	1993(平成5)	和紙、種子	20.5×11.8
41	太田三郎	1993年11月3日東京都練馬区北町 Seed Project センダングサ	1993(平成5)	和紙、種子	20.5×11.7
42	太田三郎	1993年12月11日東京都練馬区高松 Seed Project シロバナタンポポ	1994(平成6)	和紙、種子	20.9×11.7
43	太田三郎	1994年4月24日岡山県津山市北園町 Seed Project チカラシバ	1994(平成6)	和紙、種子	20.7×11.6
44	太田三郎	1994年10月14日岡山県津山市山北 Seed Project ツワブキ	1995(平成7)	和紙、種子	20.8×11.7
45	太田三郎	1995年1月3日岡山県津山市北園町 Seed Project ヘリクリサム	1995(平成7)	和紙、種子	20.8×11.8
46	池田良二	1995年7月26日山形県山形市霞城公園 Reaching the cape	1988(昭和63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチン ト、ドライポイント、メゾチント、紙	57.0×84.6
47	池田良二	(岬への到着) Window under the midnight sun	1988(昭和63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチン ト、ドライポイント、メゾチント、紙	50.0×50.0
48	池田良二	(白夜の窓) Deposition of memories	1988(昭和63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチン ト、ドライポイント、メゾチント、紙	69.0×58.0
49	池田良二	(記憶の沈殿) Space of foggy ocean	1990(平成2)	フォトエッチング、エッチング、アクアチン ト、ドライポイント、メゾチント、紙	113.5×179.7
50	マイク&ダグ・スターン	(海霧の空間) 若い娘たち	1990~1993	印画紙、透明フィルム、木	57.5×46.0×5.5等9点組
■ヨーロッパのポスター					
51	ジュール・シェレ	ミュージック・ホール「エルドラド」	1894	リトグラフ、紙	55.8×37.3
52	ジュール・シェレ	ルーヴル百貨店—1897年新春大売出し	1896	リトグラフ、紙	119.5×82.0
53	ジュール・シェレ	帽子の館	1892	リトグラフ、紙	118.5×83.4
54	ジュール・シェレ	グレヴァン博物館(文字刷り前のポスター)	1900	リトグラフ、紙	116.5×84.5
55	ジュール・アレクサンドル・グリユン	雑誌「微笑み」	1900	リトグラフ、紙	123.5×88.0
56	ジュール・アレクサンドル・グリユン	コンセール・ウロペアン—乗ってみない？	1901	リトグラフ、紙	57.7×37.6
57	ジョルジュ・ド・フル	書籍「パリの暦」	1894	リトグラフ、紙	79.5×62.0
58	シャルル・ティション	自転車「メトロボール」	1890頃	リトグラフ、紙	139.0×99.0
59	ウジェーヌ・グラッセ	あんず酒「アブリコティース」	1895頃	リトグラフ、紙	109.5×149.5
60	ルイ・ガリス	アルハンブラ—ヌイイの祭	1905頃	リトグラフ、紙	158.5×119.0
61	V. ギイエ	ギョーム人形劇場—1900年パリ万国博覧会	1900	リトグラフ、紙	103.0×148.0
62	ルイ・ガリス	パロン・シネオラマ	1900	リトグラフ、紙	143.5×99.0
63	ポール・アルペール・ロラース	万国博エジプト劇場「ラムセス」	1900	リトグラフ、紙	87.0×153.0
64	ウジェーヌ・オジェ	自動印刷機「シクロステル」	1900頃	リトグラフ、紙	139.0×100.0
65	ジョブ (ジャック・オンフレ・ド・ブレヴィル)	雑誌「ル・ボンボン」	1901	リトグラフ、紙	114.0×158.0
66	ポール・ベルトン	ノルマンディ、ブルターニュ—西部鉄道	1895頃	リトグラフ、紙	106.1×78.8
67	アルペール・ベルジュヴァン	アヴランシュ—モン・サン・ミシエル湾	1910頃	リトグラフ、紙	111.5×75.0
68	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0
69	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ヴィクトル・ジョゼ著「ドイツのバビロン」	1894	リトグラフ、紙	122.0×86.7

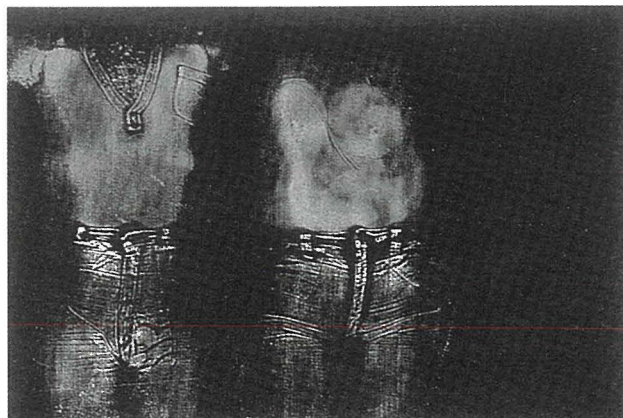


ホックニー「京都 1993年4月24日」

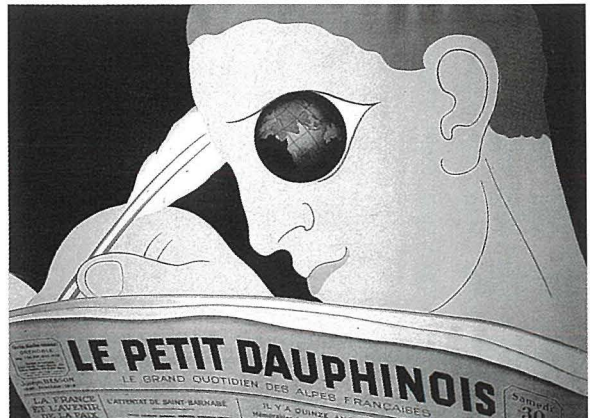
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
70	ビエール・ボナール	「創作版画家展」ヴォアラール画廊	1896	リトグラフ、紙	64.5×47.0
71	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「ロレンザッチオ」ルネサンス座	1897	リトグラフ、紙	97.5×35.9
72	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1898	リトグラフ、紙	141.5×94.0
73	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「メディア」ルネサンス座	1898	リトグラフ、紙	201.5×68.7
74	マニユエル・オラジ	曲馬場、クリシィ大通り	1900	リトグラフ、紙	216.0×159.0
75	ジュール・ドランシー (ジュール・イスナール) 原画	細い瓶の高級酒「ニコラ」	1935頃	リトグラフ、紙	231.0×154.0
76	レオネット・カピエッロ	食前酒「モーラン・キナ」	1906	リトグラフ、紙	150.3×110.5
77	レオネット・カピエッロ	新聞「ル・プティ・ドーフィノワ」	1933	リトグラフ、紙	109.6×152.9
78	レオネット・カピエッロ	速乾ペンキ「ニトロリアン」	1929	リトグラフ、紙	152.4×112.8
79	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	北極星号—フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.7×75.4
80	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	北方急行—フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.9×75.0
81	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	ノルマンディー号—トランザトランティク 総合会社	1935	リトグラフ、紙	96.7×58.4
82	オガロ (マリウス・ロシオン)	自転車タイヤ「ミシュラン」	1920頃	リトグラフ、紙	100.0×76.0
83	マックス・ボンティ	オートバイ「プジョー」	1930	リトグラフ、紙	115.9×75.5
84	ラウール・マルトン	自転車「オートモト」	1930	リトグラフ、紙	77.0×116.9
85	ケース・ファン・デル・ラーン	国立航空学校	1930頃	リトグラフ、紙	80.0×57.2
86	アルベール・ソロン	ファルマン航空	1930	リトグラフ、紙	97.0×58.0
87	アーウェ・ラスムッセン	D.S.B., デンマーク国有鉄道	1937	リトグラフ、紙	100.0×63.0
88	里見宗次	コート・ダジュール	1934 (昭和9)	リトグラフ、紙	98.7×62.4
89	作者不詳	あなたの列車、C.F.F.	1939頃	リトグラフ、紙	125.2×90.0
90	ロナルド・ランビット	コーンウォール	1920頃	リトグラフ、紙	100.0×123.5
91	ピエール・ルイス	自動車「シトロエン」	1924	リトグラフ、紙	159.0×117.0
92	作者不詳	自動車「ビュイール」	1924	リトグラフ、紙	140.0×100.0
93	ルネ・ヴァンサン(ルネ・マエル)	自動車「モトブロック」	1927	リトグラフ、紙	154.3×113.2
94	アロイス・カリジェ	アローザ	1931	リトグラフ、紙	127.8×91.5
95	レシェク・ピアトコフスキー	FIS スキー世界選手権	1939	オフセット、紙	96.4×60.1
96	エティエンヌ・ベネール	アラウ	1937頃	リトグラフ、紙	126.0×90.0
97	レイモン・サヴィニャック	アルマニャック(ブランデー)「リスト」	1943	リトグラフ、紙	151.8×109.3
98	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	ジャンシアヌ=キナ酒「ボナル」	1933	リトグラフ、紙	154.2×114.5
99	作者不詳	発泡性ワイン「ヴーヴ・アミオ」	1925頃	リトグラフ、紙	150.0×112.5
100	作者不詳	「ムニエ・チョコレート」	1929	リトグラフ、紙	112.4×72.5
101	作者不詳	タバコ「レオ」	1920	リトグラフ、紙	113.0×74.0
102	ジュール・ドランシー (ジュール・イスナール)	東洋のタバコ「ナジャ」	1937頃	リトグラフ、紙	149.3×98.0
103	ドナルド・ブラン	バータ	1940頃	リトグラフ、紙	127.4×91.0
104	ロベール・フェルクユッチ	服地「ベリー」	1936	リトグラフ、紙	156.2×116.5
105	ロジェ・ペロー	コルセット「フェレット」	1933	リトグラフ、紙	130.0×90.0
106	C. ララード	フィリップ・ブラン— デュクルテ=トムソン・レコード	1940	リトグラフ、紙	76.0×57.5
107	ポール・コラン	ジョセフィン・バイカー	1925	リトグラフ、紙	80.0×60.0
108	ドンガ	ジェルメース・ケルジャン	1934	リトグラフ、紙	158.0×116.6
109	ジャン・ドン	ジャヌ・マルニィ	1930	リトグラフ、紙	153.3×110.5
110	ルイ・イカール (原画)	オペレッタ「ムシュー・ラムール」	1935	リトグラフ、紙	153.1×113.2

* 寸法は平面作品が縦×横 (×厚さ)、立体作品が幅×奥行×高さ。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



ジョージ・シーガル「前向きの二人の人物」



レオネット・カピエッロ「新聞「ル・プティ・ドーフィノワ」」

VERY GOOD,VERY WOOD 木のワンダーランド

会期＝平成15年11月21日(金)ー平成16年1月28日(水)
52日間

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

観覧料＝一般800(600)円、高大生500(400)円、小中生300(250)円
心身に障害のある方などは無料
()内は10名以上の団体料金

関連事業

ワークショップ

「想いの種をつくる：森との対話編」

講師＝小林重予氏(造形作家)、伊藤育子氏(自然観察指導員)

日時＝11月22日(土)～23日(日/祝) 午前10時～午後4時

会場＝当館周辺、講堂

特別展セミナー

「樹と木の造形ーその魅力」

講師＝寺嶋弘道(当館学芸課長)

日時＝11月29日(土)、12月27日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

子どもセミナー

「ベリー・ウッドなアート・クルーズ」

日時＝12月20日(土)、1月24日(土) 午後2時～3時

会場＝当館主展示室

ミュージアム・ミステリー2003ウィンター

「たんけん！不思議いっぱいアートの森」

日時＝12月6日(土)、12月13日(土) 午前10時～午後4時

会場＝当館講堂、ホール、主展示室ほか

図録

規格＝21.5×15.5cm／総頁数40ページ

構成＝ごあいさつ／石尾乃里子「生きている木ー木のワンダーランドに寄せて」／図版／出品リスト

関連記事

「自然に抱かれた美術館 主展示室／木のワンダーランド コレクションギャラリー／風景へのまなざし」L A J U No.2／2004年1月1日発行



ポスター

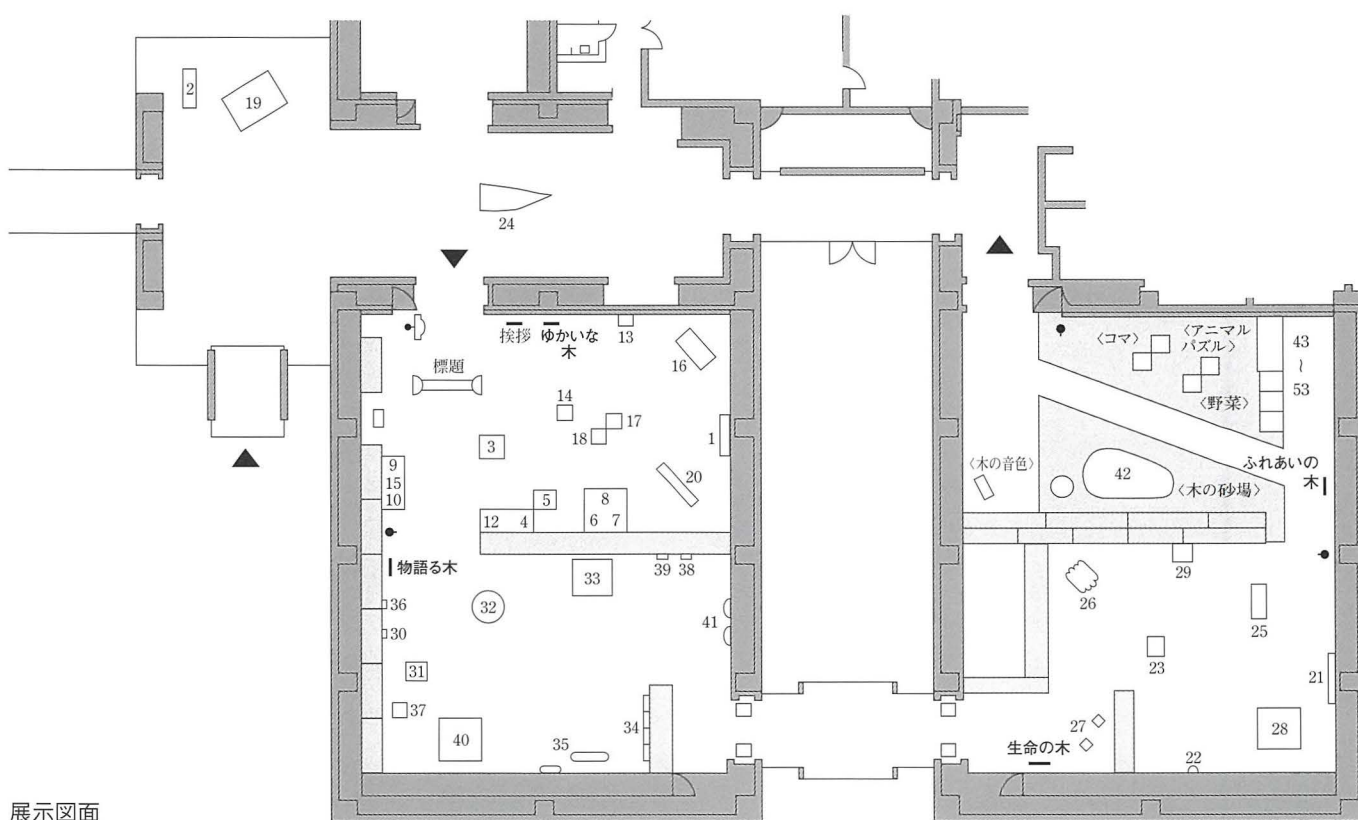


図録

身のまわりに存在し、大切な役割を果たしている樹木は、あるときは美しい風景を創り出し、あるときは信仰の対象ともなるなど、私たち人間と古くから深い関わりをもっている。なかでも、木材の利用をとおしての関わりは多様で、私たちの文化にゆたかさを与えてきた。質感や形、色、木目などの特質が住まいや道具などの材料として活かされることはもとより、金属やプラスチックなどの人工素材にはない固有の性質やイメージによって、木は多くの作り手たちにインスピレーションを与え、多彩な造形をもたらししている。

本展では、こうした木を素材として制作された造形に焦点をあ

て、道内に收藏されるさまざまな彫刻や工芸、椅子、玩具などにより、木が繰り広げる多彩な造形世界を紹介した。出品作品は、その作品において木がどのような一面をあらわしているか、木のどのような一面が引き出されているかに着目し、〈ゆかいな木〉〈生命の木〉〈物語る木〉〈ふれあいの木〉という4つのコーナーによって構成した。ゆたかな存在感を示す木彫、個性的な現代造形、しかけをほどこした木箱などを鑑賞するとともに、木肌のぬくもりを活かした遊具やユーモアあふれる椅子などの体験型のコーナーで楽しむ子供や家族連れなどが多く来場し、冬季でありながら6,000人の観覧者が会場を訪れた。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	製作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
●ゆかいな木						
1	阿部 典英	オヨメサン ト ウッヒヒ	1992(H4)	クルミ、アクリル絵具、ニス	225.0×185.0×3.5	北海道立旭川美術館
2	小川 英明、柳澤 玄江	回卵板	2002(H14)	木、コルク、鉄	48.0×176.0×52.0	中札内美術村
3	鹿目 尚志	気が気でない気箱	1981(S56)	ケヤキ、鉄	51.0×30.0×30.0	北海道立旭川美術館
4	菊池 光典	押・抽斗 トチップ	1992(H4)	トチ、黒檀、キリ、プレポリマー下地ツヤ消しウレタン塗装	24.0×39.0×25.0、 39.0×25.0×26.0	北海道立旭川美術館
5	煙山 泰子	KEM・ベジタブルシリーズ	1981(S56)	カバ、マツ、イチイ、サクラ、ナラ、ミズキ、セン、牛革	—	KEM工房
6	煙山 泰子	シマシマ馬	1983(S58)	エンジュ、センの集成材	35.0×90.0×73.0	KEM工房
7	煙山 泰子	KEMの子馬	1990(H2)	センの集成材	28.0×63.0×60.5	KEM工房
8	煙山 泰子	花のスツール	1996(H8)	セン材、ブナ成型合板、 植物性ワックスオイル塗装	20.0×35.0×30.0、 30.0×40.0×36.0、40.0×47.0×42.0	KEM工房
9	清水 郁太郎	旅一大道芸人の楽器セット	1992(H4)	イタヤカエデ、マカバ、ローズウッド、 クルミ、カリン、真鍮	60.0×19.0	作者
10	清水 郁太郎	収穫祭ーマラカス	1992(H4)	クルミ、チーク、カリン、米、小豆、小麦、大豆	4.8×42.0、14.3×6.0	作者
11	清水 郁太郎	風ーウィンド・ハーブのついた椅子	1994(H6)	クルミ、カリン、ピアノ線、真鍮	285.5×78.0×59.5	作者
12	菅沼 緑	箱の中と外 (1)	1987(S62)	チークに象嵌	52.5×21.5×23.5	北海道立旭川美術館
13	砂澤 ビッキ	午前3時の玩具	1987(S62)	カツラ	34.0×80.0×20.0	北海道立旭川美術館
14	砂澤 ビッキ	〈蟹箱〉	—	木	10.0×31.0×21.0	個人
15	大門 巖	き・に・なる・箱	1992(H4)	ウォールナット、シナ、アフリカンパドック、 ビッチパイプ、ウレタンオイル塗装(内箱)、白 木用ウレタン塗装(外箱)	24.0×40.0×30.0	北海道立旭川美術館
16	高橋 昭五郎	流転	1984(S59)	カツラ	84.0×165.0×53.0	北海道立旭川美術館
17	野嶋 峰男	櫛拭漆手箱	1987(S62)	ケヤキ、拭漆仕上げ	6.5×24.0×19.5	北海道立旭川美術館
18	野嶋 峰男	櫛拭漆下駄箱	1987(S62)	ケヤキ、拭漆仕上げ	9.3×17.0×22.3	北海道立旭川美術館
19	早川 直彦	ねころび	2001(H13)	木、アクリル	60.0×240.0×175.0	中札内美術村
20	三沢 厚彦	Animal2001-01	2001(H13)	クス、油彩	72.0×38.0×198.0	北海道立旭川美術館
●生命の木						
21	桂 ゆき	作品	1979(S54)	コルク、板	162.0×131.0×13.0	北海道立旭川美術館
22	砂澤 ビッキ	木面	1980年代	木	48.0×20.0×16.0	個人
23	大門 巖	Wood powder box	1992(H4)	ナラ、キリ、ブビンガー、シナ、木の粉 (ナラ、黒檀、カリン、タモの埋もれ木、 マユミ、ローズウッド、パドック、ウォー ルナット)、白木用ウレタン塗装	90.0×32.0	北海道立旭川美術館
24	武井 和典	ガイアの呼吸	2002(H14)	ヤナギ、ヤマブドウなど	80.0×100.0×300.0	中札内美術村
25	建畠 覚造	CLOUD-36	1984(S59)	合板、木	50.0×120.0×17.0	北海道立旭川美術館
26	戸谷 成雄	湿地帯	1989(H元)	米ツガ、アクリル絵具	162.0×121.0×30.0	北海道立旭川美術館
27	デイヴィッド・ナッシュ	ブナとカエデのクラッキングボックス	1989	ブナ、カエデ	各60.0×59.0×59.0	北海道立旭川美術館
28	三澤 賢司	樹から抜かれた木箱	1992(H4)	米松	110.0×120.0×60.0	北海道立旭川美術館
29	杵田 たけを	神の宿る箱	1987(S62)	廃材	51.0×48.7×49.5	北海道立旭川美術館
●物語る木						
30	ロジャー・アックリン	〈無題〉	1988頃	木片、太陽光線	11.5×3.0×3.5	浅川泰氏
31	大橋 行雄	シジュウカラハコ (小物入)	1987(S62)	シナ	7.3×37.5×42.0	北海道立旭川美術館
32	大平 實	起源	1996(H8)	合板、ホンジュラス・マホガニー、パテ、ワックス	114.0×122.0×114.0	北海道立旭川美術館

No.	作家名	作品名	製作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
33	神山 明	すべてを知りたい時もある	1991(H3)	スギ、オイルステイン、綿ロープ	96.0×140.0×140.0	北海道立旭川美術館
34	小林 重予	光の種	1996(H8) ～2000(H12)	ミクストメディア	各32.0×32.0×9.0	作者
35	小林 重予	ゆるやかにちかづきたい	1997(H9)	木、アクリル、銅、真鍮、綿、羽、 ナイロン、ガラス、アルミニウム箔、 モデリングペースト、ラッカー	262.0×214.0×52.0	作者
36	土谷 公雄	目を閉じて	1990(H2)	マッチ	5.5×47.0	北海道立旭川美術館
37	戸村 浩	木の星 JUPITER	1987(S62)	ニヤトー、ニス塗装	径23.4	北海道立旭川美術館
38	林 範親	3-F北通路・2157	1992(H4)	スプルス (古材)、ヒバ (古材)、アクリル絵具	60.0×55.0×27.0	北海道立旭川美術館
39	林 範親	B-1南通路・3387	1992(H4)	スプルス (古材)、ヒバ (古材)、アクリル絵具	60.0×60.0×27.0	北海道立旭川美術館
40	深井 隆	逃れゆく思念―青空または瞑想	1991(H3)	クスノキ、金箔	135.0×130.0×55.0	北海道立旭川美術館
41	保田井 智之	間の曖昧な地図	2001(H13)	スプルス、サワラ、ヒノキ、ブナ、 ブロンズ、砥の粉、アクリル絵具、パルプ	138.0×60.0×15.0、 128.0×56.0×13.5	北海道立旭川美術館
●ふれあいの木						
42	伊藤 英二	木の砂場	1980年代	木の玉：イチイ、ナラ、カバ、 タモ・ニレの埋もれ木など、枠：カバ材	45.0×250.0×450.0	といこうぼう
43	伊藤 英二	三匹の子ぶた	1989(H元) ～2003(H15)	セン、ニレ、シナ合板・積層板など	47.0×47.0×3.0	といこうぼう
44	伊藤 英二	大きなかぶ	1989(H元) ～2003(H15)	セン、ニレ、シナ合板・積層板など	44.0×44.0×3.0	といこうぼう
45	伊藤 英二	赤ずきんちゃん	1989(H元) ～2003(H15)	セン、ニレ、シナ合板・積層板など	47.0×47.0×3.0	といこうぼう
46	伊藤 英二	みにくいあひるの子	1989(H元) ～2003(H15)	セン、ニレ、シナ合板・積層板など	31.5×36.0×3.0	といこうぼう
47	伊藤 英二	りんごはひとつ	1989(H元) ～2003(H15)	セン、ニレ、シナ合板・積層板など	31.0×40.0×3.0	といこうぼう
48	伊藤 英二	ぞうさんのぼうし	1989(H元) ～2003(H15)	セン、ニレ、シナ合板・積層板など	26.5×27.0×3.0	といこうぼう
49	伊藤 英二	ブレーメンのおんがくたい	1989(H元) ～2003(H15)	セン、ニレ、シナ合板・積層板など	27.5×27.5×3.0	といこうぼう
50	伊藤 英二	お月さまってどんなあじ？	1989(H元) ～2003(H15)	セン、ニレ、シナ合板・積層板など	40.0×22.0×4.0	といこうぼう
51	伊藤 英二	なかよし親子	1989(H元) ～2003(H15)	セン、ニレ、シナ合板・積層板など	27.0×27.0×3.0	といこうぼう
52	伊藤 英二	〈海〉	1989(H元) ～2003(H15)	セン、ニレ、シナ合板・積層板など	27.0×27.0×3.0	といこうぼう
53	伊藤 英二	うんちしたのはだれよ	1989(H元) ～2003(H15)	セン、ニレ、シナ合板・積層板など	36.5×37.5×3.5	といこうぼう

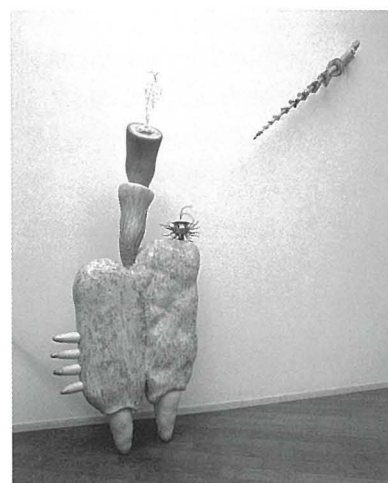
〈遊びのコーナー〉

- ・アニマルあらわる・パズルであそぶ
- ・いろどり・おどる コマの宇宙
- ・さわっておいしい 野菜たち / 協力=KEM工房
- ・体感 木の音色

*寸法は高さ×幅×奥行き、高さ×径、または縦×横×厚さ。



砂澤ビッキ「午前3時の玩具」



小林重予「ゆるやかにちかづきたい」

アメリカ現代美術展 モダニズム／新しさとは何だったのか

会期＝平成16年2月6日(金)－3月24日(水) 41日間
主催＝北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、
NPO十勝文化会議、アメリカ現代美術展
実行委員会

後援＝十勝町村会、十勝教育局、帯広市、帯広市教育委員会、
十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、帯広市
町内会連合会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝
小・中校長会、帯広市校長会、十勝文化団体協議会、
帯広市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、
NHK文化センター帯広教室、NHK帯広放送局、H
B C帯広放送局、S T V帯広放送局、U H B帯広支社、
H T B帯広支社、帯広シティーケーブル、F M－J A
G A

協賛＝帯広建設業協会、帯広信用金庫、王子製紙(株)、帯広日
産自動車(株)、畜大練成会、東洋印刷(株)、ホクレン農業
協同組合連合会、近畿日本ツーリスト(株)、大成建設(株)、
北海道コカ・コーラボトリング(株)

協力＝在札幌米国総領事館・札幌アメリカンセンター

観覧料＝一般900(700)円、高大生550(400)円、中学生以下無料
心身に障害のある方などは無料
()内は10名以上の団体および前売り料金

関連事業

美術講演会

「ポップアートとアメリカ現代美術」

講師＝アン・K・スウォーツ氏(米国・サバンナ芸術デザイ
ン大学教授)

日時＝平成14年6月15日(日)午後2時～4時

会場＝当館講堂

※展覧会開催に先行するプレ・イベントとして開催

「神話となったアメリカ現代美術」

講師＝中原佑介氏(美術評論家)

日時＝2月7日(土)午後2時～4時

会場＝当館講堂

ギャラリー・ツアー

講師＝平 利弘(当館主任学芸員)

日時＝2月14日(土)、3月13日(土)午後2時～2時40分

会場＝当館主展示室

アート・ダイアローグ

「アメリカ現代美術／映像ドキュメントとの対話」

講師＝浅川 泰(当館副館長)

日時＝2月28日(土)午後2時～3時30分

会場＝当館講堂

モダニズム／新しさとは何だったのか
十勝毎日新聞創刊85周年記念
アメリカ現代美術展
Modernism in American Art: the 1950s, the 1960s and beyond

ジョセフ・アルバース
サム・フランシス
ヘルン・フランケンサラー
アーシル・ゴッキー
デイヴィッド・ホックニー
ジャスパー・ジョイス
ドナルド・ジュッド
エルズワース・ケリー
ロイ・リッテンシュタイン
ケネス・ノーランド
クリス・オールドンバーク
ロバート・ラウシェンバーグ
ジェームズ・ローゼンクvist
ショウ・ジ・シーガル
フランク・ステラ
アンディ・ウォーホル
トム・ウェッセルマン

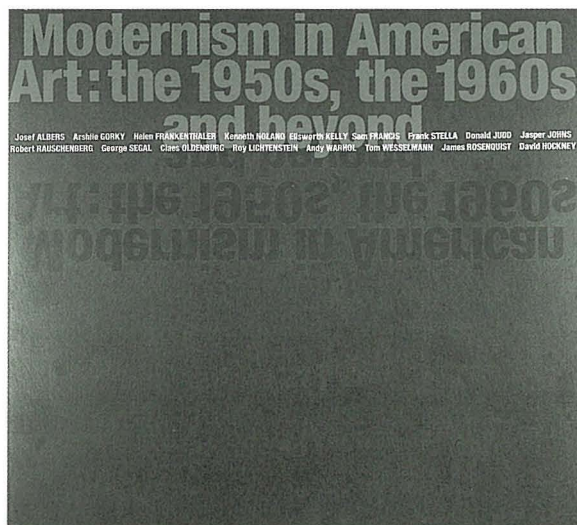
2004
2.6(金) - 3.24(水)

観覧料(税込) 一般900円(700円)、高大生550円(400円)、中学生以下無料
※1人1席、10人以上の団体、団体前売り料あり(要予約)

北海道立帯広美術館
Hokkaido Oshima Museum of Art
〒080-0801 帯広市南10条5丁目1番地 TEL: 0157-22-1111
http://www.dokyo.pref.hokkaido.jp/hk-obmu

主催: 北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、NPO十勝文化会議、アメリカ現代美術展実行委員会、後援: 十勝町村会、十勝教育局、帯広市、帯広市教育委員会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、帯広市町内会連合会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小・中校長会、帯広市校長会、十勝文化団体協議会、帯広市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、NHK文化センター帯広教室、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、UHB帯広支社、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FMA-GA、協賛: 帯広建設業協会、帯広信用金庫、王子製紙(株)、帯広日産自動車(株)、畜大練成会、東洋印刷(株)、ホクレン農業協同組合連合会、近畿日本ツーリスト(株)、大成建設(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)、協力: 在札幌米国総領事館、札幌アメリカンセンター

ポスター



図録

規格=24.1×26.8cm／総頁数100ページ

構成＝あいさつ／中原祐介「神話となったアメリカ現代美術」／浅川泰「雄鶏の哲学－アメリカン・モダニズムの一面」／作品図版／出品リスト／作品図版(第2部)／出品リスト(第2部)／作家解説

「4人が語るアメリカ現代美術展の魅力」十勝毎日新聞／1月1日

山本慶史「アメリカ現代美術展①～⑥」十勝毎日新聞／1月
26日～31日

山本慶史「新しさって何? ①～③」十勝毎日新聞／2月16日
～3月3日

山本慶史、犬飼裕一「らいふトレンド ウォーホルグッズ人気」十勝毎日新聞／2月18日

「新しさを読む 地元アーティストの目①～④」十勝毎日新聞／2月20日～23日

「チャレンジャーがゆく！」 Chai 3月号

山本慶史「らいふトレンド 身近なアートに一目ぼれ」十勝
毎日新聞／3月3日

山本慶史、犬飼裕一「らいふトレンド 街角現代美術館へようこそ」十勝毎日新聞／3月10日

横尾忠則「ハロー、グッバイ、ポップアート」十勝毎日新聞／3月11日

平利弘「米国現代美術に見る50年前の革新」十勝毎日新聞／
3月13日

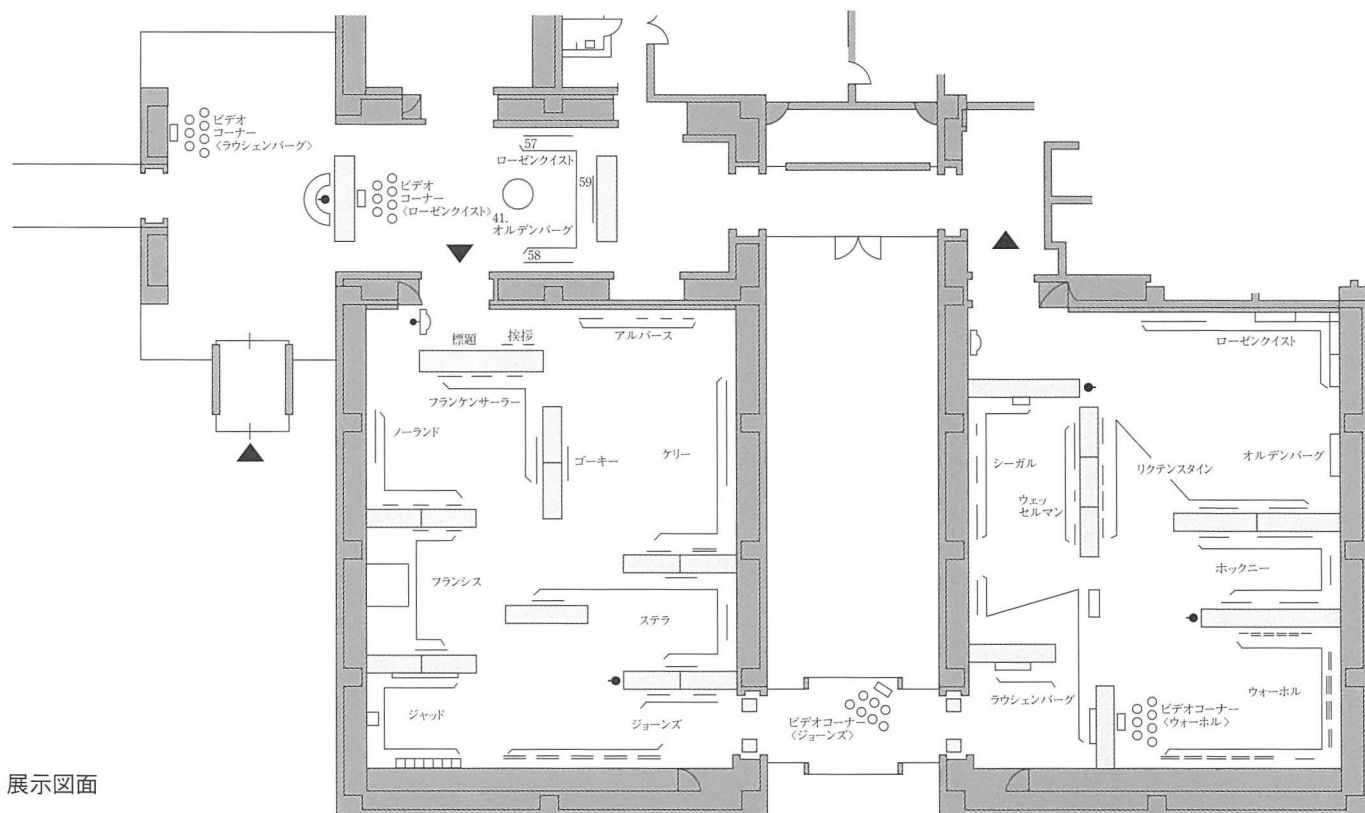
「お気に入りの1枚 アメリカ現代美術展①～⑦」十勝毎日新聞／3月15日～21日

20世紀後半アメリカの美術界は、ニューヨークを中心に次々に興った革新的な美術潮流によって一躍脚光を浴び、今日の美術の出発点になるような大きな流れを作った。同時代の社会に新しい美術を提示するという方向は、それまで世界の中心地であったヨーロッパをも席卷し、自律的個性を前提とするモダニズムのさらなる展開を予感させるものだった。その動向は、世界のアート・シーンの先駆的潮流として今日もおお注目を集め続けている。

1940年代後半に興った抽象表現主義は、アクション・ペインティングやカラー・フィールド・ペインティングなど多様な表現を含み、見る人を圧倒するような大画面で重要な地位を占めた。その後、抽象表現主義への反動として、批判的に継承する傾向が生まれ、大衆文化のイメージを取り込み美術の伝統的価値観への疑問を提示したポップ・アートや表現内容を最小限に切り詰め主観性を抑制したミニマル・アート等が、国際的にも高い評価と名声を獲得し大きな趨勢となった。

本展では、吸収や反動、発展を繰り返すところから生まれてきた戦後のアメリカ美術の多様な展開のうち、世界の美術における求心力を発揮した黄金期とも言われる動向に焦点をあて、1950～60年代に登場した作家17人とその後の作品を取り上げ、人間と社会との関わりやモダニズムにおける美術という制度の在り方等の問題に取り組んできたアメリカ現代美術とは何かを検証した。

展覧会の構成は、モダニズムの傾向でグルーピングしたり、時代変遷を追う流れには拘らず、各々際だった個性を発揮した個別の作家にスポットをあてることに焦点を絞った。従って、出品作品に加えて、作家解説にかかわる資料についても、この時代の前後の状況からその後の展開にわたり作家の活動を広く追うような内容とし、また、可能な限り映像資料の紹介にもつとめた。会期中、広く道内外から6千人を超える来館者を迎えたが、特に、ウォールホルなどポップ・アートのファンを中心とした若年層の姿が目立った。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
1	ジョセフ・アルバース	正方形讃歌	1959	油彩、メゾナイト	100.0×100.0	東京国立近代美術館
2	ジョセフ・アルバース	グレイの編成 I b (グレイの編成 I より)	1974	シルクスクリーン、紙	48.3×48.3	CCGA現代グラフィック アートセンター
3	ジョセフ・アルバース	グレイの編成 I c (グレイの編成 I より)	1974	シルクスクリーン、紙	48.3×48.3	CCGA現代グラフィック アートセンター
4	ジョセフ・アルバース	グレイの編成 I j (グレイの編成 I より)	1974	シルクスクリーン、紙	48.3×48.3	CCGA現代グラフィック アートセンター
5	アーシル・ゴーキー	無題 (バージニア風景)	1943-44頃	油彩、キャンバス	86.4×116.8	滋賀県立近代美術館
6	ヘレン・フランケンサラー	青い闘技場	1966	アクリル彩、キャンバス	161.0×150.3	いわき市立美術館
7	ヘレン・フランケンサラー	虎の目	1987	アクアチント、リトグラフ、 エッチング、シルクスクリーン、 紙	47.6×55.9	CCGA現代グラフィック アートセンターセンター
8	ヘレン・フランケンサラー	イエロー・ジャック	1987	リトグラフ、ステンシル、紙	76.2×96.5	CCGA現代グラフィック アートセンター
9	ヘレン・フランケンサラー	ミラベル	1990	リトグラフ、紙	76.2×94.0	CCGA現代グラフィック アートセンター
10	ケネス・ノーランド	カドミウム・レディアンズ	1963	油彩、キャンバス	237.0×241.0	滋賀県立近代美術館
11	ケネス・ノーランド	ブラッシュ	1978	リトグラフ、紙	91.4×76.2	CCGA現代グラフィック アートセンター
12	ケネス・ノーランド	エコー	1978	アクアチント、エンボス、紙	50.8×61.0	CCGA現代グラフィック アートセンター
13	ケネス・ノーランド	斜めのストライプ VI TP3	1978	カラード・プレスト・ ペーパー・バルブ	108.0×85.1	CCGA現代グラフィック アートセンター
14	エルズワース・ケリー	赤・黄・青Ⅳ	1966	油彩、キャンバス	165.1×495.3 (3枚パネル)	東京都現代美術館
15	エルズワース・ケリー	カラーズ・オン・ア・グリッド	1976	シルクスクリーン、リトグラフ、紙	122.6×122.6	CCGA現代グラフィック アートセンター
16	エルズワース・ケリー	カラード・ペーパー・イメージⅩⅢ (黄/緑/黒/青/橙)	1976	カラード・プレスト・ ペーパー・バルブ	81.9×79.4	CCGA現代グラフィック アートセンター
17	エルズワース・ケリー	カラード・ペーパー・イメージⅩⅩ (青色をとまなう茶色の正方形)	1976	カラード・プレスト・ ペーパー・バルブ	81.9×79.4 81.9×79.4	CCGA現代グラフィック アートセンター
18	サム・フランシス	サーキュラー・ブルー	1953	油彩、キャンバス	19.6×174.0	滋賀県立近代美術館
19	サム・フランシス	白い線	1960	リトグラフ、紙	90.5×63.3	和歌山県立近代美術館
20	サム・フランシス	パサディナ・ボックス	1963-66	リトグラフ、アクリリック、紙	132.5×48.5他 (13点組)	北海道立帯広美術館
21	サム・フランシス	赤い十字架	1981	モノタイプ、紙	76.0×64.0	いわき市立美術館
22	フランク・ステラ	ウリッド・スケッチ	1967	アクリル彩、キャンバス	160.2×160.5	いわき市立美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
23	フランク・ステラ	プレイスクール・ボビン (プレイスクール・シリーズより)	1983	壁面に設置するレリーフ彫刻、 緑青を施した鑄造ブロンズ、 木、腐食させたハニカム・ア ルミニウム、ファイバークラ ス、パルサ材の合板、プラス チック、マスキング・テープ、 アクリル絵の具による手彩色	90.8×119.4	CCGA現代グラフィック アートセンター
24	フランク・ステラ	ペルグーサ3 (サーキット・シリ ーズより)	1983	ミクストメディア (レリーフ プリント、木版、紙)	167.6×132.1	CCGA現代グラフィック アートセンター
25	フランク・ステラ	スワン・エングレイヴィング、 ブルー、グリーン、グレー	1985	ミクストメディア (エッチン グ、レリーフプリント、紙)	169.0×133.0	北海道立帯広美術館
26	ドナルド・ジャッド	無題	1968	スチール、ブレキシングラス	各15.5×68.5×61.0 (10点組)	広島市現代美術館
27	ドナルド・ジャッド	無題	1977	アルミニウム、鉄	15.2×281.5×15.2	滋賀県立近代美術館
28	ドナルド・ジャッド	無題	1988	彩色アルミニウム	30.0×210.0×30.0	和歌山県立近代美術館
29	ジャスパー・ジョーンズ	色数字 0～9	1969～70	リトグラフ、紙	各96.5×78.5 (10点組)	いわき市立美術館
30	ジャスパー・ジョーンズ	おとり II	1971～73	リトグラフ、紙	105.1×75.2	滋賀県立近代美術館
31	ジャスパー・ジョーンズ	薄雪	1980	シルクスクリーン、紙	131.5×50.0	大原美術館
32	ロバート・ラウシェンバーグ	オーヴァーキャスト I	1962	油彩、シルクスクリーン、 キャンバス	246.4×182.8	東京都現代美術館
33	ロバート・ラウシェンバーグ	スリング=ショット・リット No.5	1985	ミクストメディア (シルク スクリーン、アクリルシー ト、蛍光灯、木)	207.0×132.0×29.0	富山県立近代美術館
34	ロバート・ラウシェンバーグ	スリング=ショット・リット No.8	1985	ミクストメディア (シルク スクリーン、アクリルシー ト、蛍光灯、木)	214.3×141.8×32.2	北海道立帯広美術館
35	ロバート・ラウシェンバーグ	ボーリアリス・シェアーズ I	1990	シルクスクリーン、アル ミニウム、真鍮	190.5×103.0×80.0	富山県立近代美術館
36	ジョージ・シーガル	ブルー・ジーンズ・シリーズ	1975	銅版、紙	121.5×52.3	富山県立近代美術館
37	ジョージ・シーガル	前向きの二人の人物	1975	エッチング、アクアチント、紙	85.0×126.5	北海道立帯広美術館
38	ジョージ・シーガル	赤いシャツの3人	1975	エッチング、アクアチント、紙	100.0×200.0	徳島県立近代美術館
39	ジョージ・シーガル	タイルの壁にもたれる東洋の女	1982	紙	81.5×42.5×24.0	徳島県立近代美術館
40	クレス・オルデンバーグ	プロフィール・エアフロー	1969	リトグラフ、紙に型押し たポリウレタン	82.8×164.0	広島市現代美術館
41	クレス・オルデンバーグ	スリーウェイブラグ スケールB、ソフト	1970	皮、木	182.9×91.4×58.4	東京都現代美術館
42	ロイ・リクテンスタイン	クラック!	1964	オフセットリトグラフ、紙	47.2×68.7	和歌山県立近代美術館
43	ロイ・リクテンスタイン	メロディ	1965	シルクスクリーン、紙	69.0×58.5	和歌山県立近代美術館
44	ロイ・リクテンスタイン	おやすみベイベィ!	1965	シルクスクリーン、紙	90.7×65.0	和歌山県立近代美術館
45	ロイ・リクテンスタイン	二つの円のある近代絵画	1966	油彩、マグナ、キャンバス	153.0×122.0	いわき市立美術館
46	ロイ・リクテンスタイン	スイレナーピンク色の花	1992	シルクスクリーン、金属板、木	110.5×97.8	富山県立近代美術館
47	ロイ・リクテンスタイン	睡蓮と雲	1992	シルクスクリーン、ステンレス	167.6×114.3	北海道立帯広美術館



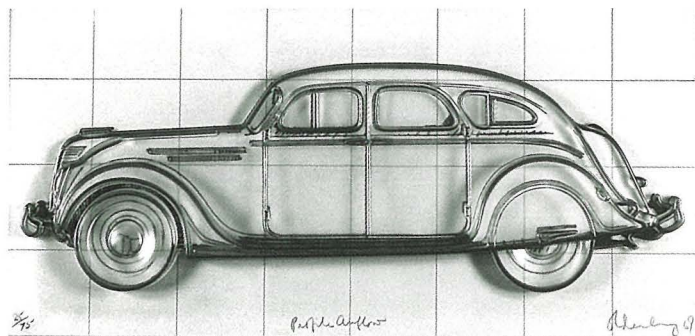
ジョーンズ「色数字 0～9」より



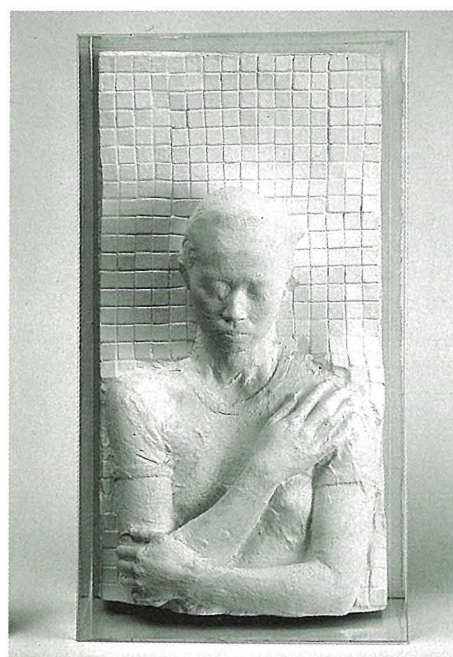
ウォーホル「多色による4つのマリリン」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
48	アンディ・ウォーホル	マリリン	1967	シルクスクリーン、紙	各90.8〜91.8×89.6 〜91.6 (10点組)	広島市現代美術館
49	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ	1969	シルクスクリーン、紙	各88.9×58.4 (10点組)	和歌山県立近代美術館
50	アンディ・ウォーホル	フラワーズ	1970	シルクスクリーン、紙	各91.6×91.8 (10点組)	滋賀県立近代美術館
51	アンディ・ウォーホル	多色による4つのマリリン	1979-86	アクリル絵具、シルクス クリーン、キャンバス	92.0×78.0	徳島県立近代美術館
52	トム・ウェッセルマン	シースケープ#8	1966	アクリル、キャンバス	173.5×106.5	和歌山県立近代美術館
53	トム・ウェッセルマン	スモーカー	1976	シルクスクリーン、紙	41.8×42.2	徳島県立近代美術館
54	トム・ウェッセルマン	モニカと透明なカーテン	1987	エナメル系塗料アルミニウム	165.3×192.6	徳島県立近代美術館
55	ジェームズ・ローゼンクイスト	成長計画	1966	油彩、キャンバス	178.0×358.0	いわき市立美術館
56	ジェームズ・ローゼンクイスト	F-111	1974	リトグラフ、シルクス クリーン、紙	93×737	北海道立帯広美術館
57	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星ようこそ》 水のゆくえ	1989	リトグラフ、コラージュ、カ ラード・プレスト・ペーパー・ パルプ (着彩手漉き紙)	261.0×147.3	北海道立帯広美術館
58	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星ようこそ》 スカイ・ホール	1989	リトグラフ、コラージュ、カ ラード・プレスト・ペーパー・ パルプ (着彩手漉き紙)	259.7×148.6	北海道立帯広美術館
59	ジェームズ・ローゼンクイスト	火の家	1989	リトグラフ、コラージュ、カ ラード・プレスト・ペーパー・ パルプ (着彩手漉き紙)	138.4×304.2	北海道立帯広美術館
60	デイヴィッド・ホックニー	スプリングラー	1967	アクリル、キャンバス	125.8×123.8	東京都現代美術館
61	デイヴィッド・ホックニー	グランド・キャニオンの北側を見る 1982年9月 アリゾナ	1982	フォト・コラージュ (写真、印画紙)	114.0×252.7	北海道立帯広美術館
62	デイヴィッド・ホックニー	竜安寺の枯山水を歩く 1983年2月、京都	1983	フォト・コラージュ (写真、印画紙)	132.0×157.5	広島市現代美術館
63	デイヴィッド・ホックニー	セリアのイメージ (ムーヴィング・ フォーカス・シリーズより)	1986	リトグラフ、シルクスクリ ーン、コラージュ、手彩色 された額	151.1×104.1	CCGA現代グラフィック アートセンター
64	デイヴィッド・ホックニー	京都 1993年4月24日	1993	カラー・レーザー・プリ ント、紙	43.2×160.2	北海道立帯広美術館

* 寸法は平面作品が縦×横、立体作品が高さ×幅×奥行。



オルデンバーク「プロフィール・エアフロー」



シーガル「タイルの壁にもたれる東洋の女」

会期＝平成16年4月6日(火)－5月26日(水) 44日間
主催＝北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、
NPO十勝文化会議

観覧料＝一般300(250)円、大学生150(100)円
高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方
などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

アート・ダイアローグ

「巨大壁画的版画術―〈水の惑星〉との対話」

講師＝石尾乃里子(当館学芸員)

日時＝5月1日(土)、5月15日(土) 午後2時～3時

会場＝当館主展示室

関連記事

石尾乃里子「ローゼンクイスト展 水の惑星によろこそ 上・
中・下」十勝毎日新聞／4月28日～4月30日

「道立6美術館本年度初の企画展 帯広『ローゼンクイスト』」
北海道新聞(夕刊)／5月11日

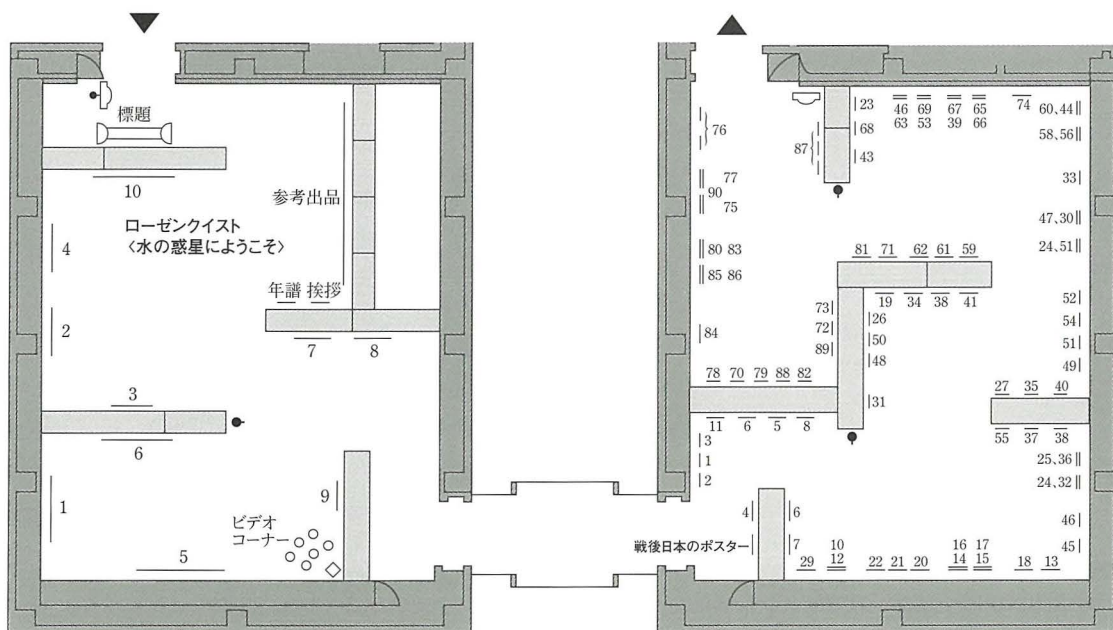


会場風景

ジェームズ・ローゼンクイストは、戦後アメリカ美術を代表する画家の一人。1933年ノースダコタ州に生まれ、ミネソタ大学、アート・スチューデントズ・リーグなどに学んだ彼は、日常的なモチーフを卓抜な組み合わせで併置する作品群によって高い評価を集めてきた。ポップアートの潮流に連なるその創作活動は、70歳を過ぎた今日もお世界の美術界に多大なメッセージを送り続けている。2003年5～10月まで国際巡回した大回顧展は、アメリカのみならず世界のアート・シーンで大きな話題を呼んだ。

プリントアートをテーマの一つとしている当館では、平成15年度、ローゼンクイストが版画工房タイラー・グラフィクスとの一大プロジェクトにより制作した畢生の大作版画シリーズ〈水の惑星によろこそ〉を新たに収蔵した。前年度「アメリカ現代美術展」に続く第2部として開催したこの展覧会では、本作品の新収蔵を記念しシリーズ全10点をまとめて公開した。3メートルを超える大画面とともに、拡大されたイメージと鮮烈な色彩がほとばしるこれらの作品には、かつてビルボード(看板絵)も手がけた画家独自の強い視覚効果が生かされ、迫力ある展示空間となった。会場には、シリーズの制作過程を追った映像資料と、別作品〈F-111〉もあわせて展示し、ローゼンクイストの作品世界に対する理解と鑑賞を深める参考とした。来場者は2,017人。

また展示室第2室では、当館が所蔵するポスターを展示。経済復興と軌を一にして発展の歩みをたどってきた日本のグラフィズムの一断面を、1945年以降1980年代まで、商業や公共、興行などのために制作されたポスターの復刻版90点により紹介した。



展示図面

出品目録

■ローゼンクイスト 〈水の惑星によろこそ〉

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	〈水の惑星によろこそ〉 楽園の鳥が温水の惑星に接近する	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ(着彩手漉き紙)	246.4×214.6
2	〈水の惑星によろこそ〉 水のゆくえ	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ(着彩手漉き紙)	261.0×147.3
3	〈水の惑星によろこそ〉 タイム・ゾーンの日没	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ(着彩手漉き紙)	201.9×147.3
4	〈水の惑星によろこそ〉 スカイ・ホール	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ(着彩手漉き紙)	259.7×148.6
5	〈水の惑星によろこそ〉 時の扉・黄金の時	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ(着彩手漉き紙)	247.7×304.8
6	〈水の惑星によろこそ〉 スペース・ダスト	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ(着彩手漉き紙)	168.9×267.3
7	〈水の惑星によろこそ〉 頭蓋のスナッフ	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ(着彩手漉き紙)、エンボス	直径151.1
8	〈水の惑星によろこそ〉 頭蓋のスナッフ、ステート I	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ(着彩手漉き紙)、エンボス	直径151.1
9	〈水の惑星によろこそ〉 得たもの、失ったもの	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ(着彩手漉き紙)	138.4×96.5
10	ーファースト・スチューデントまたはスター・キャッチャーにとって火の家	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ(着彩手漉き紙)	138.4×304.2
参考出品	F-111	1974	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	92.8×737.6



ローゼンクイスト
「〈水の惑星によろこそ〉 タイム・ゾーンの日没」



田中一光「HIROSHIMA APPEALS」

■戦後日本のポスター

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	早川良雄	カロン洋裁生徒募集	1949(昭和24)	オフセット、紙
2	早川良雄	カロン洋裁生徒募集	1951(昭和26)	オフセット、紙
3	早川良雄	第7回秋の秀彩会	1951(昭和26)	オフセット、紙
4	栗谷川健一	ムックリを鳴らすアイヌ娘	1952(昭和27)	オフセット、紙
5	重成 基	ダイヤ・シャツ	1954(昭和29)	オフセット、紙
6	伊藤憲治	ミリオンテックス	1954(昭和29)	オフセット、紙
7	河野鷹思	月刊・茶道総合誌(淡交)	1955(昭和30)	オフセット、紙
8	山城隆一	森・林	1955(昭和30)	オフセット、紙
9	亀倉雄策	原子エネルギーを平和産業に!	1956(昭和31)	オフセット、紙
10	亀倉雄策	ニコンカメラ	1957(昭和32)	オフセット、紙
11	大橋 正	明治キャラメル	1957(昭和32)	オフセット、紙
12	亀倉雄策	ニコンSP	1957(昭和32)	オフセット、紙
13	田中一光	第5回産経観世能	1958(昭和33)	オフセット、紙
14	杉浦康平	ストラヴィンスキー特別演奏会	1959(昭和34)	オフセット、紙
15	杉浦康平、宇野亜喜良	越路吹雪リサイタル	1959(昭和34)	オフセット、紙
16	原 弘	日本タイポグラフィ展	1959(昭和34)	オフセット、紙
17	山城隆一	第2回東京国際版画ビエンナーレ	1960(昭和35)	オフセット、紙
18	田中一光	第8回産経観世能	1961(昭和36)	オフセット、紙
19	細谷 巖、北井三郎	ヤマハオートバイ	1961(昭和36)	オフセット、紙
20	亀倉雄策、村越 襄、早崎 治	東京オリンピック	1961(昭和36)	オフセット、紙
21	亀倉雄策、村越 襄、早崎 治	東京オリンピック	1962(昭和37)	オフセット、紙
22	亀倉雄策、村越 襄、早崎 治	東京オリンピック	1963(昭和38)	オフセット、紙
23	栗津 潔	第2回世界宗教者平和会議	1964(昭和39)	オフセット、紙
24	横尾忠則	TADANORI YOKOO	1965(昭和40)	オフセット、紙
25	横尾忠則	A LA MAISON DE M. CIVE?A WA	1965(昭和40)	オフセット、紙
26	永井一正	書籍「サイエンス・ライブラリー」成長の話	1966(昭和41)	オフセット、紙
27	木村恒久	図解・エスカレーション戦略(其の二)	1966(昭和41)	オフセット、紙
28	井坂芳太良	エドワーズ	1966(昭和41)	オフセット、紙
29	早川良雄	第5回東京国際版画ビエンナーレ展	1966(昭和41)	オフセット、紙
30	中村 誠、横須賀功光	資生堂(海外向け)	1966(昭和41)	オフセット、紙
31	勝井三雄	第3回デザイン学生奨学コンペ	1966(昭和41)	オフセット、紙
32	横尾忠則	腰巻お仙—忘却編	1966(昭和41)	オフセット、紙
33	中村 誠、石岡瑛子、横須賀功光	資生堂サマー化粧品	1967(昭和42)	オフセット、紙
34	細谷 巖	SILENCE	1967(昭和42)	オフセット、紙
35	和田 誠	ベトナムの子どもを支援する会のために	1968(昭和43)	オフセット、紙
36	横尾忠則	第6回東京国際版画ビエンナーレ展	1968(昭和43)	オフセット、紙
37	灘本唯人	MARIE	1968(昭和43)	オフセット、紙
38	細谷 巖	インペーダー	1969(昭和44)	オフセット、紙
39	福田繁雄	THE WORLD OF SHIGEO FUKUDA	1971(昭和46)	オフセット、紙
40	長友啓典、黒田征太郎	話の特集博覧会	1971(昭和46)	オフセット、紙
41	青葉益輝	灰皿ではありません	1971(昭和46)	オフセット、紙
42	松永 真、安達洋次郎	資生堂サンオイル “人・人・人”	1971(昭和46)	オフセット、紙
43	杉浦康平	第8回東京国際版画ビエンナーレ展	1972(昭和47)	オフセット、紙
44	石岡瑛子、山口はるみ、操上和美	PARCO感覚	1972(昭和47)	オフセット、紙
45	横尾忠則	横尾忠則近作展	1973(昭和48)	オフセット、紙
46	横尾忠則	GREETING	1973(昭和48)	オフセット、紙
47	中村 誠、横須賀功光	資生堂ネイルエナメル	1973(昭和48)	オフセット、紙
48	永井一正	雑誌『gq』	1974(昭和49)	オフセット、紙
49	田中一光、滝野晴夫	櫻の園	1974(昭和49)	オフセット、紙
50	永井一正	リリーカラー	1974(昭和49)	オフセット、紙
51	佐藤晃一	ニュー・ミュージック・メディア	1974(昭和49)	オフセット、紙
52	長友啓典、黒田征太郎	時代劇	1974(昭和49)	オフセット、紙
53	福田繁雄	VICTORY 1945	1975-76(昭和50-51)	オフセット、紙
54	佐藤晃一	死のう団	1976(昭和51)	オフセット、紙
55	湯村輝彦	TASTES OF FLAMINGO	1976(昭和51)	オフセット、紙
56	石岡瑛子	ハイヒール・エキスプレスにレールはない	1977(昭和52)	オフセット、紙
57	中村 誠、横須賀功光	資生堂香水(舞)	1978(昭和53)	オフセット、紙
58	浅葉克己、坂田栄一郎	ダイアナ靴店	1978(昭和53)	オフセット、紙

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
59	勝井三雄、奈良原一高	第11回東京国際版画ビエンナーレ展	1979(昭和54)	オフセット、紙
60	石岡瑛子、操上和美	西洋は東洋を着こなせるか	1979(昭和54)	オフセット、紙
61	岡本滋夫	岡本滋夫展	1979(昭和54)	オフセット、紙
62	永井一正	永井一正の世界展	1980(昭和55)	オフセット、紙
63	青葉益輝	THE END	1980(昭和55)	オフセット、紙
64	河村要助	AMNESTY	1980(昭和55)	オフセット、紙
65	亀倉雄策	日本古典芸能団招聘記念	1981(昭和56)	オフセット、紙
66	田中一光	日本古典芸能団招聘記念	1981(昭和56)	オフセット、紙
67	福田繁雄	日本古典芸能団招聘記念	1981(昭和56)	オフセット、紙
68	栗津 潔	CONTEMPORARY PRINT EXHIBITION:KIYOSHI AWAZU IN LONDON	1981(昭和56)	オフセット、紙
69	福田繁雄	HAPPY EARTHDAY	1982(昭和57)	オフセット、紙
70	亀倉雄策、横山 明	HIROSHIMA APPEALS	1983(昭和58)	オフセット、紙
71	五十嵐威暢	科学万博つくば'85	1983(昭和58)	オフセット、紙
72	杉浦康平、渡辺富士雄	伝統と現代技術	1984(昭和59)	オフセット、紙
73	奥村靱正	S・F・X	1984(昭和59)	オフセット、紙
74	福田繁雄	LOOK1(12人のアーティスト展)	1984(昭和59)	オフセット、紙
75	井上嗣也	モリサワ	1984(昭和59)	オフセット、紙
76	梅津恒見	WELCOME 北海道	1985(昭和60)	シルクスクリーン、紙(2点組)
77	勝井三雄	モリサワ-零-	1985(昭和60)	オフセット、紙
78	早川良雄	HIROSHIMA APPEALS	1986(昭和61)	オフセット、紙
79	松永 真	PEACE '86	1986(昭和61)	オフセット、紙
80	田中一光	JAPAN	1987(昭和62)	オフセット、紙
81	亀倉雄策	89名古屋デザイン博覧会公式ポスター	1987(昭和62)	オフセット、紙
82	永井一正、奥山民枝	HIROSHIMA APPEALS	1987(昭和62)	オフセット、紙
83	小島良平	世界の鳥を救おう	1987(昭和62)	オフセット、紙
84	田中一光	HIROSHIMA APPEALS	1988(昭和63)	オフセット、紙
85	永井一正	JAPAN	1988(昭和63)	オフセット、紙
86	仲條正義	WELCOME TO JAPAN	1988(昭和63)	オフセット、紙
87	仲條正義	タクティクス デザイン	1988(昭和63)	オフセット、紙(3点組)
88	勝井三雄	HIROSHIMA APPEALS	1989(平成元)	オフセット、紙
89	佐藤晃一	ユーロパリア89ジャパン	1989(平成元)	オフセット、紙
90	浅葉克己、操上和美	西武セゾングループのキャンペーン	1989(平成元)	オフセット、紙(2点組)

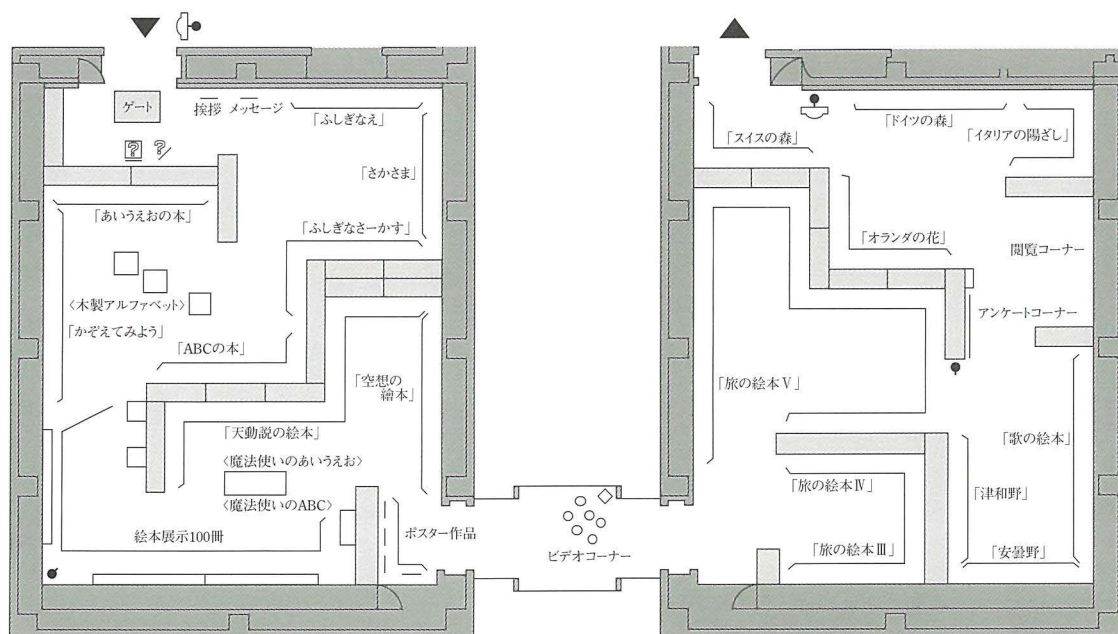
*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

島根県に生まれた安野光雅（あんのみつまさ）は、自在な空想力とユーモア、豊かな情感にあふれる絵本によって、子供から大人まで世代を超えて多くの人々に親しまれ続けている。また、国際アンデルセン賞をはじめ、数々の賞を受賞するなど、国際的な絵本作家としての業績は内外で高い評価を得ている。

本展では、デビュー作となった『ふしぎなえ』などの初期の作品をはじめ、『天動説の絵本』や『空想の絵本』といった知的な

ファンタジーを描いた作品、さらに、日本の唱歌を扱った『歌の絵本』や世界各地に取材した『旅の絵本』のシリーズなど、主要な絵本原画100点に加え、これまで刊行された初期から最新作までの100冊の絵本を展示し、あらゆるものに寄せる知的的好奇心と遊び心に彩られたその世界の魅力を紹介した。会期中、道東地域を中心に、道内各地から多くの安野ファンを迎え、1万人を超える来館者があった。



展示図面



会場風景



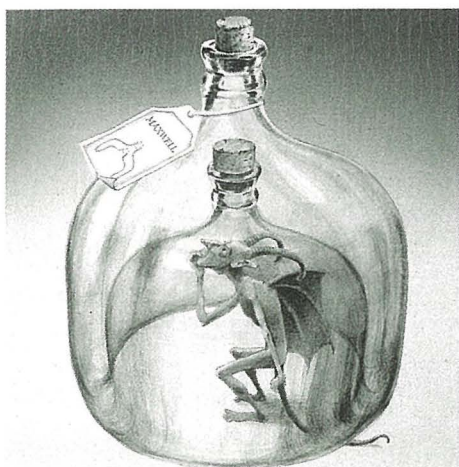
会場風景

No.	シリーズタイトル	作品タイトル	出版社	初版年
1	ふしぎなえ	ふしぎなえ 4.5P	福音館書店	1968
2	ふしぎなえ	ふしぎなえ 6.7P	福音館書店	1968
3	ふしぎなえ	ふしぎなえ 8.9P	福音館書店	1968
4	ふしぎなえ	ふしぎなえ 12.13P	福音館書店	1968
5	ふしぎなえ	ふしぎなえ 18.19P	福音館書店	1968
6	さかさま	さかさま 4.5P	福音館書店	1969
7	さかさま	さかさま 10.11P	福音館書店	1969
8	さかさま	さかさま 16.17P	福音館書店	1969
9	さかさま	さかさま 18.19P	福音館書店	1969
10	さかさま	さかさま 26.27P	福音館書店	1969
11	ふしぎな さーかす	ふしぎなさーかす 2.3P	福音館書店	1971
12	ふしぎな さーかす	ふしぎなさーかす 4.5P	福音館書店	1971
13	ふしぎな さーかす	ふしぎなさーかす 12.13P	福音館書店	1971
14	ふしぎな さーかす	ふしぎなさーかす 20.21P	福音館書店	1971
15	ふしぎな さーかす	ふしぎなさーかす 22.23P	福音館書店	1971
16	A B Cの本	A_絵・文字	福音館書店	1974
17	A B Cの本	E_絵・文字	福音館書店	1974
18	A B Cの本	M_絵・文字	福音館書店	1974
19	A B Cの本	U_絵・文字	福音館書店	1974
20	かぞえてみよう	かぞえてみよう_1	講談社	1975
21	かぞえてみよう	かぞえてみよう_4	講談社	1975
22	かぞえてみよう	かぞえてみよう_7	講談社	1975
23	かぞえてみよう	かぞえてみよう_12	講談社	1975
24	あいうえおの本	あ_絵・文字	福音館書店	1976
25	あいうえおの本	さ_絵・文字	福音館書店	1976
26	あいうえおの本	つ_絵・文字	福音館書店	1976
27	あいうえおの本	に_絵・文字	福音館書店	1976
28	天動説の絵本	天動説の絵本 0/表紙	福音館書店	1979
29	天動説の絵本	天動説の絵本 6.7P	福音館書店	1979
30	天動説の絵本	天動説の絵本 10.11P	福音館書店	1979
31	天動説の絵本	天動説の絵本 12.13P	福音館書店	1979
32	天動説の絵本	天動説の絵本 20.21P	福音館書店	1979
33	天動説の絵本	天動説の絵本 26.27P	福音館書店	1979
34	天動説の絵本	天動説の絵本 28.29P	福音館書店	1979
35	天動説の絵本	天動説の絵本 32.33P	福音館書店	1979
36	天動説の絵本	天動説の絵本 36.37P	福音館書店	1979
37	天動説の絵本	天動説の絵本 42.43P	福音館書店	1979

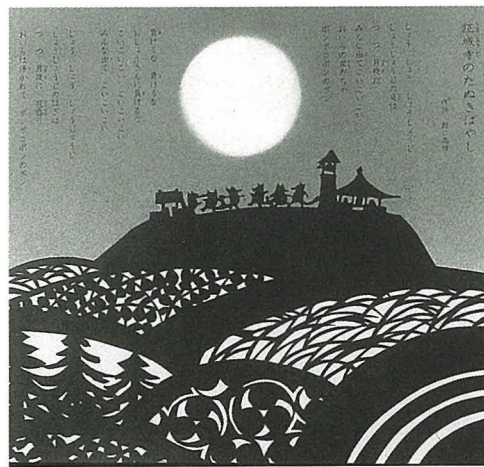


「さかさま」

No.	シリーズタイトル	作品タイトル	出版社	初版年
38	空想の繪本	ピカソのピエロ	講談社	1999
39	空想の繪本	さいころ	講談社	1999
40	空想の繪本	マクスウェルの悪魔	講談社	1999
41	空想の繪本	ワイン1	講談社	1999
42	空想の繪本	立方体のあつまり	講談社	1999
43	旅の繪本Ⅳ	ニューヨーク、キングコング	福音館書店	1983
44	旅の繪本Ⅳ	グランドキャニオン	福音館書店	1983
45	旅の繪本Ⅳ	ニューオーリンズ	福音館書店	1983
46	旅の繪本Ⅳ	ニューヨーク	福音館書店	1983
47	旅の繪本Ⅳ	ワシントン特別区	福音館書店	1983
48	旅の繪本Ⅲ	スタンフォードの街並み	福音館書店	1981
49	旅の繪本Ⅲ	ストーンヘンジ	福音館書店	1981
50	旅の繪本Ⅲ	グリニッジ天文台	福音館書店	1981
51	旅の繪本Ⅲ	ロンドン橋	福音館書店	1981
52	旅の繪本Ⅲ	トラファルガー広場	福音館書店	1981
53	旅の繪本Ⅴ	トレド	福音館書店	2003
54	旅の繪本Ⅴ	クッダケス	福音館書店	2003
55	旅の繪本Ⅴ	クッダケス	福音館書店	2003
56	旅の繪本Ⅴ	バルセロナ	福音館書店	2003
57	旅の繪本Ⅴ	バスク地方	福音館書店	2003
58	旅の繪本Ⅴ	バンブローナ	福音館書店	2003
59	旅の繪本Ⅴ	村の結婚式ー村の結婚式ー	福音館書店	2003
60	旅の繪本Ⅴ	ラ・マンチャ (カンポ・デ・クリプターナ)	福音館書店	2003
61	旅の繪本Ⅴ	グラナダ	福音館書店	2003
62	旅の繪本Ⅴ	ロンダ	福音館書店	2003
63	旅の繪本Ⅴ	カセレス	福音館書店	2003
64	旅の繪本Ⅴ	セビーリャ	福音館書店	2003
65	旅の繪本Ⅴ	セビーリャ・ロシオの聖母マリアへの巡礼	福音館書店	2003
66	旅の繪本Ⅴ	チンチョン	福音館書店	2003
67	旅の繪本Ⅴ	アルベルカ	福音館書店	2003
68	旅の繪本Ⅴ	セゴビア	福音館書店	2003
69	旅の繪本Ⅴ	サラマンカの市場	福音館書店	2003
70	旅の繪本Ⅴ	馬市と絵の展覧会	福音館書店	2003
71	旅の繪本Ⅴ	サンチャゴ・デ・コンポステラ	福音館書店	2003
72	旅の繪本Ⅴ	スペイン北部の村	福音館書店	2003
73	歌の繪本ー日本の唱歌よりー	ふるさと	講談社	1977
74	歌の繪本ー日本の唱歌よりー	こいのぼり	講談社	1977
75	歌の繪本ー日本の唱歌よりー	港	講談社	1977
76	歌の繪本ー日本の唱歌よりー	もみじ	講談社	1977
77	歌の繪本ー日本の唱歌よりー	冬景色	講談社	1977
78	歌の繪本ー日本の唱歌よりー	証城寺のためきばやし	講談社	1977



「空想の繪本 マクスウェルの悪魔」



「歌の繪本-日本の唱歌より-証城寺の狸ばやし」

No.	シリーズタイトル	作品タイトル	出版社	初版年
79	安曇野	四賀村	文藝春秋	1981
80	安曇野	八坂村の秋	文藝春秋	1981
81	安曇野	白馬村	文藝春秋	1981
82	津和野	南谷大橋から	岩崎書店	1980
83	津和野	一本杉	岩崎書店	1980
84	津和野	機関車	岩崎書店	1980
85	オランダの花	アンネの家の前から	朝日新聞社	1988
86	オランダの花	エンクハイゼン 野外博物館	朝日新聞社	1988
87	オランダの花	ハーレムのはね橋	朝日新聞社	1988
88	オランダの花	デルフト 市庁舎広場	朝日新聞社	1988
89	スイスの谷	ロマンモチエ	朝日新聞社	1990
90	スイスの谷	サント・クロア	朝日新聞社	1990
91	スイスの谷	トルン	朝日新聞社	1990
92	スイスの谷	マッターホルン	朝日新聞社	1990
93	ドイツの森	カルプ	朝日新聞社	1993
94	ドイツの森	ハンプルク	朝日新聞社	1993
95	ドイツの森	ドレスデン	朝日新聞社	1993
96	ドイツの森	ニュルンベルク	朝日新聞社	1993
97	イタリアの陽ざし	フォロロマーノ	朝日新聞社	1997
98	イタリアの陽ざし	ヴェローナ	朝日新聞社	1997
99	イタリアの陽ざし	ドゥオモ広場	朝日新聞社	1997
100	イタリアの陽ざし	アッシジ2	朝日新聞社	1997

* 作品はすべて津和野町立安野光雅美術館蔵。



「ドイツの森 ニュルンベルグ」

ピカソ、マティスと20世紀の画家たち フォーヴィズムとキュビズム

会期＝平成16年9月3日(金)～10月13日(水) 35日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、十勝毎日新聞社、NPO十勝文化会議、ピカソ、マティスと20世紀の画家たち展実行委員会

後援＝フランス大使館、十勝町村会、十勝教育局、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小中学校長会、帯広市校長会、帯広市町内会連合会、帯広市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、NHK文化センター帯広教室、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA

協力＝エールフランス航空

協賛＝十勝道路(株)、東洋印刷(株)、ホクレン農業協同組合連合会、大成建設(株)

観覧料＝一般1,050(800)円、高大生650(500)円、小中生400(300)円
心身に障害のある方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

美術講演会

「マティスの絵を見るということ」

講師＝天野知香氏(お茶の水女子大学助教授)

日時＝9月18日(土)午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「20世紀美術の革新：フォーヴィズムとキュビズムの画家たち」

講師＝平 利弘(当館主任学芸員)

日時＝9月11日(土)、9月25日(土)午後2時～3時

会場＝当館講堂

土曜映写室

「美術のみかた―視覚の変貌」

「近代美術―実践と論争：マティスと表現の問題」

日時＝9月4日(土)午後2時～3時

会場＝当館講堂

体験・キュビズム

講師＝村上陽一氏(帯広柏葉高等学校美術教諭)

日時＝9月26日(日)午後2時～3時30分

会場＝当館講堂

鑑賞交流会

「聞いてピカソ・見てマティス―私の好きな作品、言いたい放題」

日時＝10月3日(日)午後1時～3時30分

会場＝当館講堂・主展示室



ポスター



図録

図 録

規格=28.9×22.4cm／総頁数139ページ

構成=あいさつ／フランソワーズ・ガルシア「フォーヴィスムとキュビズム」／作品図版・作品解説／作品リスト

関連記事

武内哲「編集余録 色と形」十勝毎日新聞／8月26日

北雅貴「ピカソ、マティスと20世紀の画家たち ①～⑤」十勝毎日新聞／8月25日～29日

「サンデートーク 中西堯昭さん」十勝毎日新聞／8月29日

「鮮やかで大胆 独自の画面空間」十勝毎日新聞／8月30日

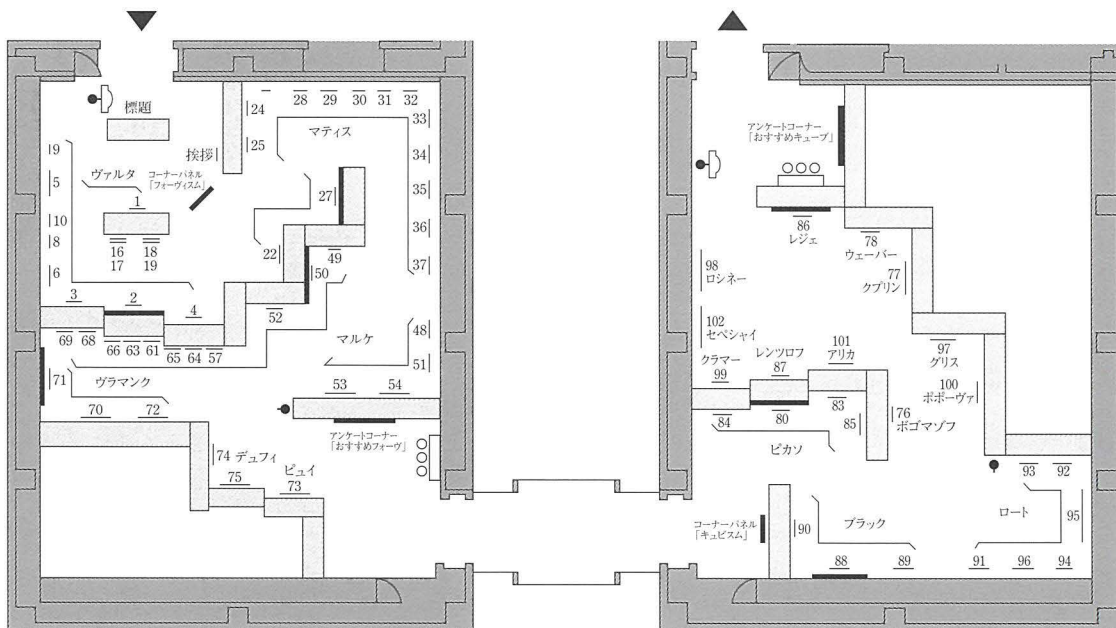
「私たち、心にピピッとくる絵に出会いました」Chai10月号
「座談会『ピカソ、マティスと20世紀の画家たち』の見どころ」十勝毎日新聞／8月31日

「らいふトレンド この一枚に一目ボレ」十勝毎日新聞／9月8日

平利弘「『ピカソ、マティスと20世紀の画家たち』に寄せて」
十勝毎日新聞／9月20日

フォーヴィスムとキュビズムは、20世紀絵画に新境地を開いた代表的な美術運動である。マティスに代表されるフォーヴィスムの画家たちは、造形要素の中でも特に色彩に注目し、固有色を否定した色彩による画面構成を主張し、鮮やかな色彩と大胆な筆致を特徴とする作品を描いた。そして、それぞれの個性的な活動の展開が、大きな時代の流れを形成していった。また、ピカソとブラックに代表されるキュビズムは、造形要素の中でも特に空間に注目し、古典的な遠近法によらない独自の画面空間を創造した。いずれの運動も多くの賛同者を生み、全ヨーロッパに広がる運動となった。

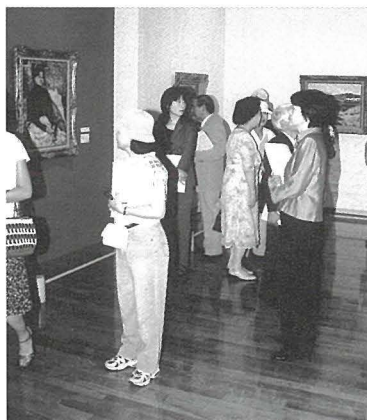
本展では、特にフランス・ボルドー美術館やドイツのルートヴィヒ美術館をはじめ、国内外の美術館や個人コレクターの協力を得て、フォーヴィスムとキュビズムの画家たちにあらためて焦点を当てながら、20世紀美術を牽引した二大運動の作品を紹介し、その活動の軌跡を振り返った。展覧会の関連イベントには、地元の美術団体が積極的な関わりをもち、市民的な広がりにつながった。会期中、道内各地から1万1千人を超える来館者が訪れ、賑わいを見せた。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

ルイ・ヴァルタ

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
1	薔薇の女	1892-93頃	油彩、ベニヤ板で補強された厚紙	57.0×19.5	ボルドー美術館
2	婦人の肖像	1892頃	油彩、キャンバス	82.0×66.0	ボルドー美術館
3	若いスペイン女性	1895頃	油彩、キャンバス	46.0×55.0	ボルドー美術館
4	乳母たち	1895頃	油彩、厚紙	40.5×61.0	ボルドー美術館
5	港のヨット	1905頃	油彩、キャンバス	46.0×55.5	ボルドー美術館
6	家のある風景	1903頃	油彩、キャンバス	60.0×73.0	ボルドー美術館
8	小船	1895	木炭、水彩、厚紙に貼った紙	20.0×33.0	ボルドー美術館
9	小船	1895	チョーク、墨、水彩によるハイライト、厚紙に貼った黒褐色の紙	25.3×32.7	ボルドー美術館
10	牡蠣を採る女たち	1895	木炭、水彩、厚紙に貼った紙	24.9×32.7	ボルドー美術館
16	行商人	—	鉛筆、水彩、厚紙に貼った灰色の紙	23.0×30.2	ボルドー美術館
17	闘牛場	—	鉛筆（木炭？）、水彩、厚紙に貼った灰色の紙	24.8×33.0	ボルドー美術館
18	樹の下での収穫	—	水彩、黒コンテ、厚紙に貼った紙	24.8×32.5	ボルドー美術館
19	山中にて（木々のある風景）	—	水彩、厚紙に貼った灰色の紙	25.3×32.5	ボルドー美術館

アンリ・マティス

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
22	腰掛ける少女	1909頃	油彩、キャンバス	41.5×33.5	ルートヴィヒ美術館、ケルン
24	ニース近郊	1920頃	油彩、キャンバス	37.5×45.0	個人蔵
25	腰掛ける若い女	1921頃	油彩、キャンバス	55.0×46.0	ナンシー美術館
27	襟巻きの女	1936	油彩、キャンバス	45.9×32.8	ポーラ美術館
28	ジャズより 一道化師一	1947	ステンシル、紙	42.2×32.4	北九州市立美術館（前期展示＊）
29	ジャズより 一サーカス一	1947	ステンシル、紙	42.5×32.7	北九州市立美術館（前期展示＊）
30	ジャズより 一ロワイヤル氏一	1947	ステンシル、紙	42.3×32.8	北九州市立美術館（前期展示＊）
31	ジャズより 一白い象の悪夢一	1947	ステンシル、紙	42.0×64.8	北九州市立美術館（前期展示＊）
32	ジャズより 一女曲馬師と道化師の悪夢一	1947	ステンシル、紙	42.5×65.4	北九州市立美術館（前期展示＊）
33	ジャズより 一狼一	1947	ステンシル、紙	42.2×65.0	北九州市立美術館（前期展示＊）
34	ジャズより 一ハート一	1947	ステンシル、紙	42.2×65.0	北九州市立美術館（前期展示＊）
35	ジャズより 一イーカロス一	1947	ステンシル、紙	42.3×32.7	北九州市立美術館（前期展示＊）
36	ジャズより 一フォルム一	1947	ステンシル、紙	41.8×65.0	北九州市立美術館（前期展示＊）
37	ジャズより 一ピエロの埋葬一	1947	ステンシル、紙	42.0×65.0	北九州市立美術館（前期展示＊）
38	ジャズより 一空中ブランコの曲芸師チーム一	1947	ステンシル、紙	42.0×64.5	北九州市立美術館（後期展示＊）
39	ジャズより 一水族館の遊泳者一	1947	ステンシル、紙	40.2×62.5	北九州市立美術館（後期展示＊）
40	ジャズより 一剣を呑む人一	1947	ステンシル、紙	42.5×32.8	北九州市立美術館（後期展示＊）
41	ジャズより 一カウボーイ一	1947	ステンシル、紙	42.5×65.4	北九州市立美術館（後期展示＊）
42	ジャズより 一ナイフ投げ一	1947	ステンシル、紙	42.5×65.4	北九州市立美術館（後期展示＊）
43	ジャズより 一運命一	1947	ステンシル、紙	42.5×65.4	北九州市立美術館（後期展示＊）
44	ジャズより 一珊瑚礁Ⅰ一	1947	ステンシル、紙	42.0×65.4	北九州市立美術館（後期展示＊）
45	ジャズより 一珊瑚礁Ⅱ一	1947	ステンシル、紙	42.0×65.0	北九州市立美術館（後期展示＊）
46	ジャズより 一珊瑚礁Ⅲ一	1947	ステンシル、紙	42.5×65.4	北九州市立美術館（後期展示＊）
47	ジャズより 一すべり台一	1947	ステンシル、紙	42.3×32.5	北九州市立美術館（後期展示＊）

アルベール・マルケ

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
48	画家の両親の肖像	1898	油彩、キャンバス	54.0×65.0	ボルドー美術館
49	リングとゴブレットのある静物	1898頃	油彩、キャンバス	27.0×35.0	ボルドー美術館
50	裸婦（通称フォーヴの裸婦）	1899	油彩、キャンバスに貼られた紙	73.0×50.0	ボルドー美術館
51	ボルドーの港	1924	油彩、キャンバス	64.5×80.5	ボルドー美術館
52	ラ・グーレットの窓	1926	油彩、板	41.0×33.0	ボルドー美術館
53	ボワシー、緑の小舟	1928	油彩、キャンバス	63.5×78.7	プリント美術研究所
54	ピラの庭	1935	油彩、キャンバス	65.0×81.0	ボルドー美術館
57	コリウールの縁日	1908	墨、厚紙に貼った紙	13.2×18.0	ボルドー美術館
61	歩く女性	1912	墨、紙	26.3×19.7	ボルドー美術館
63	立っている裸婦	1912	墨、紙	32.7×18.8	ボルドー美術館
64	ルーアン	1912	墨、紙	9.5×17.0	ボルドー美術館
65	マルヌ川の岸辺	1913	墨、紙	12.5×19.4	ボルドー美術館
66	マルセユの波止場にて	1916	墨、紙	17.4×22.3	ボルドー美術館

68	ラ・フレットの中庭	1938	黒コンテ、紙	15.5×12.5	ボルドー美術館
69	ラ・フレットの曳船	1945	黒コンテ、紙	12.0×17.3	ボルドー美術館

モーリス・ド・ヴラマンク

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
70	プロカ病院	1917	油彩、キャンバス	47.5×52.0	ボルドー美術館
71	花束と果物のある静物	1911	油彩、キャンバス	60.0×73.0	ルートヴィヒ美術館、ケルン
72	教会のある風景	1908頃以降	油彩、キャンバス	71.3×54.7	フリント美術研究所

ジャン・ピュイ

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
73	座った裸婦	1902	油彩、キャンバスで裏打ちした紙	105.0×75.0	ボルドー美術館

オーギュスト・シャボー

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
74	道で	1914頃	油彩、厚紙	21.0×23.0	ボルドー美術館

ラウル・デュフィ

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
75	ヨット	不詳	油彩、キャンバス	45.0×53.0	フリント美術研究所

アレクサンドル・ボゴマゾフ

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
76	眠っている女性 (画家の妻ワンダ)	1915頃	油彩、キャンバス	67.0×65.0	ルートヴィヒ美術館、ケルン

アレクサンドル・クプリン

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
77	黒い背景に描かれた白い造花	1922	油彩、キャンバス	120.5×139.0	ルートヴィヒ美術館、ケルン

マックス・ウェーバー

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
78	無題 (キュビスムの静物)	1920	油彩、ボードに貼られたキャンバス	91.0×76.2	フリント美術研究所

パブロ・ピカソ

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
80	静物	1924	油彩、板	23.2×34.4	長崎県立美術館
83	ろうそくのある静物	1944	油彩、キャンバス	64.6×91.8	ポーラ美術館 (ポーラ・コレクション)
84	青い背景の婦人像	1963	油彩、キャンバス	91.0×61.5	山形美術館
85	剣を持つ男	1969	油彩、キャンバス	116.0×89.0	山形美術館

フェルナン・レジェ

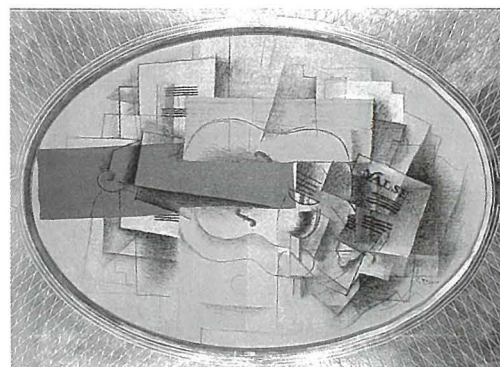
No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
86	双子	1929～30	油彩、キャンバス	73.0×91.0	ルートヴィヒ美術館、ケルン

アリストアルク・レンツロフ

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
87	(柵の前の) 少女のスケッチ	1911～12	油彩、キャンバス	85.0×66.0	ルートヴィヒ美術館、ケルン



ピカソ「静物」



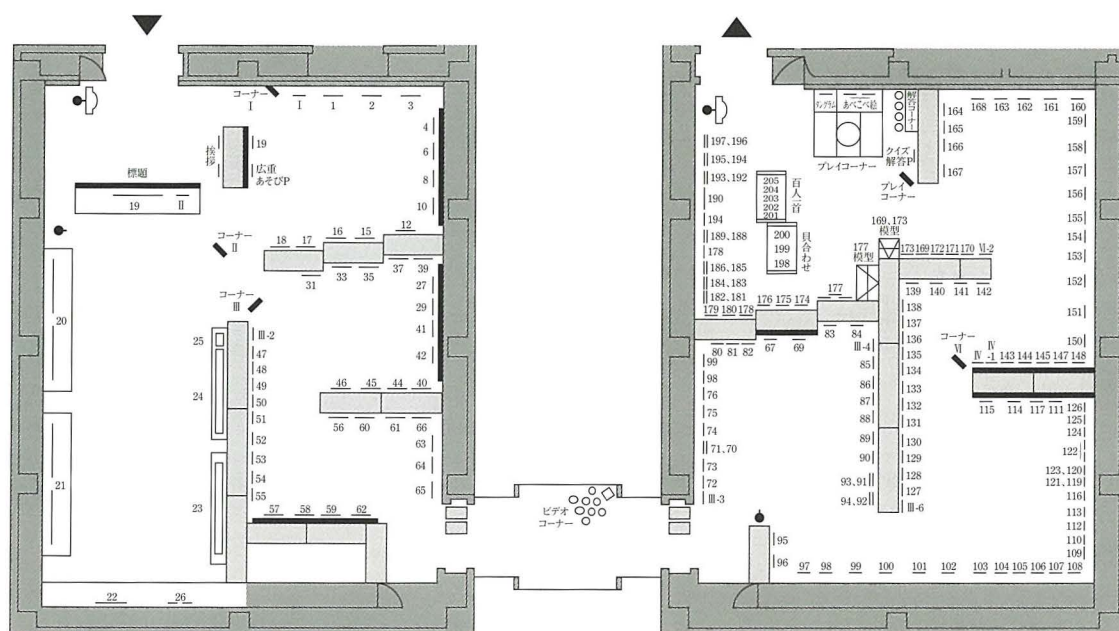
ブラック「コップとヴァイオリンと楽譜」

江戸時代は世の中が安定し、庶民の遊びが豊かに花開いた時代であり、子どもたちも野外、室内を問わずさまざまな遊びを楽しんでいたといわれる。その様子をいきいきと伝えてくれるのが、子ども浮世絵である。

本展では、くもん子ども研究所の新収蔵品を中心に、鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、葛飾北斎、歌川広重、歌川国芳といった当代一流の絵師たちの作品や、子どもたちが実際に遊びに使っていた「おもちゃ絵」などさまざまな浮世絵作品によって、江戸から明治にかけての子どもたちの遊びの世界を紹介した。

江戸時代はまた、寺子屋での勉学も始まり、「よく遊び、よく学ぶ」という考え方が広く庶民の間に浸透した時代である。子ども浮世絵には、習い事に精を出す子どもたちの姿もしばしば描かれている。

会場には、浮世絵に登場する江戸玩具や、おもちゃ絵の複製のほか、ワークシート形式のクイズ・ラリーも用意した。3,374名の観覧者には、実際に見て、触れて、遊びながら、江戸時代の子どもの暮らしにタイムスリップしていただけたようである。



展示図面（10月22日～11月10日）



会場風景



会場風景

出品目録

I. 子ども浮世絵の名品（春信、歌麿、広重が描いた子どもたち）

No.	作品名	作者	制作年	形状ほか	前期	後期
1	奉掛御宝前諸願成就所	作者未詳	1662	墨摺絵（絵馬）	○	○
2	＜菖蒲打＞	作者未詳	1751～1763	横細版墨摺着色（丹絵）	○	○
3	＜金魚と童＞	作者未詳（鳥居派）	1751～1763	細判紅摺絵	○	○
4	＜夏姿 母と子＞	鈴木春信	1764～1771	中判錦絵	○	●
5	＜子ども獅子舞＞	鈴木春信	1764～1771	中判錦絵	●	○
6	五常 智	磯田湖龍斎	1774	中判錦絵	○	●
7	戯童十二氣候 七月	鳥居清長	1778～1780	中判錦絵	●	○
8	＜山姥と金太郎＞	喜多川歌麿	1789～1803	長大判錦絵	○	●
9	当世好物八景 さわぎ好	喜多川歌麿	1801～1803	大判錦絵	●	○
10	風流てらこ吉書はじめけいこの図	歌川豊国	1804	大判錦絵（三枚続の内1枚）	○	●
11	＜金太郎驚摺みの図＞	勝川春朗（北斎）	1789～1792	大判錦絵	●	○
12	おさな遊富士巻狩	菊川英山	1804～1829	大判錦絵三枚続	○	○
13	風流をさなあそび（男）	歌川広重	1830～1834	横大判錦絵	○	●
14	風流おさな遊び（女）	歌川広重	1830～1834	横大判錦絵	●	○
15	子宝遊	歌川国芳	1844～1847	大判錦絵三枚続	○	○
16	山海愛度図会 乳が呑たい	歌川国芳	1852	大判錦絵	○	○
17	浮世五色合 黒	歌川豊国三代（国貞）	1844～1847	大判錦絵	○	○
18	双筆五十三次 日本橋	歌川広重・歌川豊国三代（国貞）	1854	大判錦絵	○	○

II. 子どもの登場 錦絵以前（屏風や絵巻に見る子ども風俗と唐子）

No.	作品名	作者	制作年	形状ほか	前期	後期
19	＜川遊び図屏風＞	作者未詳		紙本着色金泥金砂子	○	○
20	松月屏風（正月屏風）	作者未詳	1661～1703	紙本金地着色	○	○
21	＜唐子遊屏風＞	作者未詳		紙本着色金雲	○	○
22	＜唐子屏風＞	作者未詳		紙本着色	○	○
23	＜子ども遊絵巻（絵手本）＞	作者未詳		紙本着色	○	○
24	年中行事絵巻	作者未詳	1688～1735	紙本着色	○	○
25	童子遊興之図	作者未詳		紙本着色	○	○
26	＜唐子遊離屏風＞	作者未詳		紙本金地着色	○	○

III. 浮世絵に描かれた子ども一遊び遊ぶ子宝たちー

III-①. ごっこ遊びと子ども見立て絵（春信、豊雅、重政などの初期錦絵）

No.	作品名	作者	制作年	形状ほか	前期	後期
27	風流やつし七小町 草紙あらひ	鈴木春信	1764～1771	細判錦絵	○	●
28	やつし七福神 布袋	磯田湖龍斎	1771	中判錦絵	●	○
29	うたい八番ノ内紅葉かり	石川豊雅	1772～1780	中判錦絵	○	●
30	風流十二月 四月	石川豊雅	1764～1771	中判錦絵	●	○
31	頼光山入遊第二羅しゃうもん	作者未詳	1772～1780	中判錦絵	○	●
32	やつし八景勢田夕照	北尾重政	1772～1780	中判錦絵	●	○
33	おさなあそび廿四孝 老萊子（三）	作者未詳（北尾重政か）	1772～1788	中判錦絵	○	●
34	おさな遊廿四孝 黄香（四）	作者未詳（北尾重政か）	1772～1788	中判錦絵	●	○
35	おさなあそび廿四孝 唐夫人（九）	作者未詳（北尾重政か）	1772～1788	中判錦絵	○	●
36	おさな遊廿四孝 楊香（十）	作者未詳（北尾重政か）	1772～1788	中判錦絵	●	○
37	おさなあそび廿四孝 山谷（十八）	作者未詳（北尾重政か）	1772～1788	中判錦絵	○	●
38	おさなあそび廿四孝 丁蘭（廿）	作者未詳（北尾重政か）	1772～1788	中判錦絵	●	○
39	＜子ども遊び菓子所＞	作者未詳	1789～1800	中判錦絵	○	○
40	雅遊五節供 九月	勝川春山	1789～1800	大判錦絵	○	○
41	忠臣蔵稚遊二段目	喜多川歌麿	1801～1803	大判錦絵	○	○
42	＜子ども遊び大名行列＞	喜多川歌麿	1789～1800	大判錦絵五枚続	○	●
43	おさな遊日本橋行列之図	溪斎英泉	1830～1843	大判錦絵三枚続	●	○
44	美立菅原築地	歌川豊国三代（国貞）	1848～1853	団扇絵	○	○
45	見立廿四孝之内 楊香	歌川貞虎	1830～1843	大判錦絵	○	○
46	道中豊年子供あそび	歌川国郷	1776	大判錦絵三枚続	○	○

III-②. おもちゃ遊びとわんぱくくらべ（北斎、英泉、貞虎などの子ども絵）

No.	作品名	作者	制作年	形状ほか	前期	後期
47	風流十二月 十月	石川豊雅	1764～1771	中判錦絵	○	○
48	＜赤貝馬＞	勝川春章	1772～1780	細判錦絵	○	○
49	＜子ども十二月 七月＞	喜多川歌麿	1781～1800	中判錦絵	○	○
50	おさな遊び七小町 清水小町	文浪	1801～1803	間判錦絵	○	○
51	職人三十六番 たがかけ	菱川宗理	1798～1803	四つ切判摺物	○	○
52	＜松たけ狩り＞	勝川春扇	1815～1817	横大判錦絵	○	○

53	四季の詠おさな遊 三月上巳花見	溪斎英泉	1818～1829	大判錦絵	○ ○
54	四季の詠おさな遊 初冬十月・十一月の詠	溪斎英泉	1818～1829	大判錦絵	○ ○
55	四季の詠おさな遊 晩冬十二月年の市	溪斎英泉	1818～1829	大判錦絵	○ ○
56	木曾街道倉賀野宿烏川之図	溪斎英泉	1840～1843	横大判錦絵	○ ○
57	隅田堤花盛子供遊の図	歌川貞虎	1818～1843	大判錦絵三枚続	○ ○
58	向島弘法大師境内之図	歌川貞虎	1830～1843	大判錦絵三枚続	○ ○
59	江都新大橋雪の朝タ子供遊の図	歌川貞虎	1818～1829	大判錦絵三枚続	○ ○
60	稚遊四季之内 春	歌川芳虎	1830～1843	大判錦絵	○ ○
61	くたこ揚げ	歌川国彦二代 (国輝)	1856	横大判錦絵	○ ○
62	江都勝景中洲より三つまた永代ばしを見る図	歌川国芳	1830～1843	大判錦絵三枚続	○ ○
63	子供あそび	歌川国郷	1857	大判錦絵三枚続	○ ○
64	苔花江戸子数語録	歌川国芳	1857	錦絵五枚継 (絵双六)	○ ○
65	友寿々女美知具佐数語呂久	歌川広重二代	1860	錦絵五枚継 (絵双六)	○ ○
66	江戸名所道化尽十一 下谷御成道	歌川広景	1859	大判錦絵	○ ○

III-③. 母や姉とのたわむれ (歌麿、国貞、国芳などの母子絵、子宝絵)

No.	作品名	作者	制作年	形状ほか	前期 後期
67	<夢にうなされる子どもと母>	喜多川歌麿	1800～1801	大判錦絵	○ ●
68	風流子宝合 大からくり	喜多川歌麿	1802	大判錦絵	● ○
69	風流子宝船	喜多川歌麿	1805	大判錦絵三枚続	○ ○
70	子宝遊 (髪結い)	歌川国貞	1830～1843	大判錦絵	○ ○
71	子宝遊 (からくり人形)	歌川国貞	1830～1843	大判錦絵	○ ○
72	時世 薄化粧	歌川国貞	1804～1843	大判錦絵	○ ○
73	女子教訓狂歌合	歌川国貞	1830～1843	大判錦絵	○ ○
74	時世百化鳥 風車にみみづく	歌川国貞	1830～1835	大判錦絵	○ ○
75	婦人一代鑑 喰初の図	歌川国貞	1830～1843	大判錦絵	○ ○
76	誂織当世島 (金花糖)	歌川豊国三代 (国貞)	1844～1847	大判錦絵	○ ○
77	妙でんす十六利勘 多弁損者	歌川国芳	1830～1843	大判錦絵	○ ○
78	当盛娘かた気	歌川国芳	1830～1853	团扇絵	○ ○
79	山海名産尽 紀州鯨	歌川国芳	1818～1829	大判錦絵	○ ○
80	浮世風俗子宝合	溪斎英泉	1830～1843	大判錦絵	○ ○
81	当世子宝十景 富ヶ岡の山里	溪斎英泉	1818～1829	大判錦絵	○ ○
82	東都名所女夫尽の内上野山内女夫杉	歌川貞虎	1818～1843	大判錦絵	○ ○
83	<宮参り>	柳川重信二代	1818～1843	色紙判摺物	○ ○
84	麻疹心得草	歌川芳藤	1854～1859	大判錦絵	○ ○

III-④. 四季の行事とお出かけ (国芳、貞広、国貞などの年中行事絵、虫聞き)

No.	作品名	作者	制作年	形状ほか	前期 後期
85	子宝春あそび	歌川国芳	1830～1847	大判錦絵三枚続	○ ○
86	雅遊五節句之内青陽	歌川国芳	1839	大判錦絵五枚組	○ ○
87	雅遊五節句之内弥生	歌川国芳	1839	大判錦絵五枚組	○ ○
88	雅遊五節句之内端午	歌川国芳	1839	大判錦絵五枚組	○ ○



鈴木春信「夏姿 母と子」



喜多川歌麿「当世好物八景 さわぎ好」

89	雅遊五節句之内七夕	歌川国芳	1839	大判錦絵五枚組	○ ○
90	雅遊五節句之内菊月	歌川国芳	1839	大判錦絵五枚組	○ ○
91	子供四季遊 春	歌川貞広	1830～1847	大判錦絵四枚組	○ ○
92	子供四季遊 夏	歌川貞広	1830～1847	大判錦絵四枚組	○ ○
93	子供四季遊 秋	歌川貞広	1830～1847	大判錦絵四枚組	○ ○
94	子供四季遊 冬	歌川貞広	1830～1847	大判錦絵四枚組	○ ○
95	子供十二月	歌川貞升	1830～1843	大短冊判錦絵六丁掛二枚組（上方絵）	○ ○
96	幼女四雅之内 風	歌川国貞	1830～1847	大判錦絵	○ ○
97	風流古今十二月ノ内 弥生	歌川国貞	1830～1843	大判錦絵三枚続	○ ○
98	<花見>	溪斎英泉	1830～1843	大判錦絵三枚続	○ ○
99	新板子供遊び相撲の図	歌川国貞	1830～1843	大判錦絵三枚続	○ ○
100	汐干潟弥生風景	歌川豊国三代（国貞）	1855	大判錦絵三枚続	○ ○
101	東都茅場町図	歌川国貞	1818～1829	大判錦絵三枚続	○ ○
102	七五三祝ひの図	歌川豊国三代（国貞）	1844～1847	大判錦絵三枚続	○ ○
103	今様見立土農工商 商人	歌川豊国三代（国貞）	1857	大判錦絵三枚続	○ ○
104	東都名所 道灌山虫聞之図	歌川広重	1841・1842	横大判錦絵	○ ○
105	准源氏教訓図会 空蟬	歌川国芳	1830～1843	大判錦絵	○ ○
106	今様女扇	菊川英山	1811	大判錦絵	○ ○
107	新板虫づくし	歌川重宣（広重二代）	1848～1853	大判おもちゃ絵（物づくし絵）	○ ○
108	志ん板むしづくし	作者未詳	1856	大判おもちゃ絵（物づくし絵）	○ ○

Ⅲ-⑤. 手習い、芸事も楽し（清長、国芳、広重などのお稽古絵）

No.	作品名	作者	制作年	形状ほか	前期 後期
109	<草双紙>	溪斎英泉	1830～1843	大判錦絵	○ ○
110	幼童諸芸教草 手習	歌川国芳	1844～1847	大判錦絵	○ ○
111	五色和歌 定家卿 赤	歌川芳虎	1848～1853	大判錦絵	○ ○
112	<寺子屋の図>	作者未詳		絹本着色	○ ○
113	文学ばんだいの宝 末の巻	一寸子花里	1844～1847	大判錦絵二枚組の1枚	○ ○
114	風流てらこ吉書はじめけいこの図	歌川豊国	1804～1808	大判錦絵三枚続	○ ○
115	幼童席書会	歌川国芳	1844～1847	大判錦絵三枚続	○ ○
116	春興手習出精双六	歌川広重	1847	錦絵二枚継（絵双六）	○ ○
117	<源成之の席書>	鳥居清長	1783	大判錦絵	○ ●
118	<玉花子の席書>	鳥居清長	1783	大判錦絵	● ○
119	子供諸礼儀方（掛物・立花）	歌川国芳	1830～1847	大判錦絵	○ ○
120	子供諸礼儀方（膳・給仕）	歌川国芳	1830～1847	大判錦絵	○ ○
121	子供諸礼儀方（屏風・障子）	歌川国芳	1830～1847	大判錦絵	○ ○
122	諸芸稽古図会	歌川広重	1830～1843	四つ切判四丁掛錦絵四枚組	○ ○
123	幼童諸芸教草 仕立もの	歌川国芳	1844～1847	大判錦絵	○ ○
124	子供遊踊尽 石橋	溪斎英泉	1830～1843	大判錦絵	○ ○
125	子供 手ならい双紙	歌川貞房	1830～1843	大判錦絵	○ ○
126	雅舞尽	歌川貞升	1830～1843	中国おもちゃ絵九丁掛（上方絵）	○ ○

Ⅲ-⑥. 明治の子ども遊び（春汀、昇雲の開化子ども絵）

No.	作品名	作者	制作年	形状ほか	前期 後期
127	小供風俗 あねさま	宮川春汀	1896	大判錦絵	○ ○
128	小供風俗 たまや	宮川春汀	1897	大判錦絵	○ ○
129	小供風俗 せんこはなび	宮川春汀	1896	大判錦絵	○ ○
130	小供風俗 おしりの用心	宮川春汀	1896	大判錦絵	○ ○



勝川春朗(北斎)「金太郎驚掴みの図」

131	小供風俗	ちんちんもがもが	宮川春汀	1897	大判錦絵	○	○
132	小供風俗	かずひろい	宮川春汀	1897	大判錦絵	○	○
133	小供風俗	たけうま	宮川春汀	1897	大判錦絵	○	○
134	小供風俗	めんこあそび	宮川春汀	1897	大判錦絵	○	○
135	小供風俗	たるみこし	宮川春汀	1897	大判錦絵	○	○
136	小供風俗	いくさごっこ	宮川春汀	1897	大判錦絵	○	○
137	子供あそび	ままこと	山本昇雲	1906	横大判錦絵	○	○
138	子供遊び	まわりどうろう	山本昇雲	1906	横大判錦絵	○	○
139	子供あそび	とんぼ	山本昇雲	1907	横大判錦絵	○	○
140	四季のなかめ	虫の声	山本昇雲	1907	横大判錦絵	○	○
141	子供あそび	こま回し	山本昇雲	1907	横大判錦絵	○	○
142	子供あそび	園の雪	山本昇雲	1906	横大判錦絵	○	○

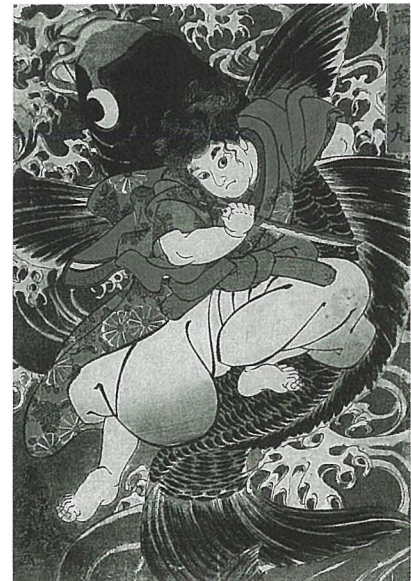
IV. 子どものための浮世絵、遊戯具一鑑賞と実用一

IV-①. 昔話や妖怪物語（国芳、芳藤、芳幾の物語絵）

No.	作品名	作者	制作年	形状ほか	前期	後期
143	和漢準源氏 山姥会童丸 須磨	歌川国芳	1855	大判錦絵	○	○
144	<金太郎双六遊び>	鳥居清満二代（清峰）	1818～1829	大判錦絵	○	○
145	<横笛を吹く金太郎>	鳥居清長	1789～1800	大判錦絵	○	●
146	坂田怪童丸	歌川国芳	1830～1843	大判錦絵	●	○
147	金太郎尽 三月	歌川芳艶	1848～1853	大判錦絵	○	○
148	和漢英雄伝 金太郎	歌川国輝	1830～1843	大判錦絵	○	○
149	<大江山酒吞童子>	歌川国芳	1847～1852	大判錦絵三枚続	○	○
150	頼光四天王大江山鬼神退治之図	月岡芳年	1864	大判錦絵三枚続	○	○
151	頼光大江山帰陣の図	歌川国芳	1852	大判錦絵三枚続	○	○
152	十六武蔵坊	歌川国芳	1848～1853	大判錦絵	○	○
153	鬼若丸	歌川国芳	1848～1853	大判錦絵	○	●
154	西塔鬼若丸	歌川国芳	1844～1847	大判錦絵	●	○
155	牛若丸 僧正坊	勝川春亭	1804～1817	小判錦絵	○	○
156	僧正坊 牛若丸	河鍋 周麿（暁斎）	1863	大判錦絵三枚続	○	○
157	五条橋	歌川国貞	1830～1843	大判錦絵	○	○
158	御曹子牛若丸 武蔵坊弁慶	歌川芳藤	1844～1847	大判錦絵二枚続	○	○
159	<安宅の関>	歌川貞秀	1830～1847	大判錦絵三枚続	○	○
160	九州岸柳島において宮本六三四佐々木岸柳仕合之図	歌川芳虎	1844～1847	大判錦絵三枚続	○	○
161	桃太郎雷退治	歌川国貞	1804～1843	大判錦絵	○	○
162	昔噺鬼ヶ嶋入	歌川芳幾	1854～1859	大判錦絵三枚続	○	○
163	昔ばなし一覧図会	歌川重宣（広重二代）	1857	大判錦絵三枚続	○	○
164	五拾三次之内猫之怪	歌川芳藤	1848・1849	大判錦絵	○	○
165	新板化物づくし	歌川芳員	1852	大判おもちゃ絵（物づくし絵）	○	○
166	新板おばけ尽	歌川貞房	1847	大判おもちゃ絵（物づくし絵）	○	○
167	百種怪談妖物双六	歌川芳員	1858	錦絵四枚継（絵双六）	○	○
168	朝比奈島遊び	歌川貞秀	1860	大判錦絵三枚続	○	○



勝川春郎（北斎）「金太郎鷲掴みの図」



歌川国芳「西塔鬼若丸」

IV-②. 紙工作と物づくし（芳藤、国郷、重宣のおもちゃ絵）

No.	作品名	作者	制作年	形状ほか	前期	後期
169	新板雛だな組立	歌川国直	1804～1817	大判おもちゃ絵（組上絵）	○	○
170	おひなさま両めん合	歌川藤よし	1864	大判おもちゃ絵（組上絵）	○	○
171	<内裏びな>	歌川豊国三代（国貞）	1855	大判おもちゃ絵（ひな絵）二枚続	○	○
172	<武者着せ替え>	歌川芳虎	1848～1859	大判おもちゃ絵（着せ替え絵）	○	○
173	<鎧冑組上げ>	歌川芳重	1853	大判おもちゃ絵（組上絵）	○	○
174	<牛若丸と弁慶>	歌川国芳	1830～1843	大判おもちゃ絵（幟絵）	○	○
175	しん板おざしきこしらえ形	歌川芳藤	1867	大判おもちゃ絵（組上絵）	○	○
176	組上とうろふ（越後獅子）	歌川国政三代（国貞二代）	1848～1853	大判おもちゃ絵（組上絵）	○	○
177	舌切雀桃太郎一代記	長谷川貞信二代	1891	大判おもちゃ絵（組上絵）六枚組	○	○
178	新板八嶋だんのうらきりぐみとふろう系	歌川国長	1801～1817	大判おもちゃ絵（組上絵）二枚組	○	○
179	しん板あね様づくし	歌川芳藤	1861～1863	大判おもちゃ絵（姉様絵）	○	○
180	新板相撲東西両面合	作者未詳	1865～1867	大判おもちゃ絵（相撲両面絵）	○	○
181	新板角力尽し	歌川国郷	1857	大判おもちゃ絵（相撲絵）	○	○
182	新板昔々さるかに咄し	歌川国郷	1848～1859	大判おもちゃ絵（物語こま絵）	○	○
183	昔咄しさるかに合戦	歌川芳綱	1853	大判おもちゃ絵（物語こま絵）	○	○
184	朝比奈嶋めぐり	歌川重歳	1861	大判おもちゃ絵（物語こま絵）	○	○
185	新板鳥さし十六むさし	歌川周重	1869	大判おもちゃ絵（ゲーム絵）	○	○
186	いろはかるた	歌川芳藤	1861	大判おもちゃ絵（かるた絵）	○	○
187	紙鷗登 天上双六	歌川芳藤	1847～1852	錦絵四枚継（絵双六）	○	○
188	新板おもちゃ双六	歌川芳藤	1861	大判おもちゃ絵（絵双六）	○	○
189	<武勇三題>	歌川芳藤	1856	大判おもちゃ絵（物語絵）	○	○
190	道外上下見ノ図	歌川芳虎	1861・1862	大判錦絵（上下絵）三枚組	○	○
191	五子十童図	歌川貞景	1830～1843	大判おもちゃ絵（だまし絵）	○	○
192	越後方武者揃	歌川芳綱	1847～1852	大判おもちゃ絵（武者づくし絵）	○	○
193	合馬づくし	歌川芳藤	1855	大判おもちゃ絵（物づくし絵）	○	○
194	新板世たい道具尽し	歌川重宣（広重二代）	1847～1852	大判おもちゃ絵（物づくし絵）	○	○
195	新板鳥づくし	歌川重宣（広重二代）	1847～1852	大判おもちゃ絵（物づくし絵）	○	○
196	新板魚づくし	歌川重宣（広重二代）	1847～1852	大判おもちゃ絵（物づくし絵）	○	○
197	新板鉢植づくし	歌川重宣（広重二代）	1847～1852	大判おもちゃ絵（物づくし絵）	○	○

IV-③. 貝合わせと百人一首（上流子女の遊戯具と教養）

No.	作品名	作者	制作年	形状ほか	前期	後期
198	<貝合わせ調度>			貝桶一對 合わせ貝二百個、襷紗一枚	○	○
199	潮干の都登	喜多川歌麿	1794	色摺絵入狂歌本	○	○
200	ふたみのうら	伊勢貞丈	1828	紙本墨書	○	○
201	百人一首かるた	作者未詳		かるた 着色	○	○
202	小倉百人一首	作者未詳		かるた 色摺	○	○
203	百人一首 全	土佐光貞	1808	色摺絵本	○	○
204	新版栄寿百人一首双六	歌川芳虎	1848～1853	錦絵四枚継（絵双六）	○	○
205	百人一首かるた	作者未詳	1830～1843	大判おもちゃ絵八枚組（かるた絵）	○	○

* 作品はすべてくもん子ども研究所蔵。

* 作品名に< >のあるものは、作品中に文字情報がないため、内容に合わせて仮題をつけたもの。

* 前期展示は10月22日～11月10日、後期展示は11月11日～12月1日。



歌川芳虎「道外上下見ノ図」

名作ファンタジーとの再会 ピノッキオ★その誕生から現代まで

会期＝平成16年12月7日(火)～平成17年1月23日(日)
35日間

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、読
売新聞北海道支社、十勝毎日新聞社、美術館
連絡協議会、イタリア文化省フィレンツェ
地区美術監督別監督局

後援＝イタリア大使館、イタリア文化会館、イタリア政府観光
局(E.N.I.T.)、国立カルロ・コッローディ財団

協賛＝花王株式会社

協力＝日本航空

企画協力＝R & F インターナショナル

観覧料＝一般950(750)円、高大生550(400)円、小中生
400(300)円

心身に障害のある方などは無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

特別展セミナー

「ファンタジーの絵世界―ピノッキオをめぐる―」

講師＝石尾乃里子(当館学芸員)

日時＝12月11日(土)、1月8日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

ウィンター子どもフェスタ〈ピノッキオ・クリスマス〉

映画会

「ピノッキオ」

日時＝12月18日(土) 午後2時～

会場＝当館講堂

ミュージアム・コンサート

演奏＝M I C A (ボーカル)、藤原志津花(ピアノ)、佐々木源市
(ベース)、角谷総明(ドラムス)

日時＝12月25日(土) 午後6時～

会場＝当館ホール



ポスター



図録

規格=29.1×21.0cm／総頁数188ページ

構成＝であいさつ／メッセージ／関連地図／目次／モニカ・ピエ
ッティ、カルロ・シージ「過去と現在のはざまのピノッキオ
―展覧会の趣旨」／カタログ／国立カルロ・コッローディ
財団とピノッキオ公園／『ピノッキオの冒険』初版本に掲
載されている挿絵一覧／ロベルト・マイーニ「ピノッキオ
の父親」／アル・チェッコニ「出版社の歴史的な数かずの
版：パッジ書店からジュンティ出版社まで」／シルヴェス
トラ・ピエトレッティ「19世紀のイタリア絵画」／宮本久宣
「『ピノチオ』の時代和歌山と戦前の日本におけるピノッ
キオの冒険」／牧野裕二「村山善子と『ピノッキオの冒
険』／作家解説／関連年表／イタリア語参考文献

木の人形ピノッキオがさまざまな悪戯を巻き起こし、やがて人間の心に目覚めるお話。名作ファンタジー『ピノッキオの冒険』は1883年にフィレンツェで誕生した。ジャーナリストとして活躍したコッローディによるある連載が人気を博し、単行本として刊行されたものである。以降『ピノッキオの冒険』は世界各国で紹介され今日まで読み継がれている。

本展では書籍や挿絵原画、人形、絵画、彫刻など、ピノッキオにまつわるおよそ200点を展覧。誕生から現代までのピノッキオをめぐるさまざまなイメージが、美術、文学、社会など多様な視点により構成された。展示構成は次のとおり。

I 19世紀のピノッキオ：ピノッキオの誕生

- 1) 『こども新聞』と「あるあやつり人形の物語」(1881-1883)
- 2) エンリコ・マッツァンティの挿絵による『ピノッキオの冒険』の初版(1883)

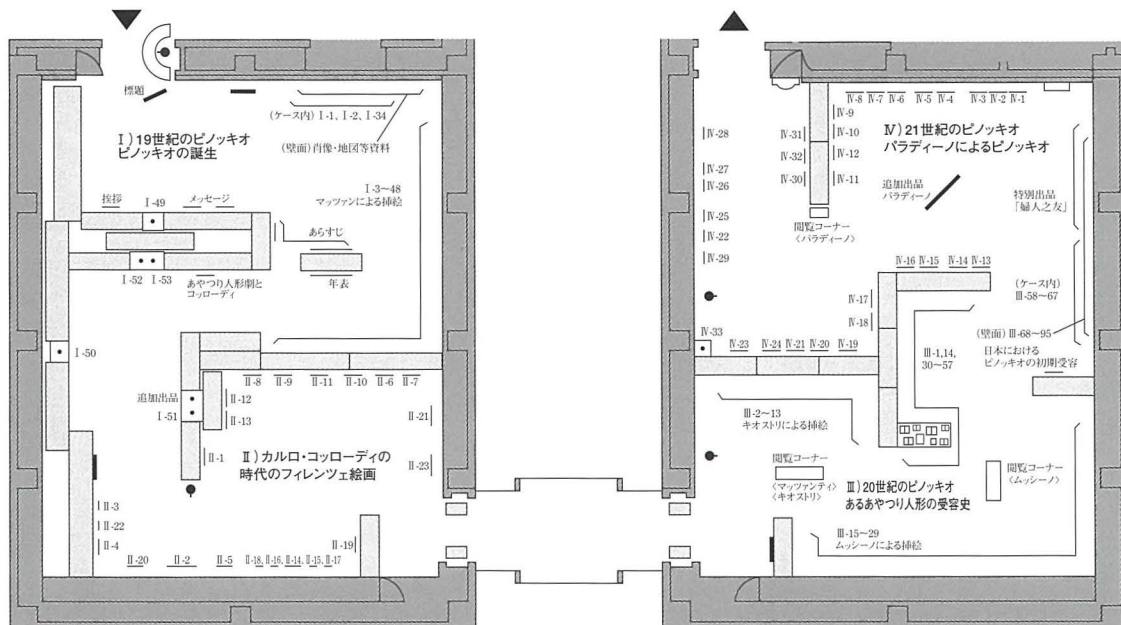
関連記事

石尾乃里子「ピノッキオ★その誕生から現代まで」中央公論／
2005年1月号

石尾乃里子「ファンタジーの絵世界 ピノッキオをめぐる ①
～⑤」 | 十勝毎日新聞 / 1月12日～16日

- 3) マッツァンティの挿絵が新たに追加された『ピノッキオの冒険』1894年版
- 4) トリノのルーピあやつり人形劇団ーピノッキオ、ジェッペット爺さん、トルコ石のように青い髪の仙女
- II カルロ・コッローディノ時代のフィレンツェ絵画
- III 20世紀のピノッキオ：あるあやつり人形の受容史
- 1) カルロ・キオストリによる挿絵版(1901)
- 2) アッティリオ・ムッシーノによる挿絵版(1911)
- 3) 20世紀に刊行された様々なピノッキオの本
- 4) 日本におけるピノッキオの初期受容(1920-1925)
- IV 21世紀のピノッキオ：ミンモ・パラディーノによるピノッキオ(2003-2004)

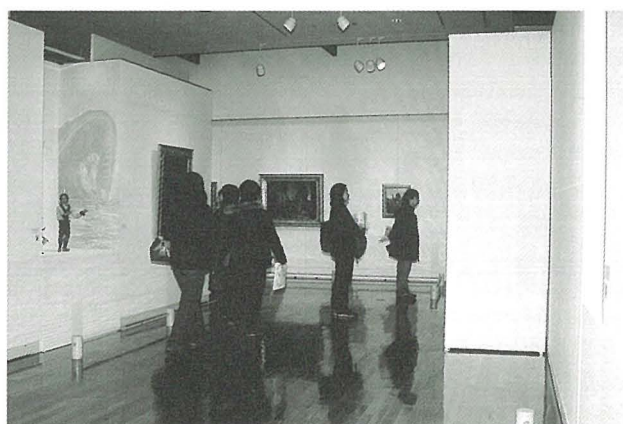
イタリア以外では初公開の初版本や原画、時代によるピノッキオ像表現の変遷、日本でのピノッキオ受容のセクション、挿絵原画の掲載された閲覧本など、熱心な反応が得られる内容となった。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

■ 1) 19世紀のピノッキオーピノッキオの誕生

◆『こども新聞』と「あるあやつり人形の物語」(1881-1883)

No.	作者	タイトル	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
I-1	—	『こども新聞』(エマニュエーレ・オブライイト出版社刊)	1881-83 (合本三分冊)	印刷、紙	29.2×21.8	I

◆エンリコ・マッツァンティの挿絵による『ピノッキオの冒険』の初版(1883)

No.	作者	タイトル	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
I-2	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (フェリーチェ・パッジ社刊/エンリコ・マッツァンティ挿絵)	1883	冊子体	18.8×13.0×2.4	K.C
I-3	エンリコ・マッツァンティ	〔さくらんぼう親方と木の棒〕	1883頃	インク、紙	5.1×4.5	G
I-4	エンリコ・マッツァンティ	〔さくらんぼう親方とジェッペットのけんか〕	1883頃	インク、紙	6.6×6.8/7.7×7.7	G
I-5	エンリコ・マッツァンティ	〔怒った木の棒に「笑うな」と命令するジェッペット〕	1883頃	インク、紙	6.1×5.0	G
I-6	エンリコ・マッツァンティ	〔ピノッキオを追うジェッペット〕	1883頃	インク、紙	5.5×6.0/8.7×7.5	G
I-7	エンリコ・マッツァンティ	〔ピノッキオは卵のなかにヒヨコを見つける〕	1883頃	インク、紙	7.5×6.1/10.0×6.5	G
I-8	エンリコ・マッツァンティ	〔ピノッキオは火鉢で足を燃やしてしまう〕	1883頃	インク、紙	5.5×3.8/10.0×4.5	G
I-9	エンリコ・マッツァンティ	〔火喰い親方に哀願するピノッキオ〕	1883頃	インク、紙	7.0×5.1/8.2×6.1	G
I-10	エンリコ・マッツァンティ	〔赤エビ亭にネコとキツネというピノッキオ〕	1883頃	インク、紙	11.5×12.0/18.7×13.4	G
I-11	エンリコ・マッツァンティ	〔ふたりの人殺しに出会うピノッキオ〕	1883頃	インク、紙	5.6×5.3/8.0×7.0	G
I-12	エンリコ・マッツァンティ	〔大きなカシの木に縛り首にされたピノッキオ〕	1883頃	インク、紙	7.6×7.9/8.6×8.8	G
I-13	エンリコ・マッツァンティ	〔トルコ石のように青い髪をした美しい少女〕	1883頃	インク、紙	5.7×4.8/8.5×5.7	G
I-14	エンリコ・マッツァンティ	〔御者の服装をした仙女のブードル犬〕	1883頃	インク、紙	6.7×4.8/7.9×5.8	G
I-15	エンリコ・マッツァンティ	〔ピノッキオとオウム〕	1883頃	インク、紙	8.6×6.1/9.4×8.4	G
I-16	エンリコ・マッツァンティ	〔農夫に捕まえられたピノッキオ〕	1883頃	インク、紙	6.3×5.0/7.9×5.5	G
I-17	エンリコ・マッツァンティ	〔青い髪をした少女の死を嘆くピノッキオ〕	1883頃	インク、紙	3.3×4.9/8.0×5.9	G
I-18	エンリコ・マッツァンティ	〔ピノッキオは水がめを運び女の人を助ける〕	1883頃	インク、紙	5.4×5.1/7.3×9.5	G
I-19	エンリコ・マッツァンティ	〔海岸で傷ついたエウジェーニオのかたわらにいるピノッキオと ふたりの憲兵〕	1883頃	インク、紙	6.2×8.3/7.9×9.4	G
I-20	エンリコ・マッツァンティ	〔犬のアリドローに追われるピノッキオ〕	1883頃	インク、紙	6.2×8.4/7.9×9.8	G
I-21	エンリコ・マッツァンティ	〔緑の漁師は網のなかにピノッキオをみつける〕	1883頃	インク、紙	5.8×5.5/10.3×3.3	G
I-22	エンリコ・マッツァンティ	〔仙女の家の扉に片足を突っ込んでしまったピノッキオ〕	1883頃	インク、紙	8.3×5.4/10.3×7.4	G
I-23	エンリコ・マッツァンティ	〔ピノッキオとランブの馬〕	1883頃	インク、紙	5.5×3.7/6.9×8.5	G
I-24	エンリコ・マッツァンティ	〔おもちゃの国へ向かう馬車〕	1883頃	インク、紙	5.2×3.9/6.9×5.1	G
I-25	エンリコ・マッツァンティ	〔おもちゃの国にピノッキオをいかせまいとするロバっ子〕	1883頃	インク、紙	5.6×9.8/7.5×11.1	G
I-26	エンリコ・マッツァンティ	〔おもちゃの国で抱き合うランプの芯とピノッキオ〕	1883頃	インク、紙	5.4×6.2/7.5×7.7	G
I-27	エンリコ・マッツァンティ	〔帽子で自分のロバの耳を隠すピノッキオ〕	1883頃	インク、紙	5.1×3.8/7.6×4.8	G
I-28	エンリコ・マッツァンティ	〔ロバの耳をしたピノッキオとランプの芯〕	1883頃	インク、紙	6.4×5.2/7.7×6.2	G
I-29	エンリコ・マッツァンティ	〔ロバになったピノッキオとランプの芯〕	1883頃	インク、紙	5.3×6.0/9.0×7.0	G
I-30	エンリコ・マッツァンティ	〔サーカスにいるロバっ子となったピノッキオ〕	1883頃	インク、紙	8.0×7.0/9.1×8.6	G
I-31	エンリコ・マッツァンティ	〔サーカス〕	1883頃	インク、紙	5.5×8.7/6.7×10.0	G
I-32	エンリコ・マッツァンティ	〔ピノッキオはサメのおなかのなかでジェッペットを見つける〕	1883頃	インク、紙	7.5×8.3/8.7×8.8	G
I-33	エンリコ・マッツァンティ	〔ピノッキオはジェッペットを手押し車に乗せて散歩に連れて行く〕	1883頃	インク、紙	6.6×4.9/7.6×5.9	G

◆マッツァンティの挿絵が新たに追加された『ピノッキオの冒険』1894年版

No.	作者	タイトル	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
I-34	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (ペンボラ社刊/エンリコ・マッツァンティとジュゼッペ・マーニ挿絵)	1895/10版 (1894初版)	冊子体	18.0×12.3×1.5	個人(東京)
I-35	エンリコ・マッツァンティ	〔しゃべる木の棒にびっくりするさくらんぼう親方〕	1883頃	インク、紙	4.0×7.4/6.6×9.0	G
I-36	エンリコ・マッツァンティ	〔木の棒を家に持ち帰るジェッペット〕	1883頃	インク、紙	4.9×4.0/7.0×5.7	G
I-37	エンリコ・マッツァンティ	〔ピノッキオはジェッペットのかつらをかぶる〕	1883頃	インク、紙	5.5×6.0/8.7×7.5	G
I-38	エンリコ・マッツァンティ	〔憲兵はピノッキオの鼻をひつつかまえる〕	1883頃	インク、紙	5.9×7.6/7.0×8.9	G
I-39	エンリコ・マッツァンティ	〔ピノッキオはココロギに木づちを投げつける〕	1883頃	インク、紙	7.0×5.3/9.0×6.5	G

I-40	エンリコ・マッツァンティ	[ピノッキオは手おけいっぱいのおしっこをくらう]	1883頃	インク、紙	10.2×4.5/10.7×5.5	G
I-41	エンリコ・マッツァンティ	[新しい足をもったピノッキオはうれしくて踊る]	1883頃	インク、紙	5.9×4.7/8.0×6.2	G
I-42	エンリコ・マッツァンティ	[人形たちはピノッキオを兄弟とみとめる]	1883頃	インク、紙	5.6×7.2/8.0×7.8	G
I-43	エンリコ・マッツァンティ	[火喰い親方のもとへつれていかれるピノッキオ]	1883頃	インク、紙	4.8×6.1/5.8×9.0	G
I-44	エンリコ・マッツァンティ	[人形たちはアルレッキーノが助かったことを祝う]	1883頃	インク、紙	6.6×7.0/7.7×8.9	G
I-45	エンリコ・マッツァンティ	[ネコは思慮深い白ツグミにとびかかり、一口でたいらげる]	1883頃	インク、紙	4.5×7.0/5.4×9.0	G
I-46	エンリコ・マッツァンティ	[人殺したちに追われたピノッキオは高い高い松の木によじのぼる]	1883頃	インク、紙	7.7×5.1/9.1×6.8	G
I-47	エンリコ・マッツァンティ	[薬を飲もうとしないピノッキオ]	1883頃	インク、紙	5.5×7.1/7.4×8.3	G
I-48	エンリコ・マッツァンティ	[うそは鼻を長くする]	1883頃	インク、紙	3.0×5.2/5.6×7.6	G

◆トリノのルーピあやつり人形劇団—ピノッキオ、ジェッペット爺さん、トルコ石のように青い髪の仙女

No.	作者	タイトル	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
I-49	—	ピノッキオ (『ピノッキオの冒険』のためのあやつり人形)	19世紀	木、布	h44.0×14.0×12.0	L.G
I-50	—	仙女 (『ピノッキオの冒険』のためのあやつり人形)	19世紀	木、布	h72.0×20.0×32.0	L.G
I-51	—	ジェッペット (『ピノッキオの冒険』のためのあやつり人形)	19世紀	木、布	h60.0×23.0×10.0	L.G
I-52	—	キツネ (『ピノッキオの冒険』のためのあやつり人形)	19世紀	木、布	h56.0×30.0×14.0	L.G
I-53	—	ネコ (『ピノッキオの冒険』のためのあやつり人形)	19世紀	木、布	h52.0×25.0×13.0	L.G
追加出品	—	鼻が動くピノッキオ (『ピノッキオの冒険』のためのあやつり人形)	19世紀	木、布	h44.0×18.0×14.0	L.G

■ II) カルロ・コッローディの時代のフィレンツェ絵画

No.	作者	タイトル	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
II-1	19世紀の無名の画家	哀れな物乞いの女	1840-45頃	油彩、カンヴァス	60.0×44.0	P
II-2	ガエターノ・キエリチ	母親の喜び	1866	油彩、カンヴァス	70.0×95.0	P
II-3	シルヴェストロ・レーガ	料理人	1872-73	油彩、板	26.0×16.0	個人 (フィレンツェ)
II-4	ビエトロ・サルティエリ	調理場のなか	1890頃	油彩、カンヴァス	41.0×49.0	P
II-5	ジュゼッペ・コスタンティーニ	村の学校	1886	油彩、板	35.0×50.0	K.K/Iに寄託
II-6	ルイージ・ペーキ	ひなびた家	1865頃	油彩、カンヴァス	27.0×37.0	P
II-7	ルッジェーロ・フォカルディ	ニココロ・トンマーゼオの彫像が置かれたセッティニャーノの広場	1885頃	油彩、カンヴァス	27.0×33.0	P
II-8	ルイージ・ジョーリ	森	1890-1900頃	油彩、カンヴァス	65.0×78.0	P
II-9	ルイージ・ジョーリ	仔ロバ	1885-90頃	油彩、板	33.0×18.0	P
II-10	フランチェスコ・ジョーリ	田園にて	1894頃	油彩、カルトン	46.0×34.0	P
II-11	エジスト・フェッローニ	羊飼いの少女	1872	油彩、カンヴァス	143.0×73.0	P
II-12	テレマコ・シニョリーニ	若い農婦	1872頃	油彩、カルトン	12.0×22.0	P
II-13	アルフォンソ・ホレンダー	強風 (ブッラスカ) (下図)	1890頃	油彩、カルトン	20.5×29.2	個人 (フィレンツェ)
II-14	ジョヴァンニ・ファットーリ	マレンマ地方での休息	1895頃	油彩、板	28.0×42.0	P
II-15	ジョヴァンニ・ファットーリ	雲が映える海辺	1885-89	油彩、板	19.3×33.2	P
II-16	ジョヴァンニ・ファットーリ	農民の家とひとりの農婦	1890-95	油彩、板	19.4×32.8	P
II-17	ジョヴァンニ・ファットーリ	海辺のひなびた家	1899頃	油彩、板	19.0×34.0	P
II-18	ジョヴァンニ・ファットーリ	田舎の道	1904	油彩、板	23.4×13.5	P
II-19	エウジェニオ・チェッコーニ	幻想的な風景	1903	油彩、カルトン	68.0×48.0	P
II-20	アルフォンソ・ホレンダー	屋上からみたフィレンツェ	1895-1900頃	油彩、テンペラ、カンヴァス	47.0×39.0	P
II-21	シルヴェストロ・レーガ	祖母の教え	1880-81	油彩、カンヴァス	116.0×90.0 P.F/バスキエーラ・デル・ガルダ市庁舎に寄託	P
II-22	エリア・ヴォルビ	おもちゃのならばショーウィンドー	1886	油彩、カンヴァス	102.5×64.5	C.B
II-23	アルトゥーロ・ファルディ	祖父の物語 (第一軍の生き残り)	1883頃	油彩、カンヴァス	68.0×57.0	P

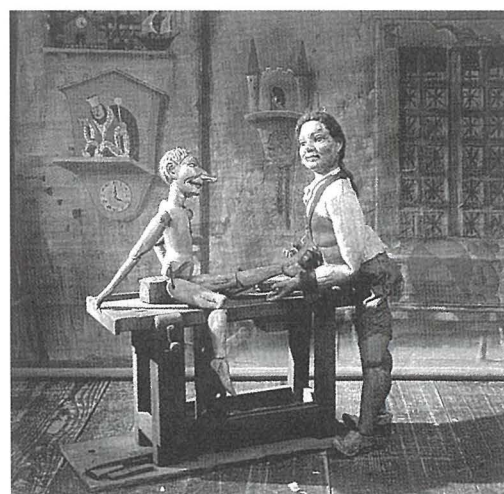
■ III) 20世紀のピノッキオ—あるあやつり人形の受容史

◆カルロ・キオストリによる挿絵版(1901)

No.	作者	タイトル	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
III-1	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (ペンボラ社刊/カルロ・キオストリ挿絵)	1901	冊子体	19.2×12.0×2.0	K.C
III-2	カルロ・キオストリ	[ジェッペットはピノッキオに服をつくる]	1901頃	インク、紙	18.7×13.3	G



マッツァンティによる挿絵
[ピノッキオは卵のなかにヒヨコを見つける]



あやつり人形・ピノッキオとジェッペット

Ⅲ-3	カルロ・キオストリ	〔ピノッキオは火喰い親方の鼻にキスをする〕	1901頃	テンペラ、インク、紙	22.0×14.2	G
Ⅲ-4	カルロ・キオストリ	〔青い髪をした仙女がピノッキオをベッドに寝かせる〕	1901頃	インク、紙	18.8×13.5	G
Ⅲ-5	カルロ・キオストリ	〔ピノッキオはおぼれかかった犬アリドーロを救う〕	1901頃	インク、紙	18.8×14.9	G
Ⅲ-6	カルロ・キオストリ	〔犬アリドーロは揚げ物にされるピノッキオを救う〕	1901頃	インク、紙	18.7×13.3	G
Ⅲ-7	カルロ・キオストリ	〔子ヤギがサメに追われるピノッキオに呼びかける〕	1901頃	インク、紙	18.8×15.5	G
Ⅲ-8	カルロ・キオストリ	〔ピノッキオはサメのおなかの中に入る〕	1901頃	インク、紙	18.7×13.3	G
Ⅲ-9	カルロ・キオストリ	〔ピノッキオはサメのおなかの中でジェベットを見つける〕	1901頃	インク、紙	18.8×13.4	G
Ⅲ-10	カルロ・キオストリ	〔ピノッキオとジェベットはサメの口から外に出る〕	1901頃	テンペラ、紙	22.5×14.2	G
Ⅲ-11	カルロ・キオストリ	〔ピノッキオはマグロの鼻にキスをする〕	1901頃	インク、紙	18.6×14.2	G
Ⅲ-12	カルロ・キオストリ	〔ピノッキオはロバっ子となったランプの芯を見つける〕	1901頃	インク、紙	18.7×13.4	G
Ⅲ-13	カルロ・キオストリ	〔子どもになったピノッキオは人形だった自分をみつめる〕	1901頃	インク、紙	18.8×13.4	G

◆アッティリオ・ムッシーノによる挿絵版(1911)

No.	作者	タイトル	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
Ⅲ-14	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (マルゾッコ社刊/アッティリオ・ムッシーノ挿絵)	1940/7版 (1911初版)	冊子体	30.0×20.2×3.8	I
Ⅲ-15	アッティリオ・ムッシーノ	〔さくらんぼう親方とジェベット〕	1910頃	鉛筆、テンペラ、インク、カルトン	28.8×24.8	G
Ⅲ-16	アッティリオ・ムッシーノ	〔憲兵に停められたピノッキオ〕	1910頃	鉛筆、テンペラ、インク、 カルトンに貼られた紙	34.9×57.2	G
Ⅲ-17	アッティリオ・ムッシーノ	〔火喰い親方とあやつり人形たち〕	1910頃	鉛筆、テンペラ、インク、カルトン	47.1×31.2	G
Ⅲ-18	アッティリオ・ムッシーノ	〔ピノッキオはネコとキツネと出会う〕	1910頃	鉛筆、テンペラ、インク、金紙	45.7×31.7	G
Ⅲ-19	アッティリオ・ムッシーノ	〔トルコ石のように青い髪をした美しい少女〕	1910頃	鉛筆、色鉛筆、テンペラ、金、 紙、インク、カルトンに貼られた紙	40.6×28.1	G
Ⅲ-20	アッティリオ・ムッシーノ	〔子ネズミたちが運ぶ車で仙女の家へと連れていかれる〕	1910頃	鉛筆、テンペラ、カルトン	49.5×32.3	G
Ⅲ-21	アッティリオ・ムッシーノ	〔ピノッキオの医者たち、カラス、フクロウ、しゃべるコオロギ〕	1910頃	鉛筆、テンペラ、インク、カルトン	24.3×31.7	G
Ⅲ-22	アッティリオ・ムッシーノ	〔ピノッキオはうそをつき罰として鼻がのびる〕	1910頃	鉛筆、テンペラ、インク、紙	45.1×32.2	G
Ⅲ-23	アッティリオ・ムッシーノ	〔キツキたちが鼻をついばみ鼻をふつうの大きさにもどす〕	1910頃	黒コンテ、テンペラ、カルトン	32.4×24.5	G
Ⅲ-24	アッティリオ・ムッシーノ	〔裁判官の前にいるピノッキオ〕	1910頃	鉛筆、テンペラ、インク、カルトン	47.1×32.9	G
Ⅲ-25	アッティリオ・ムッシーノ	〔ピノッキオはハトに空中を運ばれ海へ向かう〕	1910頃	鉛筆、テンペラ、紙	33.2×19.2	G
Ⅲ-26	アッティリオ・ムッシーノ	〔緑の漁師〕	1910頃	木炭、テンペラ、カルトン	61.0×36.6	G
Ⅲ-27	アッティリオ・ムッシーノ	〔ランプの芯〕	1910頃	黒鉛筆、色鉛筆、テンペラ、 インク、カルトン	40.4×18.3	G
Ⅲ-28	アッティリオ・ムッシーノ	〔おもちゃの国へ向かう馬車の一団〕	1910頃	鉛筆、テンペラ、インク、カルトン	47.5×35.0	G
Ⅲ-29	アッティリオ・ムッシーノ	〔最後にピノッキオはあやつり人形でなくなる〕	1910頃	黒鉛筆、青鉛筆、インク、 テンペラ、カルトン	49.9×39.3	G

◆20世紀に刊行されたさまざまなピノッキオの本

No.	作者	タイトル	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
Ⅲ-30	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (ベンボラ社刊/カルロ・キオストリ挿絵、ジーン (ルイージ・ビーニ) 表紙)	1903	冊子体	18.5×12.8×2.2	M
Ⅲ-31	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (ベンボラ社刊/カルロ・キオストリ挿絵、パオロ・ロレンツィーニの献辞入り)	1904	冊子体	18.5×12.0×2.5	I
Ⅲ-32	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (S.E.T.社刊/コッラード・サッリ挿絵、ジョーヴェ・トッピ表紙)	1923	冊子体	25.5×18.7×2.0	M
Ⅲ-33	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険』 (ベンボラ社刊/ビエロ・ベルナルディーニ挿絵)	1924	冊子体	23.3×19.1×0.3	M
Ⅲ-34	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (サラニ社刊/マリア・アウグスタ・カヴァリエーリ挿絵、ルイージ・カヴァリエーリ表紙)	1924	冊子体	18.5×12.0×1.8	K.C
Ⅲ-35	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (サラニ社刊/コッラード・サッリ挿絵、マリア・アウグスタ・カヴァリエーリ表紙)	1929	冊子体	19.0×12.8×1.1	M
Ⅲ-36	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (ベンボラ社刊/カルロ・キオストリ挿絵、アッティリオ・ムッシーノ表紙)	1931	冊子体	18.7×12.5×1.8	M
Ⅲ-37	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (ベンボラ社刊/ジョルジョ・マンニエーニとアッティリオ・ムッシーノ挿絵、マリオ・ボンベイ表紙)	1934	冊子体	23.2×17.3×2.5	M
Ⅲ-38	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (サラニ社刊/フィオレンツォ・ファオルツィ表紙)	1938	冊子体	18.5×12.5×1.5	M
Ⅲ-39	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (サラニ社刊/マリア・アウグスタ・カヴァリエーリ挿絵、ルイージ・カヴァリエーリ表紙)	1938	冊子体	19.0×12.9×1.7	K.C
Ⅲ-40	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (サラニ社刊/フィオレンツォ・ファオルツィ挿絵)	1940	冊子体	33.5×23.0×3.7	I
Ⅲ-41	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (マルゾッコ社刊/挿絵:ウォルト・ディズニーの映画から)	1941	冊子体	24.9×18.0×0.7	M
Ⅲ-42	カルロ・コッローディ	『ピノッキオ』 (S.A.C.S.E.社刊/ジョヴァンニ・マンカ挿絵)	1941	冊子体	24.0×17.2×1.2	K.C
Ⅲ-43	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (マルゾッコ社刊/ビエロ・ベルナルディーニ挿絵)	1942	冊子体	24.5×17.5×2.2	I
Ⅲ-44	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (S.E.I.社刊/ジョヴァンニ・バッティスタ・ガッリツィ挿絵)	1942	冊子体	28.8×22.0×2.8	K.C
Ⅲ-45	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険』 (ビエッティ社刊/アルベルト・ピアンキとロベルト・ズグリッリ挿絵)	1942	冊子体	24.6×18.0×1.8	K.C
Ⅲ-46	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (チェントロ・ディダッティコ(教育センター)刊/パドヴァの学校の生徒と先生たちの挿絵)	1942	冊子体	21.7×15.8×1.0	K.C
Ⅲ-47	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (マルゾッコ社刊/ウォルト・ディズニー挿絵)	1946	冊子体	24.5×17.5×0.7	I

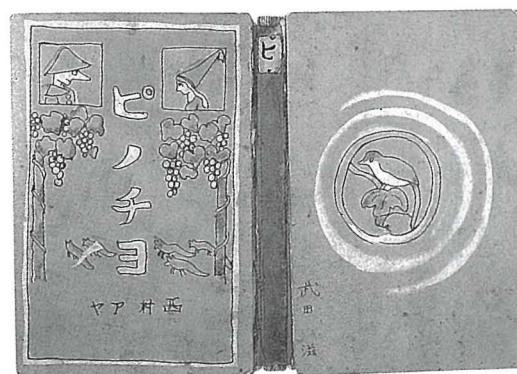
Ⅲ-48	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (ネルビーニ社刊/ジョヴェ・トッピとアウレリオ・コスタンツォ挿絵、アウレリオ・ガッレッピーニ表紙)	1947	冊子体	24.5×17.5×1.1	I
Ⅲ-49	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (サラニ社刊/カルロ・ヴィトリ・ルッソ表紙)	1948	冊子体	19.0×12.7×1.2	M
Ⅲ-50	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (フランチェスキーニ社刊/ジョルジョ・ミケッティ挿絵・表紙)	1949	冊子体	20.5×15.7×2.2	M
Ⅲ-51	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険』 (ヴァレッキ社刊/レオナルド・マッティオーリ挿絵)	1955	冊子体	16.4×10.7×1.6	M
Ⅲ-52	カルロ・コッローディ 原作	ラテン語訳『ピノッキオ』 (ル・モニエ社刊/U.E.パオリ翻訳・翻案/ビエロ・ベルナルディーニ挿絵)	1962	冊子体	21.5×15.8×1.0	M
Ⅲ-53	カルロ・コッローディ	『ピノッキオ』ヌオーヴィ・エクウィリブリ版 (スタンパ・アルテルナテヴァ社刊(初版:スパダ社)/(ベニート・フランコ)ジャコヴィッティ挿絵) (1977初版)	2001	冊子体	29.3×23.2×2.8	M
Ⅲ-54	カルロ・コッローディ	『ピノッキオ』 (ジュンティ・マルゾッコ社刊/アッティリオ・カッシネッリ挿絵)	1981	冊子体	35.0×26.2×2.7	M
Ⅲ-55	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険』 (国立カルロ・コッローディ財団刊/シグフリード・バルトリニ挿絵)	1983	冊子体	34.6×24.8×4.2	個人(フィンラント)
Ⅲ-56	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険(あるあやつり人形の物語)』 (ポンテ・アッレ・グラツィエ社刊/ヴィニチオ・ベルティ素描・場面構成)	1992	冊子体	33.3×27.7×2.0	M
Ⅲ-57	カルロ・コッローディ	『ピノッキオの冒険 あるあやつり人形の物語』 (ジュンティ社刊/フティクウア(ジョッコンド・ファッジョーニ)挿絵)	2000	冊子体	24.7×17.5×2.5	M

◆日本におけるピノッキオの初期受容(1920-1925)

No.	作者	タイトル	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
Ⅲ-58	カルロ・コッローディ 原作	『ピノッキオ あるあやつり人形の冒険』 (ジン・アンド・カンパニー(アメリカ)発行/ウォルター・S.クランプ翻訳/セーラ・E.H.ロックウッド校訂/チャウズ・コーブランド挿絵)	(1904初版)	冊子体	17.4×11.6×1.7	個人(東京)
Ⅲ-59	—	佐藤春夫旧蔵『ピノッキオ あるあやつり人形の冒険』部分	(1904初版)	冊子体(部分)	16.9×10.5	B
Ⅲ-60	—	『赤い鳥』第四巻第三号 (赤い鳥社発行/清水良雄挿絵)	1920	冊子体	21.8×15.0×0.5	個人(東京)
Ⅲ-61	—	『女性改造』第二巻第五号 (改造社発行/チャールズ・コーブランド挿絵(転載))	1923	冊子体	21.9×15.0×0.9	個人(東京)
Ⅲ-62	佐藤春夫	『ピノチオ』 (改造社刊/チャールズ・コーブランド挿絵(転載))	1925	冊子体	18.9×13.3×1.9	B
Ⅲ-63	佐藤春夫	佐藤春夫旧蔵『ピノチオ』校正本	(1925原本発行)	冊子体	18.5×13.3×1.9	B
Ⅲ-64	佐藤春夫	『ピノチオ』 (株式会社鎌倉文庫刊/初山滋装幀/チャールズ・コーブランド挿絵(転載))	1948	冊子体	18.7×13.0×2.1	個人(東京)
Ⅲ-65	西村アヤ	『ピノチヨ』初版 (佐藤佐次郎刊/キンノツノ社発売/西村アヤ本文・挿絵)	1920	冊子体	19.8×13.5×1.5	B
Ⅲ-66	西村アヤ	『ピノチヨ』五版 (鈴屋出版部刊/西村アヤ本文・挿絵(カバー絵をのぞく))	1920	冊子体	19.3×13.0×1.5	B
Ⅲ-67	西村アヤ	『ピノチヨ』六版 (文化生活研究会刊/西村アヤ本文・挿絵)	1924	冊子体	19.3×12.8×1.4	B
Ⅲ-68	西村アヤ	『ピノチヨ』のための挿絵原画より 表紙	1918-19頃	インク、鉛筆、紙	29.3×19.1	B
Ⅲ-69	西村アヤ	[ピノチヨを彫るゲペット]	1918-19頃	インク、鉛筆、紙	23.3×15.4	B
Ⅲ-70	西村アヤ	[垣を飛びこえるピノチヨ]	1918-19頃	インク、鉛筆、紙	14.4×9.9	B
Ⅲ-71	西村アヤ	[火にあたるピノチヨ]	1918-19頃	インク、鉛筆、紙	15.0×9.4	B
Ⅲ-72	西村アヤ	[かしの前に連れてこられたピノチヨ]	1918-19頃	インク、鉛筆、紙	14.8×19.1	B
Ⅲ-73	西村アヤ	[ごちそうを食べるピノチヨと狐と猫]	1918-19頃	鉛筆、紙	14.4×19.2	B
Ⅲ-74	西村アヤ	[黒い者においかけられるピノチヨ]	1918-19頃	インク、鉛筆、紙	9.8×14.7	B
Ⅲ-75	西村アヤ	[ぶどう畑でとらばさみに挟まれたピノチヨ]	1918-19頃	インク、鉛筆、紙	15.3×23.4	B
Ⅲ-76	西村アヤ	[番犬になったピノチヨ]	1918-19頃	インク、鉛筆、紙	14.7×19.1	B
Ⅲ-77	西村アヤ	[青い髪のお姫様のお墓にすがりつくピノチヨ]	1918-19頃	鉛筆、紙	19.1×14.8	B
Ⅲ-78	西村アヤ	[鳩にのって飛ぶピノチヨ]	1918-19頃	色鉛筆、鉛筆、紙	33.5×24.5	B



キオストリによる挿絵〔ピノッキオは火喰い親方の鼻にキスをする〕



西村アヤ『ピノチヨ』六版

Ⅲ-79	西村アヤ	〔浜でゲベットの消息を聞くピノチヨ〕	1918-19頃	色鉛筆、鉛筆、紙	30.4×24.2	B
Ⅲ-80	西村アヤ	〔ピノチヨとレンガを運ぶひと〕	1918-19頃	鉛筆、紙	7.4×9.5	B
Ⅲ-81	西村アヤ	〔牛乳を運ぼうとするピノチヨ〕	1918-19頃	色鉛筆、鉛筆、紙	24.4×16.7	B
Ⅲ-82	西村アヤ	〔青い髪のお姫様と再会したピノチヨ〕	1918-19頃	色鉛筆、鉛筆、紙	24.3×16.8	B
Ⅲ-83	西村アヤ	〔いたずらにひじでつつき返すピノチヨ〕	1918-19頃	鉛筆、紙	9.8×14.6	B
Ⅲ-84	西村アヤ	〔本を投げつけられるピノチヨ〕	1918-19頃	インク、鉛筆、紙	14.8×9.5	B
Ⅲ-85	西村アヤ	〔網にかかったピノチヨ〕	1918-19頃	色鉛筆、鉛筆、紙	24.4×16.7	B
Ⅲ-86	西村アヤ	〔百姓から袋をもらうピノチヨ〕	1918-19頃	インク、鉛筆、紙	19.2×14.7	B
Ⅲ-87	西村アヤ	〔かたつむりを待つピノチヨ〕	1918-19頃	インク、鉛筆、紙	14.8×9.6	B
Ⅲ-88	西村アヤ	〔子どもの国行きの馬車に乗ろうとするピノチヨ〕	1918-19頃	インク、紙	14.6×19.9	B
Ⅲ-89	西村アヤ	〔帽子をかぶって向き合うピノチヨとランプの芯〕	1918-19頃	水彩、インク、鉛筆、紙	14.8×19.2	B
Ⅲ-90	西村アヤ	〔魚の腹の中で再会したピノチヨとゲベット〕	1918-19頃	鉛筆、紙	7.8×9.6	B
Ⅲ-91	西村アヤ	〔ゲベットを乗せて泳ぐピノチヨ〕	1918-19頃	インク、鉛筆、紙	19.2×14.7	B
Ⅲ-92	西村アヤ	〔狐と猫に再会したピノチヨ〕	1918-19頃	鉛筆、紙	14.8×9.8	B
Ⅲ-93	西村アヤ	〔こおろぎと再会したピノチヨ〕	1918-19頃	鉛筆、紙	15.1×19.1	B
Ⅲ-94	西村アヤ	〔窓から外を見るピノチヨ〕	1918-19頃	鉛筆、紙	14.8×19.6	B
Ⅲ-95	西村アヤ	〔本当の子どもになったピノチヨ〕	1918-19頃	インク、鉛筆、紙	14.9×21.9	B
特別出品	—	『婦人之友』26巻1号（婦人之友社刊）	1932	冊子体	22.1×14.8×1.4	個人（東京）
特別出品	—	『婦人之友』26巻2号（婦人之友社刊）	1932	冊子体	22.0×15.0×1.1	個人（東京）
特別出品	—	『婦人之友』26巻3号（婦人之友社刊）	1932	冊子体	22.1×15.0×1.2	個人（東京）
特別出品	—	『婦人之友』26巻4号（婦人之友社刊）	1932	冊子体	22.4×15.0×1.2	個人（東京）
特別出品	—	『婦人之友』26巻5号（婦人之友社刊）	1932	冊子体	21.8×14.8×1.4	個人（東京）
特別出品	—	『婦人之友』26巻7号（婦人之友社刊）	1932	冊子体	22.0×15.0×1.3	個人（東京）
特別出品	—	『婦人之友』26巻8号（婦人之友社刊）	1932	冊子体	22.0×14.7×1.2	個人（東京）
特別出品	—	『婦人之友』26巻11号（婦人之友社刊）	1932	冊子体	22.0×14.8×1.1	個人（東京）

■Ⅳ) 21世紀のピノッキオーミンモ・バラディーノによるピノッキオ(2003-2004)

No.	作者	タイトル	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
Ⅳ-1	ミンモ・バラディーノ	ピノッキオの誕生	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-2	ミンモ・バラディーノ	ジェッベット	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-3	ミンモ・バラディーノ	木のあやつり人形	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-4	ミンモ・バラディーノ	黒い色の物を言うコオロギ	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-5	ミンモ・バラディーノ	両足が燃える	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-6	ミンモ・バラディーノ	A B Cの練習帳	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-7	ミンモ・バラディーノ	劇場	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-8	ミンモ・バラディーノ	火喰い親方	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-9	ミンモ・バラディーノ	赤エビ亭	2004	ミクストメディア	41.0×31.0	作家
Ⅳ-10	ミンモ・バラディーノ	コオロギ	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-11	ミンモ・バラディーノ	金貨	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-12	ミンモ・バラディーノ	大きなカシの木	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-13	ミンモ・バラディーノ	病気のピノッキオ	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-14	ミンモ・バラディーノ	トルコ石のように青い仙女	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-15	ミンモ・バラディーノ	ネコとキツネ	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-16	ミンモ・バラディーノ	ピノッキオ	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-17	ミンモ・バラディーノ	泳ぐピノッキオ	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-18	ミンモ・バラディーノ	トルコ石のように青い仙女とピノッキオ	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-19	ミンモ・バラディーノ	憲兵たち	2004	ミクストメディア	41.0×31.0	作家
Ⅳ-20	ミンモ・バラディーノ	ピノッキオと犬	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-21	ミンモ・バラディーノ	仙女の家	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-22	ミンモ・バラディーノ	ピノッキオとランプの芯	2003	ミクストメディア	53.0×76.0	作家
Ⅳ-23	ミンモ・バラディーノ	馬車	2004	ミクストメディア	41.0×31.0	作家
Ⅳ-24	ミンモ・バラディーノ	ロバの耳	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-25	ミンモ・バラディーノ	ロバになったピノッキオ	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-26	ミンモ・バラディーノ	サーカス	2004	ミクストメディア	41.0×31.0	作家
Ⅳ-27	ミンモ・バラディーノ	ピノッキオをのみこむサメ	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-28	ミンモ・バラディーノ	サメのおなかのなか	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-29	ミンモ・バラディーノ	マグロ	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-30	ミンモ・バラディーノ	賢いコオロギ	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-31	ミンモ・バラディーノ	糸あやつり人形ピノッキオ	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-32	ミンモ・バラディーノ	少年ピノッキオ	2003	ミクストメディア	49.0×38.0	作家
Ⅳ-33	ミンモ・バラディーノ	ピノッキオ	2004	ブロンズ	h:55.0×40.0×36.0	作家
追加出品	ミンモ・バラディーノ	ピノッキオ	2004	ブロンズ	h:176.0×186.0×60.0	作家

* 寸法は、注記以外は縦×横(×厚み)。

* I 章の挿絵原画の寸法はイメージサイズ/シートサイズ、Ⅲ章の挿絵原画の寸法はシートサイズを示す。

* 所蔵先のうち、アルファベット記号は次のとおり。

I : I.N.D.I.R.E研究所 / K.C : 国立中央図書館 (フィレンツェ) / G : ジュンティ出版歴史資料室 (フィレンツェ) / L.G : ルービあやつり人形劇団, ジャン
ドゥア劇場 (トリノ) / P : パラッツォ・ピッティ内近代美術館 (フィレンツェ) / K.K : 国立近代美術館 (ローマ) / P.F : パラッツォ・フォルティ
近現代美術館 / C.B : カンディーダ・ブルスキ・コレクション, グラッシーナ (フィレンツェ) / M : マルチェッリアーナ図書館 (フィレンツェ) / B :
文化学院 (東京)

森の薫り、そして巴^{パリ}里の風 フランスーパリーバルビゾン

会期＝平成17年1月29日(土)ー3月13日(日) 38日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般450(350)円、高大生250(200)円

中学生以下・65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

土曜映写室

「世界・美の旅 ミレー～種まく人は今～」 「名画の秘密シリーズ パリの夜と夢」

日時＝1月29日(土) 午後2時～3時

「美の殿堂・オルセー美術館 都市の自画像～ドガ、ロートレック」 「世界・美の旅 ユトリロ～悲しみの白～」

日時＝3月5日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

ミュージアム・ミステリー2005ウィンター

「それゆけ！風景レンジャー 思い出たんけん・空想さんぽ」

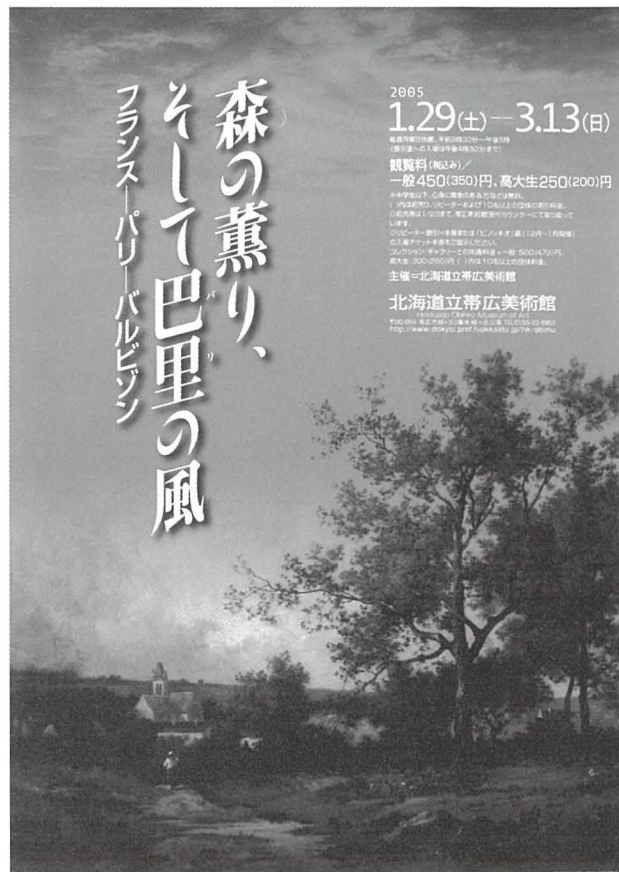
日時＝2月5日(土)、2月12日(土) 午前10時～12時30分、午後2時～4時30分

会場＝当館講堂、主展示室ほか

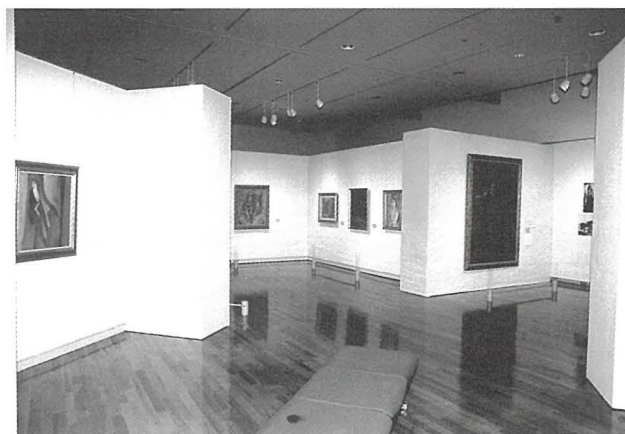
19世紀中頃パリの東南、フォンテーヌブローの森のはずれにあるバルビゾン村で制作した一群の画家たちは、バルビゾン派と呼ばれた。彼らは、変化に富む森林や沼地、農村風俗や動物たちの様子などを実際の観察に基づきありのままに描いた。それは、それまでの風景画とは大きく異なり、理想化され、作り出された自然を描くのではなく、目に映るまを描き出そうとした近代絵画の先駆となるような制作態度だった。

バルビゾン派の画家たちを戸外写生へと向かわせた背景には、携帯可能なチューブ入り絵の具の発明とともに、産業革命がもたらした市民生活の激変やその反動として生まれてきた自然回帰志向があげられるが、引き続き19世紀後半、近代都市への歩みを本格化させていたパリの街では、資本主義経済の発展と市民を主役とする大衆文化が花開き、印象派をはじめとする美術家たちが都市の風景や風俗といった、それまでには見られなかった景観を発見することになった。商品や興行、観光など、都市社会の繁栄や時代の嗜好を色濃く映し出したポスターが街頭を華やかに飾ったのもこの時代だった。さらに、20世紀初頭には世界中から芸術家が集まり、エコール・ド・パリ（パリ派）と呼ばれる作家たちが自由かつ享楽に満ちた雰囲気の中で、哀愁と叙情が漂うこの街や風俗、そこに生きる人びとの姿を描き出し、芸術の都パリはひとときわ光彩を放つこととなった。

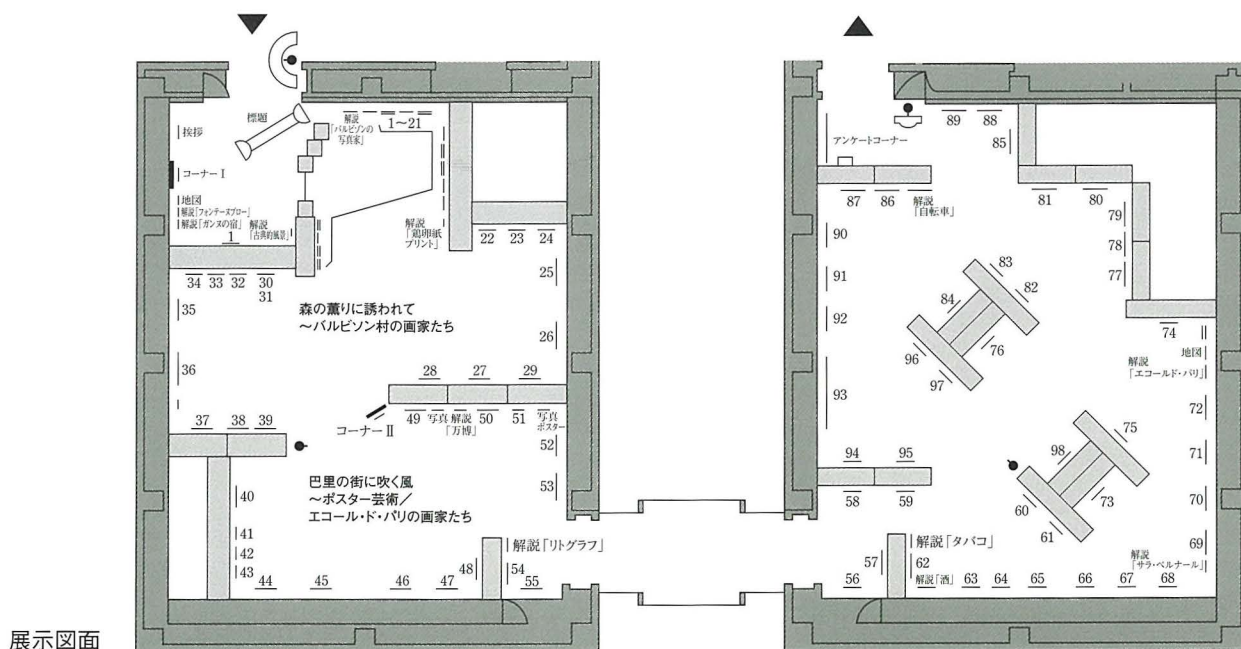
本展では、帯広美術館の所蔵作品を中心に、豊かな自然に恵まれた田園の村バルビゾンと、近代都市文化の扉をいち早く開いたパリという、ふたつの対照的な土地をめぐって培われた美術の風土を探った。



ポスター



会場風景



展示図面

出品目録

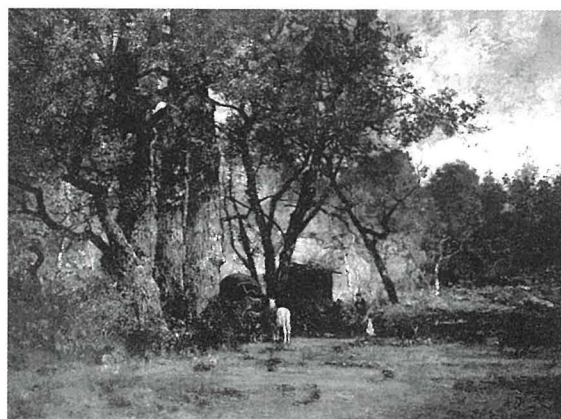
I 森の薫りに誘われて〜バルビゾン村の画家たち〜

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
1	水飲み場	ジュール・デュブレ	19世紀後半	パステル、紙	80.0×98.8	北海道立帯広美術館
2	〈樹木〉	シャルル・ファマン	1874頃	鶏卵紙プリント	25.9×19.5	北海道立帯広美術館
3	ダニョーの沼	シャルル・ファマン	1874	鶏卵紙プリント	19.3×25.0	北海道立帯広美術館
4	〈沼地〉	シャルル・ファマン	1874頃	鶏卵紙プリント	20.3×25.9	北海道立帯広美術館
5	狼溪谷 フォンテーヌブローの森	アルフレッド・ブリッケ	1863〜65	鶏卵紙プリント	17.7×24.0	北海道立帯広美術館
6	〈自然の習作〉	A. トーバンA.	19世紀後半	鶏卵紙プリント	11.8×16.8	北海道立帯広美術館
7	〈自然の習作〉	A. トーバン	19世紀後半	鶏卵紙プリント	18.2×25.1	北海道立帯広美術館
8	〈自然の習作〉	ジエグレール	1870年代	鶏卵紙プリント	25.7×21.0	北海道立帯広美術館
9	自然の習作	アシーユ・キネ	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5×23.5	北海道立帯広美術館
10	自然の習作	アシーユ・キネ ^{II}	1868頃	鶏卵紙プリント	19.3×24.7	北海道立帯広美術館
11	フォンテーヌブローの森	アシーユ・キネ	1868頃	鶏卵紙プリント	24.9×19.3	北海道立帯広美術館
12	自然の習作	アシーユ・キネ	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5×25.0	北海道立帯広美術館
13	フォンテーヌブローの森	ウィリアム＝H.ハリソン/メyson・ツィーム	1870頃	鶏卵紙プリント	17.4×19.5	北海道立帯広美術館
14	〈牛〉	シャルル・ファマン	1874頃	鶏卵紙プリント	11.7×16.7	北海道立帯広美術館
15	〈羊の群れ〉	シャルル・ファマン	1874頃	鶏卵紙プリント	11.4×16.4	北海道立帯広美術館
16	自然の習作	アシーユ・キネ	1868頃	鶏卵紙プリント	19.0×24.8	北海道立帯広美術館
17	〈雌牛〉	シャルル・ファマン	1874頃	鶏卵紙プリント	10.4×17.2	北海道立帯広美術館
18	〈自然の習作〉	A. トーバンA.	19世紀後半	鶏卵紙プリント	18.0×23.9	北海道立帯広美術館
19	〈自然の習作〉	ジエグレール	1870年代	鶏卵紙プリント	21.3×26.7	北海道立帯広美術館
20	自然の習作	アシーユ・キネ	1868頃	鶏卵紙プリント	19.2×24.3	北海道立帯広美術館
21	〈荷馬車〉	シャルル・ファマン	1874頃	鶏卵紙プリント	12.0×17.4	北海道立帯広美術館
22	鹿	カール・ボドメール	19世紀後半	エッチング、手彩色、紙	8.7×13.5	北海道立帯広美術館
23	樫の木と岩	テオドル・ルソー	1861	エッチング、紙	12.7×17.2	北海道立帯広美術館
24	鳥の水場	カール・ボドメール	19世紀後半	リトグラフ、紙	48.8×34.4	北海道立帯広美術館
25	鹿の呼び声	カール・ボドメール	19世紀後半	油彩、キャンバス	101.0×81.0	北海道立帯広美術館
26	森の中での休息	アレクサンドル・ドゥフォー	1871	油彩、キャンバス	98.0×131.0	北海道立帯広美術館
27	森の中の羊飼いと羊の群れ	シャルル＝エミール・ジャック	1865〜70頃	油彩、キャンバス	81.2×65.0	北海道立帯広美術館
28	農婦のいる風景	レオン・リッシェ	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7	北海道立帯広美術館
29	村の眺め	ウジェーヌ＝アントワヌ・ラヴィエイユ	19世紀後半	油彩、板	32.8×56.0	北海道立帯広美術館
30	水飲み場	シャルル＝エミール・ジャック	19世紀後半	エッチング、紙	14.5×21.0	北海道立帯広美術館
31	豚飼いの少年	シャルル＝エミール・ジャック	19世紀後半	エッチング、紙	11.5×17.7	北海道立帯広美術館
32	夏	シャルル＝エミール・ジャック	19世紀後半	エッチング、紙	12.8×9.7	北海道立帯広美術館
33	雄鶏と雌鶏	シャルル＝エミール・ジャック	19世紀後半	エッチング、紙	12.1×17.0	北海道立帯広美術館

34	オランダ牛	シャルル＝エミール・ジャック	19世紀後半	エッチング、紙	11.0×17.9	北海道立帯広美術館
35	農家の中庭	アレクサンドル・ドゥフォー	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0×68.0	北海道立帯広美術館
36	羊の群れを連れ帰る羊飼いの	レオンス・シャブリ	1872	油彩、キャンバス	69.1×99.8	北海道立帯広美術館
37	牧場と木々	レオンス・シャブリ	1873	油彩、キャンバス	32.0×47.5	北海道立帯広美術館
38	落穂ひろい	ジャン＝フランソワ・ミレー	1855～56	エッチング、紙	19.2×25.0	北海道立帯広美術館
39	裁縫する女	ジャン＝フランソワ・ミレー	1855～56	エッチング、紙	10.5×7.4	北海道立帯広美術館
40	釣り人のいる風景	ギュスターヴ・クールベ	1870	油彩、キャンバス	60.0×73.0	北海道立帯広美術館
41	ビオーの平原	テオドール・ルソー	1848頃	クリシェ＝ヴェール、紙	21.8×27.7	北海道立帯広美術館
42	植林された平野	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	1866	エッチング、紙	10.0×13.0	北海道立帯広美術館
43	羊の柵囲い	シャルル＝フランソワ・ドービニー	1860	エッチング、紙	18.4×34.3	北海道立帯広美術館
44	風景―丘陵の牛	フランソワ＝ルイ・フランセ	1859	パステル、紙	54.7×82.6	北海道立帯広美術館
45	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	1863	油彩、キャンバス	65.4×100.4	北海道立帯広美術館
46	春の水辺	アルフレッド・ド・クニフ	1875頃	油彩、キャンバス	75.0×150.4	北海道立帯広美術館
47	森の中	オーギュスト・アロンジェ	19世紀後半	水彩、紙	53.5×75.7	北海道立帯広美術館
48	池の水門	オーギュスト・アロンジェ	1879	リトグラフ、木炭、紙	55.7×41.6	北海道立帯広美術館

II 巴里の街に吹く風～ポスター芸術／エコール・ド・パリの画家たち～

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
49	万国博覧会「光学館」―1900年の大望遠鏡	ジョルジュ・ルルー	1900	リトグラフ、紙	78.5×60.0	北海道立帯広美術館
50	パロン・シネオラマ	ルイ・ガリス	1900	リトグラフ、紙	143.5×99.0	北海道立帯広美術館
51	タバコ巻紙「ジョブ」	アルフォンス・マリア・ミュシャ	1896	リトグラフ、紙	51.5×39.4	北海道立帯広美術館
52	自転車「メトロポール」	シャルル・ティション	1890頃	リトグラフ、紙	139.0×99.0	北海道立帯広美術館
53	真の円形シャワー	フィリップ・シャブリエ	1890頃	リトグラフ、紙	119.0×79.5	北海道立帯広美術館
54	理想の浴室	レイモン・トゥルノン	1895頃	リトグラフ、紙	121.0×80.5	北海道立帯広美術館
55	白熱灯「エレクトリシーヌ」―赤と白	リュシアン・ルフェーヴル	1894	リトグラフ、紙	245.0×86.0	北海道立帯広美術館
56	ペリエのりんご酒	ラコット	1900頃	リトグラフ、紙	119.5×79.5	北海道立帯広美術館
57	安全灯油「サクソレーヌ」	ジュール・シェレ	1896	リトグラフ、紙	243.5×85.0	北海道立帯広美術館
58	最高級浄水器	G.ベルニ	1893	リトグラフ、紙	128.5×99.0	北海道立帯広美術館
59	自動印刷機「シクロスティル」	ウジェーヌ・オジェ	1900頃	リトグラフ、紙	139.0×100.0	北海道立帯広美術館
60	エグランティエヌ嬢一座	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	1896	リトグラフ、紙	59.0×79.0	北海道立帯広美術館
61	高名な「黒猫」一座近日来演	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1	北海道立帯広美術館
62	タバコ巻紙「ジョブ」	アルフォンス・マリア・ミュシャ	1898	リトグラフ、紙	141.5×94.0	北海道立帯広美術館
63	キナ入りワイン「スマルト」を一杯どうぞ	不詳	1885頃	リトグラフ、紙	129.5×94.0	北海道立帯広美術館
64	「プーラン・チョコレート」	フィルマン・ブイセ	1898	リトグラフ、紙	180.0×115.5	北海道立帯広美術館
65	「ムニエ・チョコレート」	不詳	1929	リトグラフ、紙	112.4×72.5	北海道立帯広美術館
66	甘草入りドロップ「カシュ・ラジョーニー」	レオネット・カピエッロ	1920	リトグラフ、紙	144.0×92.0	北海道立帯広美術館
67	ギョーム人形劇場―1900年パリ万国博覧会	V.ギイエ	1900	リトグラフ、紙	103.0×148.0	北海道立帯広美術館
68	「ロレンザッチオ」ルネサンス座	アルフォンス・マリア・ミュシャ	1897	リトグラフ、紙	97.5×35.9	北海道立帯広美術館
69	「メディア」ルネサンス座	アルフォンス・マリア・ミュシャ	1898	リトグラフ、紙	201.5×68.7	北海道立帯広美術館
70	アンバサドゥール劇場のモンテュス	ルイ・ガリス	1900頃	リトグラフ、紙	124.0×89.0	北海道立帯広美術館
71	グレヴァン博物館―ジブシー楽士のコンサート	ジュール・シェレ	1885	リトグラフ、紙	120.0×81.1	北海道立帯広美術館
72	アルハンブラヌイイの祭	ルイ・ガリス	1905頃	リトグラフ、紙	158.5×119.0	北海道立帯広美術館
73	ディヴァン・ジャボネ	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0	北海道立帯広美術館
74	アンドレ・サルモンとモンマルトル	ジュール・パスキン	1921	油彩、紙	195.0×129.8	北海道立近代美術館
75	モンルージュの通り（セーヌ）	モーリス・ユトリロ	1910頃	油彩、キャンバス	57.5×79.3	北海道立近代美術館



ドゥフォー「森の中での休息」



クールベ「釣り人のいる風景」

76	婦人像	マリー・ローランサン	1920	油彩、キャンバス	73.5×61.0	北海道立近代美術館
77	自画像—17歳	エルミース・ダヴィッド	1904	水彩、紙	71.5×52.5	北海道立近代美術館
78	パリ郊外の干し草積み	エルミース・ダヴィッド	1922	油彩、紙	87.0×69.4	北海道立近代美術館
79	パリ郊外—二匹の白い犬	エルミース・ダヴィッド	1921	油彩、紙、ボード	54.5×65.0	北海道立近代美術館
80	白いリボンの少女	ジュル・パスキン	1928	油彩、キャンバス	92.0×73.0	北海道立近代美術館
81	腰かける女	ジュル・パスキン	1928	油彩、キャンバス	76.0×63.0	北海道立近代美術館
82	マルヌ河岸	エルミース・ダヴィッド	1922	油彩、キャンバス	76.3×88.2	北海道立近代美術館
83	寝具店	エルミース・ダヴィッド	1922	油彩、紙、キャンバス	81.0×65.5	北海道立近代美術館
84	晴着の婦人	モイズ・キスリング	1925	油彩、キャンバス	73.0×60.0	北海道立近代美術館
85	ザンドウ筋肉増強器	ルイ・リュシアン・フォール	1899	リトグラフ、紙	139.5×99.5	北海道立帯広美術館
86	自動車「モトブロック」	ルネ・ヴァンサン（ルネ・マエル）	1927	リトグラフ、紙	154.3×113.2	北海道立帯広美術館
87	自動車「シトロエン」	ピエール・ルイス	1924	リトグラフ、紙	159.0×117.0	北海道立帯広美術館
88	帽子の館	ジュール・シエレ	1892	リトグラフ、紙	118.5×83.4	北海道立帯広美術館
89	プチ・サン＝トマーおもちゃ、本	ジュール・シエレ	1889	リトグラフ、紙	117.5×82.2	北海道立帯広美術館
90	体育教室	ラチャ	1885頃	リトグラフ、紙	123.5×90.5	北海道立帯広美術館
91	ギャルリー・ラファイエット百貨店—国債募集	ジャン＝ガブリエル・ドメルグ	1920	リトグラフ、紙	154.6×115.5	北海道立帯広美術館
92	ルーヴル百貨店—1897年新春大売出し	ジュール・シエレ	1896	リトグラフ、紙	119.5×82.0	北海道立帯広美術館
93	「住宅展示会」グラン・パレ	ジョルジュ・ボワスリエ	1900頃	リトグラフ、紙	158.0×310.0	北海道立帯広美術館
94	書籍「パリの暦」	ジョルジュ・ド・フル (ジョゼフ・ヴァン・スリュイテール)	1894	リトグラフ、紙	79.5×62.0	北海道立帯広美術館
95	ヴィクトル・ジョゼ著「ドイツのバビロン」	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	1894	リトグラフ、紙	122.0×86.7	北海道立帯広美術館
96	「創作版画家展」ヴォアラール画廊	ピエール・ボナール	1896	リトグラフ、紙	64.5×47.0	北海道立帯広美術館
97	美術雑誌「版画とポスター」	ピエール・ボナール	1897	リトグラフ、紙	83.0×61.0	北海道立帯広美術館
98	パリ	カッサンドル（アドルフ・ジャン・ムーロン）	1935	リトグラフ、紙	104.0×62.4	北海道立帯広美術館

*寸法は縦×横。



ダヴィッド「パリ郊外—2匹の白い犬」



パスキン「腰掛ける女」

美術講演会

各分野の専門家を招いてそれぞれの展覧会に関連した内容の講演会を開催した。

時間＝午後2時～4時

会場＝当館講堂(聴講無料)



「ヴェネツィア―水上の祝祭都市」陣内秀信氏

平成15年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講者数
5月31日(土)	ヴェネツィア―水上の祝祭都市	陣内秀信氏	法政大学工学部教授	ヴェネツィアの光と影	129人
6月15日(日)	ポップアートとアメリカ現代美術	アン・K・スウォーツ氏	米国・サバナ芸術デザイン大学教授	アメリカ現代美術展	66人
10月4日(土)	ジョン・エヴァレット・ミレイの<オフィーリア>とその背景	多田 稔氏	帯広大谷短期大学学長	帯広美術館コレクション選集	72人
2月7日(土)	神話となったアメリカ現代美術	中原佑介氏	美術評論家	アメリカ現代美術展	74人

平成16年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講者数
9月18日(土)	マティスの絵を見るということ	天野知香氏	お茶の水女子大学助教授	ピカソ、マティスと20世紀の画家たち	76人
11月3日(水/祝)	浮世絵に見る江戸の子どもたち	中城正堯氏	国際浮世絵学会会員	遊べや遊べ!子ども浮世絵展	30人

特別展セミナー

当館学芸員が展覧会に関連したテーマを設け、出品作品を取り上げながら展覧会の見どころを紹介した。

時間＝午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料)

平成15年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講者数
4月19日(土)、5月17日(土)	マン・レイの芸術―〈光の巨匠〉のポートレート	寺嶋弘道	当館学芸課長	マン・レイ写真展	56人
6月28日(土)、7月26日(土)	ヴェネツィア派の絵画―主題と表現	石尾乃里子	当館学芸員	ヴェネツィアの光と影	32人
11月29日(土)、12月27日(土)	樹と木の造形―その魅力	寺嶋弘道	当館学芸課長	木のワンダーランド	11人
12月20日(土)、1月24日(土)*	ベリー・ウッドなアート・クルーズ	石尾乃里子	当館学芸員	木のワンダーランド	74人

*12月20日(土)、1月24日(土)は子どもセミナーとして主展示室にて実施。

平成16年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講者数
6月12日(土)、7月3日(土)	安野光雅の絵本ワールド	平 利弘	当館主任学芸員	安野光雅・絵本の世界展	39人
9月11日(土)、9月25日(土)	20世紀美術の革新:フォーヴィスムとキュビスムの画家たち	平 利弘	当館主任学芸員	ピカソ、マティスと20世紀の画家たち	59人
10月30日(土)、11月27日(土)	江戸ヘタタイムスリップ!子ども浮世絵の魅力	苦名 真	当館学芸課長	遊べや遊べ!子ども浮世絵展	30人
12月11日(土)、1月8日(土)	ファンタジーの絵世界―ピノッキオをめぐる	石尾乃里子	当館学芸員	ピノッキオ★その誕生から現代まで	28人

ギャラリー・ツアー

当館学芸員が展示室をめぐりながら出品作品を解説し、展覧会の見どころを案内した。

時間＝午後2時～
会場＝当館主展示室

平成15年度

開催期日	講師	講師所属(職業等)	関連展覧会	聴講者数
2月14日(土)、3月13日(土)	平 利弘	当館主任学芸員	アメリカ現代美術展	65人

アート・ダイアローグ

多角的な視点により、映像上映などの手法をまじえた内容で、当館学芸員が展覧会に関連するトークを行なった。

時間＝午後2時～
会場＝当館講堂、または主展示室

平成15年度

開催期日	演題	会場	講師	講師所属(職業等)	関連展覧会	聴講者数
2月28日(土)	アメリカ現代美術／映像ドキュメントとの対話	当館講堂	浅川 泰	当館副館長	アメリカ現代美術展	22人

平成16年度

開催期日	演題	会場	講師	講師所属(職業等)	関連展覧会	聴講者数
5月1日(土)、5月15日(土)	巨大壁画的版画術―〈水の惑星〉との対話	当館主展示室	石尾乃里子	当館学芸員	ローゼンクイスト：〈水の惑星にようこそ〉	17人

ミュージアム・カレッジ

一般来館者を対象に開催した連続制の美術講座。外来講師や当館学芸員による講演会・講座のほか、作品鑑賞やワークショップを盛り込み多角的な内容で実施。美術についての基礎的・専門的知識を学ぶこと、また、新たな視点から作品の鑑賞をすることをつうじて、地域住民の美術に対する興味・関心を高めることを目的に開催した。各講座の終了後にはコーヒータ임을設け、参加者同士の交流や美術館職員との意見交換の場とした。なお本事業は北海道教育委員会、北海道立生涯学習推進センターが主催する道民カレッジの連携講座としても実施した。

平成15年度 美術史の事件簿—名画誕生物語

時間＝午後2時～4時

会場＝当館講堂、主展示室（応募制）

参加者が自分にとって世界観を広げることにつながった作品、深く心に刻まれた作品を発見することを目的として開催。4回目までの講座・講演会では、美術史上議論を呼び、今日まで名作として語り継がれる作品を取り上げた。美術講演会として開催した2回めをのぞく回は参加型の形式を講座の一部に取り入れ、参加者の主体的な鑑賞姿勢を導出せるよう取り組んだ。

最終回では、開催中の展覧会「帯広美術館コレクション選集」の会場内において、2人1組で指定された非難派と擁護派の立場と



ワークショップ／私だけの名画事件簿

なり、現代版画の分野の作品の前でそれぞれの考えを述べ合うワークショップを実施し、作品に対するさまざまな見方を共有した。美術作品の鑑賞を深めることにおいてディベート形式の手法がもっとも適当であったかどうかについては課題が残ったが、名作が生みだされてきた美術史の背景の一端には、作品にまつわる議論が積み重ねられてきたことがあったということを学ぶきっかけとはなった。

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	聴講者数
9月27日(土)	美術史とヌード—エドゥアール・マネの〈草上の昼餐〉をめぐる	平 利弘	当館主任学芸員	34人
10月4日(土)*	ジョン・エヴァレット・ミレイの〈オフィーリア〉とその背景	多田 稔氏	帯広大谷短期大学学長	72人
10月11日(土)	パブロ・ピカソ・20世紀の眼—〈アヴィニヨンの娘たち〉はどこから来たのか	浅川 泰	当館副館長	30人
10月18日(土)	アートになった便器—マルセル・デュシャンの〈泉〉	寺嶋弘道	当館学芸課長	28人
10月25日(土)	ワークショップ／私だけの名画事件簿	石尾乃里子	当館学芸員	25人

*10月4日(土)は美術講演会に参加。

土曜映写室／映写室スペシャル

展覧会に関連したプログラムを中心に映画、ビデオ、LDの上映を行なった。

時間＝午後2時～

会場＝当館講堂(入場無料)

平成15年度

開催期日	上映作品	関連展覧会	入場者数
6月7日(土)	「く美の美」ヴェネツィアの曙と黄昏	ヴェネツィアの光と影	28人
6月21日(土)	「く名画の秘密」ヴィーナスの舞い降りた街」「く世界・美の旅」ティツィアーノ：ヴェネツィアの巨匠	ヴェネツィアの光と影	15人
11月4日(火)	映写室スペシャル「く世界・美の旅」マネ／モネ	帯広美術館コレクション選集	20人
11月5日(水)	映写室スペシャル「く世界・美の旅」ルノワール／セザンヌ	帯広美術館コレクション選集	21人
11月6日(木)	映写室スペシャル「く世界・美の旅」ゴッホ／ゴーギャン	帯広美術館コレクション選集	11人
11月7日(金)	映写室スペシャル「く世界・美の旅」ミレー／スーラ	帯広美術館コレクション選集	14人

平成16年度

開催期日	上映作品	関連展覧会	入場者数
9月4日(土)	「く美術のみかた」視覚の変貌」「マチスと表現の問題」	ピカソ、マティスと20世紀の画家たち	27人
11月1日(月)	映写室スペシャル「く極める・匠の世界」 「よみがえる江戸の色：浮世絵木版彫摺」「鉄と炎に生きる：茶の湯釜」「平安の美を追いもとめて：截金」	遊べや遊べ!子ども浮世絵展	4人
11月2日(火)	映写室スペシャル「く極める・匠の世界」 「よみがえる江戸の色：浮世絵木版彫摺」「充実の無を追う：江戸小紋」「いま浮世絵にあるごとく：有松鳴海紋」	遊べや遊べ!子ども浮世絵展	13人
11月4日(木)	映写室スペシャル「く極める・匠の世界」 「よみがえる江戸の色：浮世絵木版彫摺」「華を蒔く：蒔絵」「漆箱の宇宙：蒔絵」	遊べや遊べ!子ども浮世絵展	7人
11月5日(金)	映写室スペシャル「く極める・匠の世界」 「よみがえる江戸の色：浮世絵木版彫摺」「一枚を念ずるがごとく：和紙」「悠久の意匠を描く：紋章上絵」	遊べや遊べ!子ども浮世絵展	5人
1月29日(土)	「く世界・美の旅」ミレー：種まく人は今」「く名画の秘密」パリの夜と夢	森の薫り、そして巴里の風	1人
3月5日(土)	「く美の殿堂」オルセー美術館「都市の自画像：ドガ、ロートレック」「く世界・美の旅」ユトリロ：悲しみの白	森の薫り、そして巴里の風	96人

トークショー

十勝ゆかりの美術家を個展形式で紹介するシリーズ展「十勝の新時代」の開催にあわせ、展覧会出品作家を迎えてのトークショーを開催した。

時間＝午後2時～4時
会場＝当館講堂(聴講無料)



「出会いと再生の物語」^{リサイクル}半谷 学 氏

平成16年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講者数
10月23日(土)	^{リサイクル} 出会いと再生の物語—半谷学の紙造形 ^{ファミリーワーク}	半谷学氏	造形作家	半谷学展	50人

ワークショップ

開催中の展覧会に関連し、展覧会出品作家を迎えての造形ワークショップを行なった。

時間＝午前10時～午後4時
会場＝当館講堂、外周、主展示室(応募制)



「想いの種をつくる」小林重予氏

平成15年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	参加者数
11月22日(土)～23日(日/祝)	想いの種をつくる：森との対話編	小林重予氏 伊藤育子氏	造形作家 自然観察指導員	木のワンダーランド	10人*

*ほかボランティアスタッフ1人。

ジュニア・アートウォッチング

年若い市民からの参加を中心に、「十勝の新時代」に向けてのイベントとして実施。作家からの制作手法指導、交流をつうじ、現代美術に対する理解を深めることをねらいとした。参加者の手がけた作品は、作家の造形意図によって一つの新たな作品として完成され、展覧会に出品された。

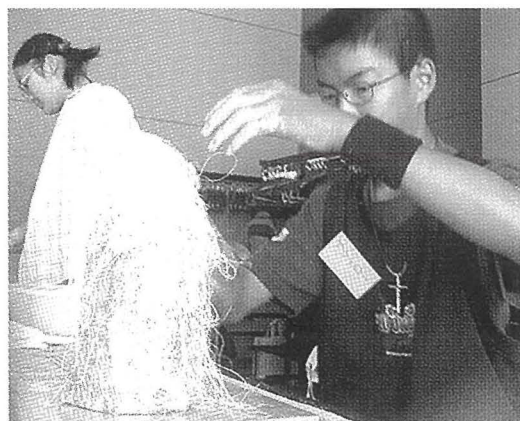


制作風景

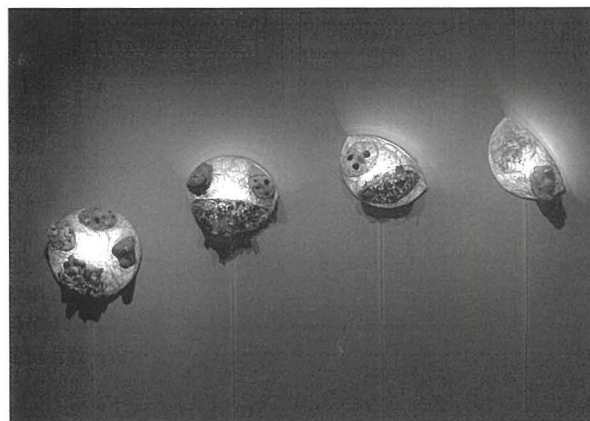
平成16年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	会場	関連展覧会	参加者数
8月7日(土)～8日(日)	美の現場＝半谷学 すくいとられる精霊 ^{かたち}	半谷学氏	造形作家	当館講堂ほか	半谷学展	11人*

*ほかボランティアスタッフ1人。



制作風景



参加者との共同制作作品
「つながった思いが月に乗るー8月のワークショップ」

キッズ・ミュージアム

親子・家族連れの来館者を対象とした事業。各展覧会の会期中に1～2回託児の日を設け、日常ゆっくりと展覧会を鑑賞する機会の少ない幼児を連れた保護者に鑑賞の機会を提供した。託児の間、子どもたちには工作遊びを楽しんでもらった。本事業の実施にあたっては当館ボランティアしらかばの会との協同により、工作遊びの内容検討から準備作業、当日の受付業務、託児、工作補助まで、ボランティアスタッフが中心となって運営された。

時間＝午後2時～4時(受付は午後3時30分まで)
会場＝当館講堂(託児無料)



受付風景

平成15年度

開催期日	工作内容	関連展覧会	利用者数(内・子どもの数)
4月26日(土)	みんなで作ろう!こいのぼり	マン・レイ写真展	23人(14人)
6月14日(土)	キミだけの時計を作ろう	ヴェネツィアの光と影	25人(14人)
7月5日(土)	アートの飾ろう!七夕まつり	ヴェネツィアの光と影	21人(13人)
9月13日(土)	わくわく・びっくり 紙染めあそび	帯広美術館コレクション選集	15人(8人)
11月1日(土)	秋いっぱい リース作り	帯広美術館コレクション選集	58人(37人)
1月17日(土)	お面作りで大変身!	木のワンダーランド	104人(67人)
2月21日(土)	紙ねんどで・ゲンダイビジュツ	アメリカ現代美術展	26人(15人)
3月20日(土)	アイディアいろいろ あそび道具	アメリカ現代美術展	34人(20人)

平成16年度

開催期日	工作内容	関連展覧会	利用者数(内・子どもの数)
4月24日(土)	切って・はって おもしろ絵画	ローゼンクイスト:<水の惑星によろこ>	11人(6人)
6月5日(土)	とべ!とべ紙ひこうき	安野光雅・絵本の世界展	30人(18人)
7月31日(土)	わくわく・紙染めあそび	松浦武四郎・時代と人びと(貸館)	22人(13人)
10月2日(土)	ピカソもビックリ!コスチューム作り	ピカソ、マティスと20世紀の画家たち	77人(54人)
11月6日(土)	アイディアいっぱい 版画あそび	遊べや遊べ!子ども浮世絵展	23人(13人)
1月15日(土)	あやつり人形を作ろう!	ピノッキオ★その誕生から現代まで	67人(43人)
2月26日(土)	描いて・たたんで とびだす絵本	森の薫り、そして巴里の風	10人(6人)



「みんなで作ろう!こいのぼり」



「わくわく・紙染めあそび」

ミュージアム・ミステリー

小学中・高学年を対象とした事業。鑑賞や制作のためのさまざまな体験プログラム・ワークショップをつうじ、自ら感じ考えながら作品とふれあう創造的な鑑賞姿勢を導き出すべく企画した。

平成15年度

ミュージアム・ミステリー2003サマー 「光と影の迷宮でんせつ」

開催日＝7月12日(土)、7月19日(土) 午前10時～午後4時

会場＝当館講堂、ホール、主展示室ほか

参加者＝小学3～6年生 計55人

(7月12日＝26人、7月19日＝29人 応募制)

ジュニアボランティア＝中学生12人

関連展覧会＝ヴェネツィアの光と影

プログラム

展覧会ツアー①「この弓矢はだれのもの? 神様ご愛用グッズをさがせ!」

展覧会ツアー②「変身!ビフォー・アフター よみがえる絵画のひみつ」

ワークショップ「ヴェネツィアだより 名所絵ハガキを作ろう!」

展覧会ツアーでは、宗教画・神話画や修復絵画に焦点をあてたクイズにより、提示した図柄に対応する作品を探しながら展示室を一巡。絵画には物語を伝える役割があることや、作品を長く伝える技術があることを学び、絵画に対する関心を高めるきっかけ

ミュージアム・ミステリー2003ウィンター 「たんけん! 不思議いっぱいアートの森」

開催日＝12月6日(土)、12月13日(土) 午前10時～午後4時

会場＝当館講堂、ホール、主展示室ほか

参加者＝小学3～6年生 計58人

(12月6日＝31人、12月13日＝27人 応募制)

ジュニアボランティア＝中学生7人

関連展覧会＝木のワンダーランド

プログラム

展覧会ツアー「シルエット・クイズ 黒い影のナゾを追え!」

制作ワークショップ「アートの森のエンピツ作りに挑戦!」

鑑賞ワークショップ「レッツ・ゴー!ワンダーランド大作戦」

出品作品を形どったシルエットを提示しそれに当てはまる作品を探す展覧会ツアー、出品作を参考におがくず粘土を用いた工作を行う制作ワークショップに続き、後半は、各々気になる作品について、「それをどこかに連れて行くとすればどんなところか」と



ミュージアム・ミステリー2003サマー／ワークショップ
「ヴェネツィアだより 名所絵ハガキを作ろう!」

とした。後半は風景画のなかから各々一枚を選び、自分がその地を訪れたという設定で絵ハガキを作成。造形と言葉による表現をつうじ、作品との距離を縮め鑑賞を深めることをねらいとした。



ミュージアム・ミステリー2003ウィンター／
鑑賞ワークショップ「レッツ・ゴー! ワンダーランド大作戦」

いう設定でイメージを描くワークショップを実施。想像力をはたらかせながら作品を味わう手法により、立体造形の魅力にふれる機会とした。

平成16年度

ミュージアム・ミステリー2004サマー
「絵本たんけん! アンノさんの不思議な旅」

開催日＝6月19日(土)、6月26日(土) 午前10時～午後4時

会場＝当館講堂、ホール、主展示室ほか

参加者＝小学3～6年生 計59人

(6月19日＝30人、6月26日＝29人 応募制)

ジュニアボランティア＝中高生6人

関連展覧会＝安野光雅・絵本の世界展

プログラム

展覧会ツアー「フィクションにご用心!? キングコングをさがせ!」

鑑賞ワークショップ「ジェスチャーに注目! こびとたちは何て?」

制作ワークショップ「★ミステリー絵本工房★みんなでくあいうえおをつなごう!」

絵本原画の部分拡大図を出品作品のなかから見つけだしながら展示室を一巡。続く鑑賞ワークショップでは、作品の登場人物が何と言っているか、その身振りや周囲の風景から考え吹き出しスタイルのワークシートに書きこむプログラムを実施。後半の鑑賞ワークショップでは、出品作をヒントに、各五十音で始まる物の絵柄を描きこんだ図柄を作成、共同でオリジナルのあいうえおの絵本を完成させ、「作る」と「見る」ことの両方で美術の楽しみを体験した。



ミュージアム・ミステリー2004サマー／鑑賞ワークショップ
「ジェスチャーに注目! こびとたちは何て?」／



ミュージアム・ミステリー2004サマー／制作ワークショップ
「★ミステリー絵本工房★みんなでくあいうえおをつなごう!」

ミュージアム・ミステリー2005ウィンター
「それゆけ!風景レンジャー 思い出たんけん・空想さんぽ」

開催日＝2月5日(土)、2月12日(土) 各日午前10時～12時30分、

午後2時～4時30分

会場＝当館講堂、主展示室ほか

参加者＝小学3～6年生 計32人

(2月5日＝25人、2月12日＝7人 応募制)

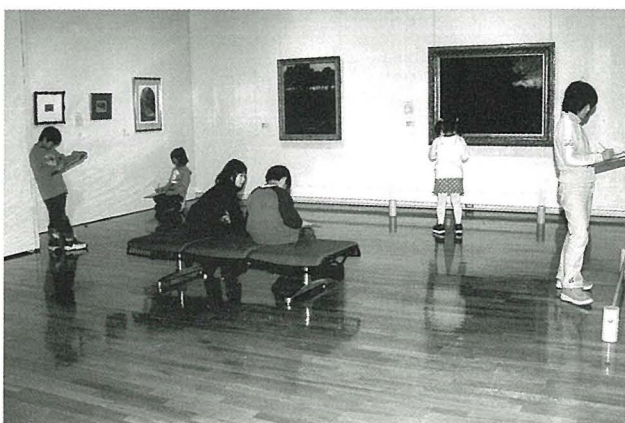
関連展覧会＝森の薫り、そして巴里の風

プログラム

ワークショップ①「思い出たんけん! キミのアルバムの名シーン」

ワークショップ②「名画はっけん! 薫りと風の空想さんぽ」

前半は、参加者各々が持参した思い出の写真について、本人がその光景にまつわるエピソードを披露。風景を見て、そのときの感覚や感情を思い起こすことで、想像力をはたらかせる姿勢を導き出し、後半への導入とした。続いて展示室に入り、気になる作



ミュージアム・ミステリー2005ウィンター／
「名画はっけん! 薫りと風の空想さんぽ」

品を1点選択。その作品に描かれた作品に実際に入り込んだという想定で、見える物、感じることなど五感をはたらかせながらイメージをふくらませ、作品の鑑賞を深めた。

団体オリエンテーション

団体観覧者(10名以上)のうち希望するグループに対して、スライドを使用しながら当館の概要と開催中の展覧会の内容を紹介するオリエンテーションを実施した。

時間＝随時

会場＝当館講堂(事前申込制、無料)

平成15年度

関連展覧会	実施回数	利用者数
マン・レイ写真展	4回	86人
ヴェネツィアの光と影	35回	1,810人
帯広美術館コレクション選集	16回	503人
木のワンダーランド	20回	832人
アメリカ現代美術展	4回	314人

平成16年度

関連展覧会	実施回数	利用者数
ローゼンクイスト<水の惑星によろこそ>	0回	0人
安野光雅・絵本の世界展	18回	1,014人
松浦武四郎・時代と人びと(貸館)	1回	162人
ピカソ、マティスと20世紀の画家たち	19回	964人
遊べや遊べ!子ども浮世絵展	12回	422人
ピノッキオ★その誕生から現代まで	5回	203人
森の薫り、そして巴里の風	2回	23人
回想・佐藤克教展(貸館)	3回	157人

博物館実習

関係各大学の依頼により、学芸員資格取得希望生の学生を受け入れ、博物館実習を実施した。受入条件として、①帯広・十勝を中心とする地元出身者で、②美術(美学・美術史、美術教育、美術実技)を先行としており、③卒業後に博物館勤務を現に希望する学生であることを原則とした。

平成15年度

受入期間＝9月9日(火)ー9月19日(金) 11日間

受入人数＝2人(東北芸術工科大学、三重大学)

実習日程

	午前10時～12時	午後1時～4時30分
9月 9日(火)	ガイダンス 施設・展覧会見学	講義「地域社会と美術館／学芸員」 講義「美術館の概要」 ビデオ学習「美術作品の保存・取扱」
9月10日(水)	学芸実務実習①(作品返却) 講義「展覧会の企画運営」	講義「生涯学習時代と美術館」 講義・実習「印刷物の編集・作成」
9月11日(木)	講義「教育普及活動の概要」 学芸実務実習②(印刷物の編集・作成)	講義・実習「美術館の広報活動」 学芸実務実習③(移動美術館準備) 学芸実務実習④(作品返却)
9月12日(金)	学芸実務実習⑤(ポスター提出作業) 講義「美術館の施設管理」	学芸実務実習⑥(二次資料の整理) 美術館実務実習(展示室監視業務)
9月13日(土)	講義・実習「視聴覚機器取扱」 教育普及活動実習①(キッズ・ミュージアム準備)	教育普及活動実習②(キッズ・ミュージアム準備) 教育普及活動実習②(キッズ・ミュージアム実施)
9月14日(日)	学芸実務実習⑦(移動美術館作品搬出)	学芸実務実習⑧(移動美術館作品搬出)
9月15日(月)	学芸実務実習⑨(印刷物の編集・作成)	博物館施設自主見学①(帯広百年記念館)
9月16日(火)	博物館施設自主見学②(神田日勝記念館)	
9月17日(水)	学芸実務実習⑩(作品写真撮影)	学芸実務実習⑩(作品写真撮影)
9月18日(木)	学芸実務実習⑪(作品額装作業)	博物館施設自主見学③(帯広市児童会館)
9月19日(金)	学芸実務実習⑫(写真資料の整理)	学芸実務実習⑪(展示記録の作成)

平成16年度

受入期間＝7月30日(金)8月10日(火) 11日間

受入人数＝2人(和光大学、筑波大学)

実習日程

	午前10時～12時	午後1時～4時30分
7月30日(金)	ガイダンス 施設・展覧会見学	講義「美術館の概要」 講義「地域社会と美術館」 講義・実習「視聴覚機器取扱」 学芸実務実習①(ワークショップ準備)
7月31日(土)	講義・実習「美術館の広報活動」 講義「教育普及活動の概要」	教育普及活動実習①(キッズ・ミュージアム実施)
8月 1日(日)	美術館実務実習(展示室監視業務) 学芸実務実習②(二次資料の整理)	講義・実習「作品・資料の収集と保存」 学芸実務実習③(ポスター資料の整理)
8月 2日(月)	博物館施設自主見学①(神田日勝記念館)	
8月 3日(火)	講義「美術館の予算と施設管理」 講義「展覧会の企画運営」	講義「生涯学習時代と美術館」 学芸実務実習④(ポスター資料の整理)
8月 4日(水)	博物館施設自主見学②(帯広市児童会館)	博物館施設自主見学③(帯広百年記念館) 学芸実務実習⑤(ポスター資料の整理)
8月 5日(木)	学芸実務実習⑥(ポスター資料の整理)	学芸実務実習⑦(撮影) 学芸実務実習⑧(ポスター資料の整理)
8月 6日(金)	教育普及活動実習②(ワークショップ準備)	
8月 7日(土)	教育普及活動実習③(ワークショップ実施)	
8月 8日(日)	教育普及活動実習④(ワークショップ実施)	
8月 9日(月)	休日	
8月10日(火)	教育普及活動実習⑤(ワークショップ作品展示)	学芸実務実習⑨(ポスター資料の整理)

移動美術館

所蔵作品を広く紹介するべく平成10年度より行なっている事業。十勝、釧路、根室、網走といった北海道東部地域において年1回開催し、地域住民の美術鑑賞の機会を拡充しようと企画されたもので、平成15年度は網走館内斜里町において開催。当館コレクションのなかから代表作50点を紹介した。

平成15年度

移動美術館2003斜里展・ゆめホール知床開館5周年記念事業 北海道立帯広美術館コレクション50選

会期＝9月16日(火)－9月21日(日) 6日間

午前9時～午後8時

会場＝斜里町公民館ゆめホール知床 公民館ホール

主催＝北海道立帯広美術館、斜里町、斜里町教育委員会

後援＝斜里町文化連盟、北のアルプ美術館、絵画グループ焚木、茫彩会
観覧料＝無料

入場者数＝1,036人

関連事業

美術講座

「帯広美術館とコレクション」

講師＝石尾乃里子(当館学芸員)

日時＝9月21日(日) 午後3時～4時

会場＝斜里町公民館ゆめホール知床 会議室2(聴講無料)

聴講者＝16人

団体オリエンテーション

日時＝9月16日(火) 午前9時～、11時～、12時30分～

会場＝斜里町公民館ゆめホール知床 公民館ホール

利用者＝82人(大栄小学校全校児童、以久科小学校全校児童、斜里小学校4年生)

ビデオ映写会

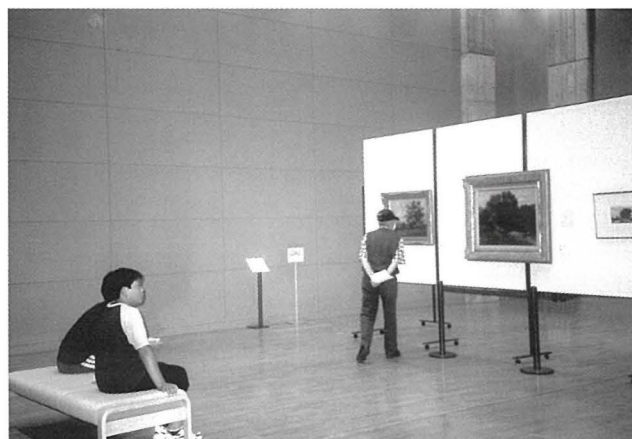
「風景画の世界」「ミレー：種まく人は今」

日時＝会期中随時

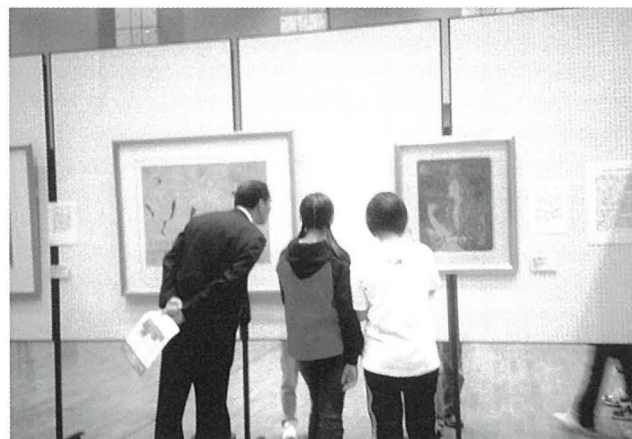
会場＝斜里町公民館ゆめホール知床 ロビー(入場無料)



会場風景



会場風景



会場風景

出品目録

■バルビゾン派の絵画

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	G.クールベ	釣り人のいる風景	1870	油彩、キャンバス	60.0×73.0
2	J-B-C.コロー	イタリアの思い出	1863	エッチング、紙	29.5×22.0
3	J-B-C.コロー	植林された平野	1866	エッチング、紙	10.0×13.0
4	Ch-E.ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865-70頃	油彩、キャンバス	81.2×65.0
5	Ch-E.ジャック	夏	19世紀後半	エッチング、紙	12.8×9.7
6	Ch-E.ジャック	雄鶏と雌鶏	19世紀後半	エッチング、紙	12.1×17.0
7	L.シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼いの	1872	油彩、キャンバス	69.1×99.8
8	L.シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンバス	32.0×47.5
9	L.シャブリ	アレスの道（ジロンド）	1870年代	エッチング、紙	14.3×20.8
10	J.デュプレ	ペリー地方の農家	1830年代	油彩、キャンバス	45.7×67.3
11	J.デュプレ	ノルマンディー地方の風景	1835	リトグラフ、紙	13.7×20.7
12	J.デュプレ	アランソン風景	1839	リトグラフ、紙	13.3×19.0
13	A.ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0×68.0
14	Ch.F.ドービニー	レバノンの西洋杉	1842	エッチング、紙	17.5×11.3
15	Ch.F.ドービニー	羊の柵囲い	1860	エッチング、紙	18.4×34.3
16	Ch.ファマン	ダニョーの沼	1874	鶏卵紙プリント	19.3×25.0
17	Ch.ファマン	〈樹木〉	1874頃	鶏卵紙プリント	25.9×19.5
18	F-L.フランセ	風景—丘陵の牛	1859	パステル、紙	54.7×82.6
19	A.ブリッケ	狼溪谷 フォンテヌブローの森	1863/1865	鶏卵紙プリント	17.7×24.0
20	K.ボドメール	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩、キャンバス	101.0×81.0
21	K.ボドメール	鹿	19世紀後半	エッチング、手彩色、紙	8.7×13.5
22	J-F.ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0×34.0
23	J-F.ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2×25.0
24	E-A.ラヴィエイユ	村の眺め	19世紀後半	油彩、板	32.8×56.0
25	L.リッシェ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7
26	Th.ルソー	ピオーのサクランボの木	1848頃	クリシェ=ヴェール、紙	22.1×27.7
27	Th.ルソー	ピオーの平原	848頃	クリシェ=ヴェール、紙	21.8×27.7

■ヨーロッパのポスター

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
28	W.エルマン	フランス製ガソリン「アンタール」	1922	リトグラフ、紙	154.0×111.0
29	カッサンドル	フランス北部鉄道	1929	リトグラフ、紙	100.0×62.3
30	カッサンドル	パリ	1935	リトグラフ、紙	104.0×62.4
31	カッサンドル（原画）	キナ酒「デュボネ」	1935	リトグラフ、紙	39.6×31.1
32	R.グリュオー	くつろぎ	1950	リトグラフ、紙	80.0×60.0
33	P.コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
34	J.シェレ	新聞「パリ風聞」	1888	リトグラフ、紙	118.4×82.3
35	J.シェレ	カフェ=コンセール「ジャルダン・ド・パリ」	1890	リトグラフ、紙	79.3×54.3
36	J.シェレ	マリアーニ・ワイン	1894	リトグラフ、紙	53.9×37.3
37	R.ショピイ	ブランシュ・ノレル	1926	リトグラフ、紙	94.5×63.0
38	Th.A.スタンラン	高名な「黒猫」一座近日来演	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1
39	C-H.デュフォー	児童画展「時を越える子ども」ブティ・パレ	1901	リトグラフ、紙	139.0×100.0
40	H.de トゥールーズ=ロートレック	エグランティース嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.0×79.0
41	J-G.ドメルグ	バゲーラ	1935	リトグラフ、紙	117.6×75.2
42	G.ファーヴル	自転車「ディレクタ」	1930	リトグラフ、紙	110.0×74.2
43	R.ファルキュッチ	日刊紙「山」	1939	リトグラフ、紙	116.8×76.4
44	プッポ	モンテ・ファイト、ナポリ	1959	リトグラフ、紙	98.5×64.0
45	P.ボナール	美術雑誌「版画とポスター」	1897	リトグラフ、紙	83.0×61.0
46	A.M.ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	リトグラフ、紙	51.5×39.4
47	J-A.メルシエ	モーリス・シュヴァリエ主演「微笑む人生」	1936	リトグラフ、紙	80.0×60.0
48	J.モレル	カンブロドン	1930	リトグラフ、紙	89.2×61.0
49	J.モレル	スペイン探訪	1941	リトグラフ、紙	98.6×60.8
50	G.ルルー	万国博覧会「光学館」—1900年の大望遠鏡	1900	リトグラフ、紙	78.5×60.0

芸術週間

道立の文化施設では、道民が芸術に親しむ気運を醸成するべく、平成11年度より文化の日をはさむ7日間を芸術週間として設定した。期間中は幅広い広報活動を行なうことで施設や事業の案内・周知に努めるとともに、一週間をつうじて開館日と各種の教育普及事業を集中的に開催。また、コレクション・ギャラリー観覧料を無料とすることで道民の関心を喚起して利用の促進を図った。

平成15年度

月 日	実 施 内 容
11月 1日(土)	キッズ・ミュージアム開催「秋いっぱい リース作り」
11月 2日(日)	ミュージアム子どもフェスタ／ファミリー講演会開催 「親子で楽しむ カラフル・アート心理楽（しんりがく）」
11月 3日(月/祝)	ミュージアム子どもフェスタ／キッズ・シアター開催「雪の女王」
11月 4日(火)	臨時開館 映写室スペシャル〈世界・美の旅〉開催「マネ／モネ」
11月 5日(水)	映写室スペシャル〈世界・美の旅〉開催「ルノワール／セザンヌ」
11月 6日(木)	映写室スペシャル〈世界・美の旅〉開催「ゴッホ／ゴーギャン」
11月 7日(金)	映写室スペシャル〈世界・美の旅〉開催「ミレー／スーラ」

期間中の開催展覧会
コレクション・ギャラリー「十勝の新時代Ⅵ 渋谷栄一展」
主展示室「帯広美術館コレクション選集 現代版画／ヨーロッパのポスター」

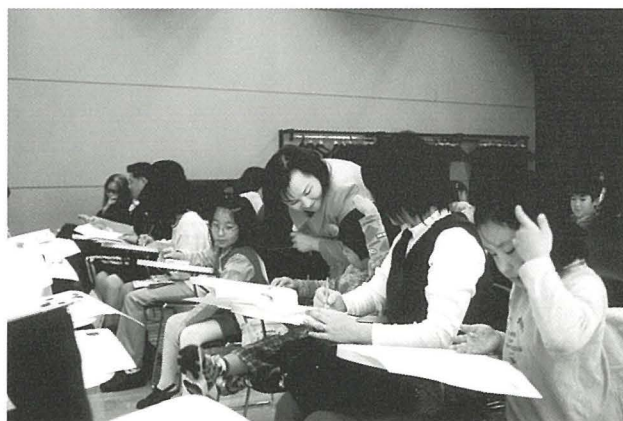
平成16年度

月 日	実 施 内 容
11月 1日(月)	臨時開館 映写室スペシャル〈極める・匠の世界〉開催 「よみがえる江戸の色：浮世絵木版彫摺」 「鉄と炎に生きる：茶の湯釜」「平安の美を追いもとめて：截金」
11月 2日(火)	映写室スペシャル〈極める・匠の世界〉開催 「よみがえる江戸の色：浮世絵木版彫摺」 「充実の無を追う：江戸小紋」「いま浮世絵にあるごとく：有松鳴海紋」
11月 3日(水/祝)	美術講演会開催「浮世絵に見る江戸の子どもたち」
11月 4日(木)	映写室スペシャル〈極める・匠の世界〉開催 「よみがえる江戸の色：浮世絵木版彫摺」 「華を蒔く：蒔絵」「漆箱の宇宙：蒔絵」
11月 5日(金)	映写室スペシャル〈極める・匠の世界〉開催 「よみがえる江戸の色：浮世絵木版彫摺」 「一枚を念ずるがごとく：和紙」「悠久の意匠を描く：紋章上絵」
11月 6日(土)	キッズ・ミュージアム開催「アイディアいっぱい 版画あそび」
11月 7日(日)	ミュージアム・ツアー開催

期間中の開催展覧会
コレクション・ギャラリー「十勝の新時代Ⅶ 半谷学展」
主展示室「遊べや遊べ！子ども浮世絵展」

ミュージアム子どもフェスタ／ウィンター子どもフェスタ

子どもを中心に家族・親子連れを対象とした事業を開催。美術館での多彩な体験活動をつうじ、美術館に対する親しみと関心をもってもらねらいのもと実施した。



「親子で楽しむカラフル・アート心理楽」神田裕子氏

ミュージアム子どもフェスタ

平成15年度

日時	事業内容	会場	聴講者・参加者数
11月2日(日) 午後2時～4時	ファミリー講演会「親子で楽しむカラフル・アート心理楽(しんりがく)」 講師＝神田裕子氏(心理カウンセラー)	当館講堂(聴講無料)	81人
11月3日(月/祝) 午後2時～3時	キッズ・シアター「雪の女王」	当館講堂(入場無料)	80人

ウィンター子どもフェスタ

平成15年度

日時	事業内容	会場	聴講者・参加者数
1月14日(日) 午前10時～午後3時	マンガ教室「秘伝!目からウロコのマンガ術」 講師＝北本善一氏(漫画家、イラスト・ルポライター)	当館講堂(応募制)	20人
1月15日(木) 午後2時～4時	もちつきと昔遊び入門「体験!日本のお正月」	当館講堂(参加無料)	208人
1月16日(金) 午後2時～4時	パントマイム・ショー「わくわく・びっくり!しぐさの世界」 出演＝村上孝志氏(パントマイム創作、造形家)	当館講堂(入場無料)	176人

平成16年度

日時	事業内容	会場	聴講者・参加者数
12月18日(土) 午後2時～4時	〈ピノッキオ・クリスマス〉映画会「ピノッキオ」 (R.ベニーニ監督・主演/2002年イタリア・アメリカ製作/日本語吹替)	当館講堂(入場無料)	126人
12月25日(土) 午後6時～7時	〈ピノッキオ・クリスマス〉ミュージアム・コンサート 演奏＝MICA(ボーカル)、藤原志津花(ピアノ)、佐々木源市(ベース)、角谷総明(ドラムス)	当館ホール(有料、観覧券付き)	128人



「わくわく・びっくり!しぐさの世界」村上孝志氏

その他

ヴェネツィアン・ナイトーイタリア絵画とワインのタベ

特別展「ヴェネツィアの光と影」に関連し、当館ボランティアしらかばの会との共催により開催した夜間開館事業。

ワインアドバイザーによるイタリア・ワイン講話と試飲、イタリア美術に関連する美術映像の上映と、展覧会観覧を組みあわせ、ヴェネツィアの文化に対する理解を深める機会を提供した。

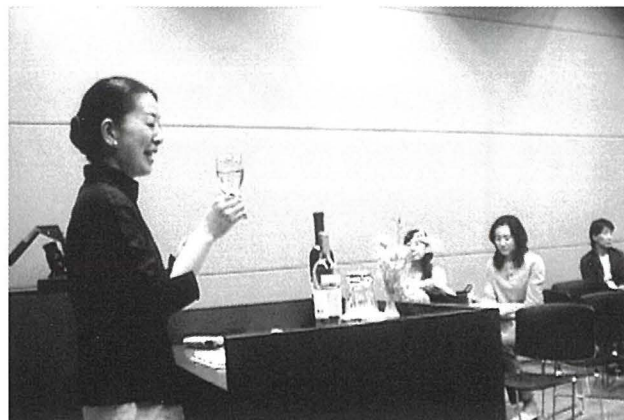
日時＝平成15年7月24日(木)、7月25日(金) 各日午後6時～

会場＝当館講堂

ワインアドバイザー＝上田真理氏(日本ソムリエ協会会員)

上映プログラム＝「ヴィーナスの舞い降りた街」

参加者数＝46人



「ヴェネツィアン・ナイト」上田真理氏

ミュージアム・ツアー

芸術週間にあわせて開催。収蔵庫やボイラー室などふだん一般の来館者には立ち入ることのできない施設のバックヤードを学芸員が案内、美術館の役割に対する理解を深めてもらうことをねらいとした。

日時＝平成16年11月7日(日)

午前11時～、午後1時～、午後2時～、午後3時～

実施場所＝当館ホール、資料室、荷解室、収蔵庫、ボイラー設備ほか

参加者数＝45人

子ども鑑賞会

特別展「遊べや遊べ!子ども浮世絵展」に関連し、作品所蔵先のくもん子ども研究所との共催により実施した小中学生のための鑑賞プログラム。作品の前での対話形式を軸に、クイズを交えながら参加者の観察と思考を促し、鑑賞を深めることをねらいとして開催した。

日時＝平成16年11月13日(土)、11月20日(土) 各日午後2時～3時
会場＝当館主展示室(応募制)
講師＝山下亮氏、内山岳志氏、竹田以和生氏(くもん子ども研究所)
参加者数＝53人



子ども鑑賞会

他団体への協力

美術の教育普及を図る目的により活動を展開する他団体について、事業協力を行なった。

日時	事業内容	会場	主催者	協力内容
平成15年8月3日(日) 午後1時～3時	小学生のための鑑賞事業 「名探偵ビスコッティ:ねらわれたベネチアの名画!」	当館主展示室	デメーテル学校運営会	協力名義の使用、内容に関わる学芸的指導助言、 施設設備の使用ほか
平成15年12月6日(土) 午後7時～9時	美術講演会 「森美術館と世界の美術館動向」 講師＝デヴィッド・エリオット氏(森美術館館長)	とかちプラザ	十勝毎日新聞社、 NPO十勝文化会議	後援名義の使用、入場整理券の配布、 「アメリカ現代美術展」に向けての気運の醸成

平成15年度 作品収集状況

区 分	前年度末 作品収蔵数		平成15年度収集数				作品総数		受託作品		
			購 入	受 贈	委託制作	計			前年度末	平成15年度	計
油 彩	60	(9.6%)	0	0	0	0	60	(9.4%)	29	0	29
日 本 画	8	(1.3%)	0	0	0	0	8	(1.3%)	1	0	1
水 彩・素 描	21	(3.3%)	0	0	0	0	21	(3.3%)	10	0	10
版 画	253	(40.5%)	10	0	0	10	263	(41.4%)	1	0	1
彫 塑	10	(1.6%)	0	0	0	0	10	(1.6%)	1	0	1
工 芸	1	(0.2%)	0	0	0	0	1	(0.2%)	0	0	0
デ ザ イ ン	239	(38.2%)	0	0	0	0	239	(37.6%)	0	0	0
写 真	33	(5.3%)	0	0	0	0	33	(5.2%)	0	0	0
合 計	625	(100%)	10	0	0	10	635	(100%)	42	0	42

購入

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
2003001	版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》楽園の鳥が温水の惑星に接近する	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	246.4×214.6
2003002	版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》水のゆくえ	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	261.0×147.3
2003003	版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》タイム・ゾーンの日没	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	201.9×147.3
2003004	版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》スカイ・ホール	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	259.7×148.6
2003005	版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》時の扉・黄金の時	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	247.7×304.8
2003006	版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》スペース・ダスト	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	168.9×267.3
2003007	版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》頭蓋のスナップ	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)、エンボス	151.1
2003008	版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》頭蓋のスナップ、ステートⅠ	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)、エンボス	151.1
2003009	版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》得たもの、失ったものーファースト・スチューデントまたはスター・キャッチャーにとって	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	138.4×96.5
2003010	版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	火の家	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	138.4×304.2

* 寸法は縦×横。

平成16年度 作品収集状況

区 分	前年度末 作品収蔵数		平成16年度収集数				作 品 総 数		受 託 作 品		
			購 入	受 贈	委託制作	計			前年度末	平成16年度	計
油 彩	60	(9.4%)	1	2	0	3	63	(9.7%)	29	0	29
日 本 画	8	(1.3%)	0	0	0	0	8	(1.2%)	1	0	1
水 彩 ・ 素 描	21	(3.3%)	0	0	0	0	21	(3.2%)	10	0	10
版 画	263	(41.4%)	0	1	0	1	264	(40.6%)	1	0	1
彫 塑	10	(1.6%)	0	2	0	2	12	(1.8%)	1	0	1
工 芸	1	(0.2%)	0	0	0	0	1	(0.2%)	0	0	0
デ ザ イ ン	239	(37.6%)	0	0	0	0	239	(36.8%)	0	0	0
写 真	33	(5.2%)	4	5	0	9	42	(6.5%)	0	0	0
合 計	635	(100%)	5	10	0	15	650	(100%)	42	0	42

購入

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
2004001	油彩	アレクサンドル・ドゥフォー	森の中での休息	1871	油彩・キャンバス	98.0×131.0
2004002	写真	ニルス＝ウド	マロニエの葉／フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ、1985年	1985	イルフォクローム	74.3×74.4
2004003	写真	ニルス＝ウド	氷面、シダの葉／フランス、リムーザン地方、ヴァンヴィエール湖、1987年	1987	イルフォクローム	99.8×99.8
2004004	写真	ニルス＝ウド	ロードデンドロンノの葉、松葉／フランス、リムーザン地方、ヴァンヴィエール湖、1987年	1987	イルフォクローム	99.9×99.7
2004005	写真	ニルス＝ウド	歩く、飛ぶ／北海道立帯広美術館、2002年	2002	イルフォクローム	90.0×124.0

受贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	寄贈者
2004006	油彩	田中 良	そよぐ	1997 (平成9)	油彩・キャンバス	162.1×130.5	田中 良氏
2004007	油彩	望月正男	暮雪	1956 (昭和31)	油彩・キャンバス	97.2×145.7	望月正男氏
2004008	版画	郭 徳俊	フォードと郭 (B)	1974 (昭和49)	リトグラフ、紙	46.4×33.5	郭 徳俊氏
2004009	彫塑	半谷 学	銀座の森 すくいとりたいもの	2003 (平成15)	海藻 (ホソジュズモ) 紙、原麻、顔料、再生素材 (花びら、葉、切り枝、パンフレット、チラシ、紙ナブキン、箸袋、シュレッダー紙)	高さ250.0×幅150.0×奥行150.0 など7点によるインスタレーション	半谷 学氏
2004010	彫塑	半谷 学	光を裏がえすための窓	2004 (平成16)	海藻 (ホソジュズモ) 紙、原麻、再生素材 (ガラス・カレット)	402.0×239.0	半谷 学氏
2004011	写真	奥野稔和	94V-0202X	1994 (平成6)	タイプCプリント	100.0×185.0	奥野稔和氏
2004012	写真	奥野稔和	94D-Museum-N-2	1994 (平成6)	タイプCプリント	119.5×137.0	奥野稔和氏
2004013	写真	奥野稔和	96V-0505X	1996 (平成8)	インクジェットプリント、ポリフィルム	89.0×149.0	奥野稔和氏
2004014	写真	奥野稔和	98V-0515X	1998 (平成10)	インクジェットプリント、ポリフィルム	80.2×222.0	奥野稔和氏
2004015	写真	ニルス＝ウド	歩く、飛ぶ／北海道立帯広美術館、2002年	2002	イルフォクローム	26.5×40.0	ニルス＝ウド氏

図版目録

凡 例

1. この目録には、平成15年4月1日から平成17年3月31日までに北海道立帯広美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は材質・形状により、次の分野に分類した。
 1. 油 彩
 2. 版 画
 3. 彫 塑
 4. 写 真
3. 各分野ごとに作品は国内作品、国外作品の順にまとめ、国内作家は姓の50音順、国外作家は姓のアルファベット順に配列した。同一作家の作品が各分野に2点以上ある場合は制作年順に配列した。
4. 各作品のデータ記載事項と順序は次のとおりである。

作家名、作家名欧文、生没年、作品名、作品名欧文、制作年、技法・材質、寸法、初出展覧会(開催年/会場/受賞等)、収集年度・収蔵の経緯、作品番号(収集区分)
5. データ記載事項のうち、不詳のものは表記を省略した。
6. 寸法はセンチメートルを単位とし、平面作品には縦×横、レリーフ状の作品には縦×横×奥行、立体作品には幅×奥行×高さを示した。また、組作品のなかには、主要な1点を選択し、その寸法を記載したものがある。
7. 収集区分は、次の3つの収集方針に基づいて分類した。
 1. 道東の美術:十勝・釧路・根室・網走の北海道東部4地域にゆかりの作家・作品と関連する作品
 2. プリントアート:近現代を主とし国内外の版画やポスターを中心とした作品
 3. 西洋の美術:バルビゾン派をはじめ田園風景・農村風俗を主題とした作品
8. 収集区分の記載にあたり、複数の区分を併記したものがある。

油 彩

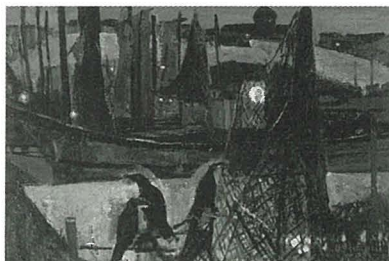
田中 良
TANAKA Ryo
1923（大正12）～

そよぐ
Breezing
1997（平成9）
油彩、キャンバス
162.1×130.5
第82回二科展（1997／東京都美術館）
平成16年度・田中良氏寄贈
2004006（道東の美術）



望月 正男
MOCHIZUKI Masao
1918（大正7）～

暮雪
Snowscape in the evening
1956（昭和31）
油彩、キャンバス
97.2×145.7
第15回創元展（1956／東京都美術館）
平成16年度・望月正男氏寄贈
2004007（道東の美術）



Alexandre DEFAUX
アレクサンドル・ドゥプオー
1826～1900

森の中での休息
Rest in a Forest
1871
油彩・キャンバス
縦98.0×横131.0
平成16年度・購入
2004001（西洋の美術）



版 画

郭 徳俊
KWAK Duck-Jun
1923（大正12）～

フォードと郭（B）
Ford and Kwak (B)
1974（昭和49）
リトグラフ、紙
46.4×33.5
平成16年度・郭徳俊氏寄贈
2004008（プリントアート）



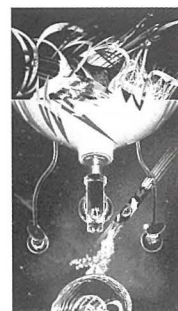
James ROSENQUIST
ジェームズ・ローゼンクイスト
1933～

《水の惑星にようこそ》楽園の鳥が温水の惑星に接近する
The Bird of Paradise Approaches the Hot Water Planet, from Welcome to the Water Planet
1989
リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ（着彩手漉き紙）
246.4×214.6
平成15年度・購入
2003001（プリントアート）



James ROSENQUIST
ジェームズ・ローゼンクイスト
1933～

《水の惑星にようこそ》水のゆくえ
Where the Water Goes, from Welcome to the Water Planet
1989
リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ（着彩手漉き紙）
261.0×147.3
平成15年度・購入
2003002（プリントアート）



James ROSENQUIST
ジェームズ・ローゼンクイスト
1933～

《水の惑星にようこそ》タイム・ゾーンの日没
Sun Sets on the Time Zone, from Welcome to the Water Planet
1989
リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ（着彩手漉き紙）
201.9×147.3
平成15年度・購入
2003003（プリントアート）



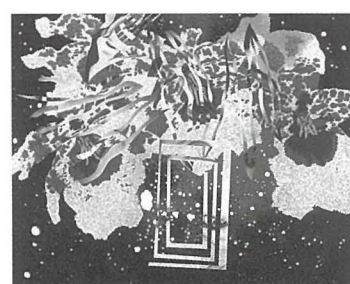
James ROSENQUIST
ジェームズ・ローゼンクイスト
1933～

《水の惑星にようこそ》スカイ・ホール
Sky Hole, from Welcome to the Water Planet
1989
リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ（着彩手漉き紙）
259.7×148.6
平成15年度・購入
2003004（プリントアート）



James ROSENQUIST
ジェームズ・ローゼンクイスト
1933～

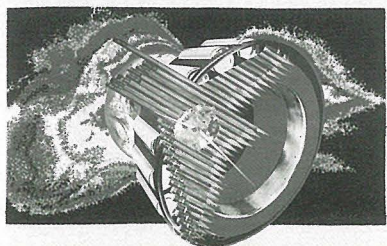
《水の惑星にようこそ》時の扉・黄金の時
Time Door Time D'Or, from Welcome to the Water Planet
1989
リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ（着彩手漉き紙）
247.7×304.8
平成15年度・購入
2003005（プリントアート）



James ROSENQUIST
ジェームズ・ローゼンクイスト
1933～

《水の惑星によろこそ》スペース・ダスト
Space Dust, from Welcome to the Water Planet

1989
リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ（着彩手漉き紙）
168.9×267.3
平成15年度・購入
2003006（プリントアート）



James ROSENQUIST
ジェームズ・ローゼンクイスト
1933～

《水の惑星によろこそ》頭蓋のスナップ
Skull Snap, from Welcome to the Water Planet

1989
リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ（着彩手漉き紙）、エンボス
直径151.1
平成15年度・購入
2003007（プリントアート）



James ROSENQUIST
ジェームズ・ローゼンクイスト
1933～

《水の惑星によろこそ》頭蓋のスナップ、ステート I
Skull Snap, State I, from Welcome to the Water Planet

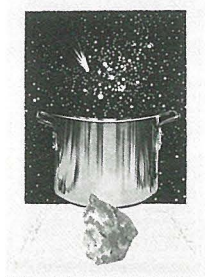
1989
リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ（着彩手漉き紙）、エンボス
直径151.1
平成15年度・購入
2003008（プリントアート）



James ROSENQUIST
ジェームズ・ローゼンクイスト
1933～

《水の惑星によろこそ》得たもの、失ったもの
—ファースト・スチューデントまたはスターキ
ャッチャーにとって
Caught One Lost One for the Fast Student or Star
Catcher, from Welcome to the Water Planet

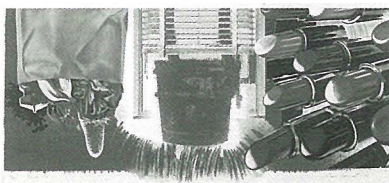
1989
リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ（着彩手漉き紙）
138.4×96.5
平成15年度・購入
2003009（プリントアート）



James ROSENQUIST
ジェームズ・ローゼンクイスト
1933～

火の家
House of Fire, from Welcome to the Water Planet

1989
リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ（着彩手漉き紙）
138.4×304.2
平成15年度・購入
2003010（プリントアート）



彫

塑

半谷 学

HANGAI Manabu
1963 (昭和38) ~

銀座の森 すくいとりたいもの

The Ginza in a grove : They were gathered and became paper

2003 (平成15)

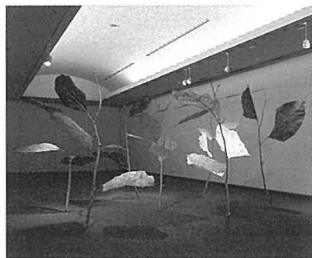
海藻 (ホソジュズモ) 紙、原麻、顔料、再生素材 (花
びら、葉、切り枝、パンフレット、チラシ、紙ナプキ
ン、箸袋、シュレッダー紙)

高さ250.0×幅150.0×奥行150.0など7点によるインス
タレーション

銀座プロジェクト：すくいとりたいもの展 (2003/プ
ラス・マイナス・ギャラリー)

平成16年度・半谷学氏寄贈

2004009 (道東の美術)



半谷 学

HANGAI Manabu
1963 (昭和38) ~

光を裏がえすための窓

Window for turning light over

2004 (平成16)

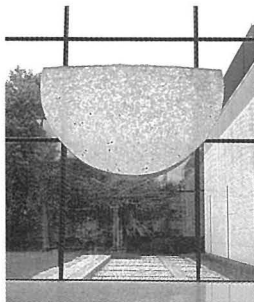
海藻 (ホソジュズモ) 紙、原麻、再生素材 (ガラス・
カレット)

402.0×239.0

十勝の新時代Ⅶ 半谷学展 (2004/北海道立帯広美術
館)

平成16年度・半谷学氏寄贈

2004010 (道東の美術)

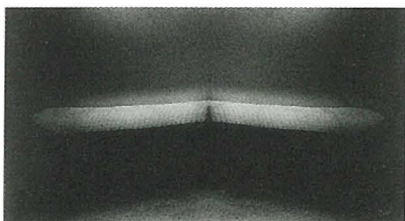


写真

奥野 稔和
OKUNO Toshikazu
1939 (昭和14) ~

94V-0202X

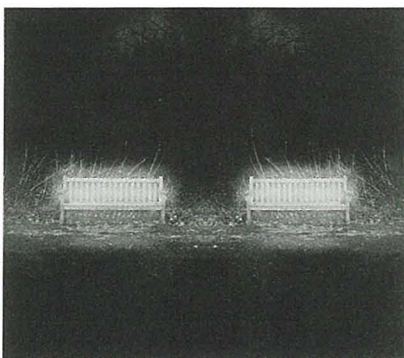
1994 (平成6)
タイプCプリント
100.0×185.0
第23回現代日本美術展 (1994/東京都美術館/毎日
現代美術大賞)
平成16年度・奥野稔和氏寄贈
2004011 (プリントアート)



奥野 稔和
OKUNO Toshikazu
1939 (昭和14) ~

94D-Museum-N-2

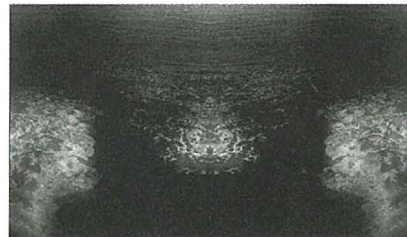
1994 (平成6)
タイプCプリント
119.5×137.0
第24回現代日本美術展 (1995/東京都美術館)
平成16年度・奥野稔和氏寄贈
2004012 (プリントアート)



奥野 稔和
OKUNO Toshikazu
1939 (昭和14) ~

96V-0505X

1996 (平成8)
インクジェットプリント、ポリフィルム
89.0×149.0
個展 (1996/アトリエ西宮)
平成16年度・奥野稔和氏寄贈
2004013 (プリントアート)



奥野 稔和
OKUNO Toshikazu
1939 (昭和14) ~

98V-0515X

1998 (平成10)
インクジェットプリント、ポリフィルム
80.2×222.0
Ge展 (1998/京都市美術館)
平成16年度・奥野稔和氏寄贈
2004014 (プリントアート)

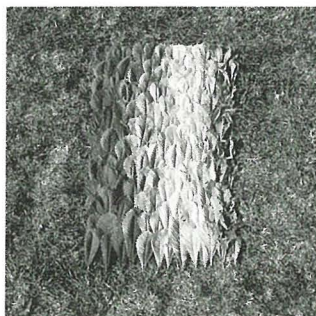


NILS-UDO
ニルス=ウド
1937~

マロニエの葉/フランス、オート=ソーヌ県、
エクヴィレイ、1985年
Horse Chestnut Leaves/Équevilley, France, 1985

1985
イルフォクローム
74.3×74.4

平成16年度・購入
2004002 (プリントアート)

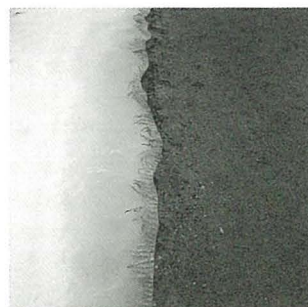


NILS-UDO
ニルス=ウド
1937~

氷面、シダの葉/フランス、リムーザン地方、
ヴァシヴィエール湖、1987年
Ice Surface, Fern Leaves/Vassivière, Limousin, France
1987

1987
イルフォクローム
99.8×99.8

平成16年度・購入
2004003 (プリントアート)



NILS-UDO

ニルス=ウド

1937～

ロードデンドロンの葉、松葉／フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖、1987年
Rhododendron Leaf Pine Needles / Vassivière,
Limousin, France 1987

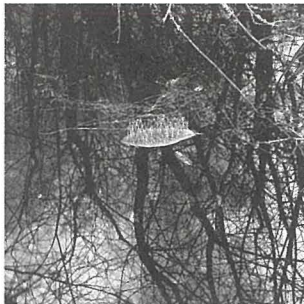
1987

イルフォクローム

99.9×99.7

平成16年度・購入

2004004 (プリントアート)



NILS-UDO

ニルス=ウド

1937～

歩く、飛ぶ／北海道立帯広美術館、2002年
Walk, Fly / Hokkaido Obihiro Museum of Art, 2002

2002

イルフォクローム

90.0×124.0

平成16年度・購入

2004005 (プリントアート)



NILS-UDO

ニルス=ウド

1937～

歩く、飛ぶ／北海道立帯広美術館、2002年
Walk, Fly / Hokkaido Obihiro Museum of Art, 2002

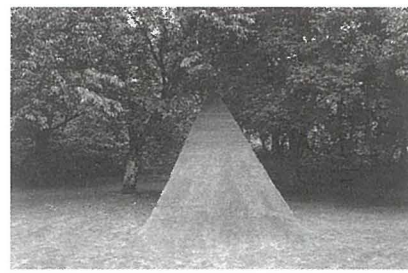
2002

イルフォクローム

26.5×40.0

平成16年度・ニルス=ウド氏寄贈

2004015 (プリントアート)



美術作品の貸出

平成15年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	目的
彫刻	中江紀洋	H A H A (祈り)	釧路市立美術館	平成15年7月26日 } 平成15年9月15日	「Art Spirit/くしろの造形2 中江紀洋」展出品 (釧路市立美術館)
油彩	神田日勝	画室E	神田日勝記念館	平成15年8月19日 } 平成15年11月8日	「ぼくはここにいる」展出品 (神田日勝記念館)
版画	多賀 新	魚 No.2(食傷)	北海道立釧路芸術館	平成15年7月25日	「ももちゃん芸術祭 ワォ！」展出品 (北海道立釧路芸術館)
版画	多賀 新	魚 No.17(シーラカンス)		}	
版画	手島圭三郎	人魚と破船		平成15年9月20日	
版画	中谷有逸	三羽の鳥(水辺の形)			
版画	中谷有逸	三羽の鳥(夜に飛ぶ)			
油彩	橋原武正	子供の国			
油彩	福井正治	没陽一野一			
油彩	福井正治	野の鳥			
油彩	矢柳 剛	海…そして今は(No.2)			
版画	矢柳 剛	飛んだエンピツ 青い空のような花			
工芸	伽井丹彌	人形譚	日本テレビ放送網株式会社 イノセンス製作委員会	平成15年12月16日 } 平成16年4月2日	「球体間接人形展」出品 (東京都現代美術館)

平成16年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	目的
油彩	望月正男	落日	釧路市立美術館	平成16年9月18日 } 平成16年11月10日	「Art Spirit/くしろの造形3 望月正男」展出品 (釧路市立美術館)
油彩	寺島春雄	柵と人	神田日勝記念館	平成16年8月19日 } 平成17年2月13日	「さえぎられた世界」展出品 (神田日勝記念館)
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	「水の惑星によこそ」 楽園の鳥が温水の惑星に接近する	北海道立釧路芸術館	平成17年1月23日	「光と影の彼方に」展出品 (北海道立釧路芸術館)
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	「水の惑星によこそ」 スカイ・ホール		}	
版画	佐藤克教	不毛の驕り	佐藤克教回顧展市民実行委員会	平成17年8月26日	「回想・佐藤克教展」出品 (北海道立帯広美術館)
版画	佐藤克教	土色の午後		平成17年3月17日	
版画	佐藤克教	冥い海		}	
版画	佐藤克教	土色の午後		平成17年3月31日	

特別観覧

平成15年度

内 訳	撮 影						複 写	熟 覧	原版使用	その他	合 計
	研 究	展 示	出 版	放 送	上 映	その他 (ネット配信等)					
件 数	0	0	2	0	0	0	0	1	5	0	8

平成16年度

内 訳	撮 影						複 写	熟 覧	原版使用	その他	合 計
	研 究	展 示	出 版	放 送	上 映	その他 (ネット配信等)					
件 数	1	0	2	0	0	0	0	1	3	0	7

平成15年度

◇講 堂

期日	事業内容	実施団体	利用者数
7月6日(日)	デメーテル学校 #005「ベネチア・ビエンナーレ爆笑報告会—ベネチア大作戦」	デメーテル学校運営会	37人
7月13日(日)	デメーテル学校 #007「呼吸のためのプロジェクト〈酸素に触れる〉コンセプト説明会」 #008「小林重予の造形世界」	デメーテル学校運営会	16人 7人
12月14日(日)	佐藤克教回顧展実行委員会	佐藤克教回顧展実行委員会	54人
1月6日(火)	デメーテル学校 #020「新春アート園遊会—小児病棟プロジェクト報告&ワークショップ」	デメーテル学校運営会	25人

平成16年度

◇講 堂

期日	事業内容	実施団体	利用者数
4月15日(木)	柏華会版画研修会	柏華会	40人
7月23日(金)	松浦武四郎展講演会「松浦武四郎をめぐる人びと」	十勝毎日新聞社	40人
7月24日(土)	デメーテル学校 #027「パブリックアートの光と影—マチに飾り物は必要か」 #028「シンポジウム〈とびだせ☆とびこめ☆美術館〉参加報告」	デメーテル学校運営会	16人 16人
7月25日(日)	松浦武四郎展講演会「武四郎と十勝」	十勝毎日新聞社	71人
10月27日(水)	講座「公文式の原点と寺子屋」	くもん子ども研究所	26人

◇主展示室

会期	展覧会名称	実施団体	利用者数
7月23日(金)～ 8月22日(日)	松浦武四郎・時代と人びと 内容：北海道の名付け親として知られる松浦武四郎は幕末期の探検家であり、趣味人でもあった。本展では2002年に発見された、詳細な探査に基づく「北海道国郡検討図」を中心に構成し、幕末明治期の文人や画家、尊皇攘夷活動家たちとの幅ひろい交友と趣味に関わる諸資料をもとに松浦武四郎の世界を紹介した。	十勝毎日新聞社	4,453人
3月20日(日)～ 3月31日(木)	版に刻む心の變 回想・佐藤克教展 内容：十勝管内中札内村生まれの版画家で、2003年に55歳で急逝した全道展会員、佐藤克教を追悼する展覧会。異形の生命体を綿密な線描で表した独特の版画世界により、川上澄夫美術館木版画大賞展で準大賞、大賞を連続受賞するなど活躍した。その全画業を161点の作品により回顧。	佐藤克教回顧展市民実行委員会	2,103人

名 簿

北海道立帯広美術館協議会委員名簿（平成17年3月31日現在）

役職名	氏 名	現 職
会 長	杉本 久子	帯広少年院講師
副会長	瀧川 秀敏	平原社美術協会会長
委 員	石川 清美	帯広市婦人団体協議会
委 員	石澤 正	標茶町教育委員会教育長（釧路管内教育委員会連絡協議会教育長部会長）
委 員	唐澤 亀三	帯広市立明星小学校長（帯広市校長会副会長）
委 員	河合 正満	帯広市商工会議所専務理事
委 員	惣万 恵子	根室市女性のつどい協議会副会長
委 員	中尾 悦子	医療法人帯広クリニック勤務
委 員	中鉢 弘一	津別町教育委員会教育長（網走管内教育委員会連絡協議会教育長部会長）
委 員	平岡 育子	釧路市女性団体協議会会長
委 員	松崎 拓郎	NPO十勝文化会議教育部会長
委 員	宮西 義憲	芽室町教育委員会教育長（十勝管内教育委員会連絡協議会教育長部会長）

*委員の任期は平成15年6月27日から平成17年6月26日まで。

北海道立帯広美術館職員名簿

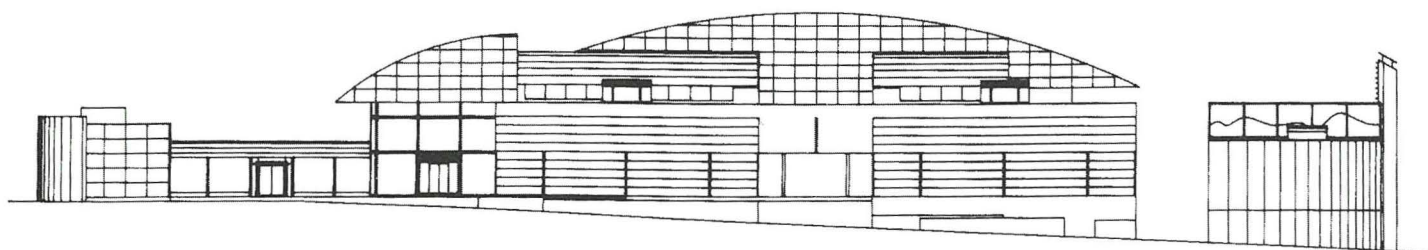
平成15年度（平成16年3月31日現在）

職 名	氏 名	発令年月日
館長（非常勤）	小野寺 浩	平成13年4月1日
副館長	浅川 泰	平成14年4月1日
管理課長	永井 進	平成15年4月1日
主 査	鈴木 徳光	平成12年10月1日
主 事	山本亜矢子	平成13年4月1日
学芸課長	寺嶋 弘道	平成3年4月1日
主任学芸員	平 利弘	平成14年4月1日
学芸員	石尾乃里子	平成12年4月1日
主事（非常勤）	赤尾 幸	平成14年4月1日
主事（非常勤）	伊藤 昭子	平成9年9月1日
主事（非常勤）	菊池 美雪	平成7年4月1日
主事（非常勤）	高田 佳子	平成9年11月1日
主事（非常勤）	冷水 聖子	平成8年4月1日
主事（非常勤）	真柳 友子	平成14年4月1日
主事（非常勤）	山川 千里	平成14年3月1日

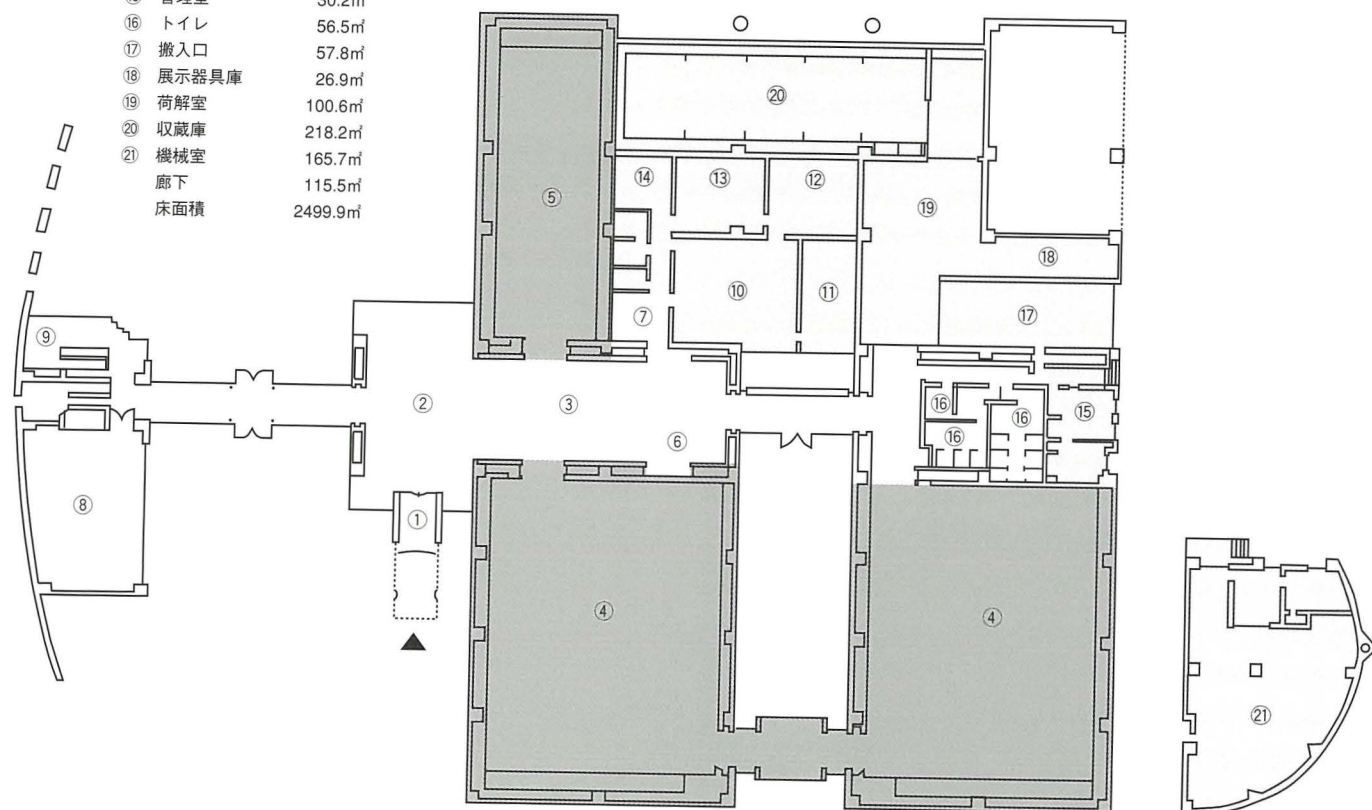
平成16年度（平成17年3月31日現在）

職 名	氏 名	発令年月日
館長（非常勤）	小野寺 浩	平成13年4月1日
副館長	清原 敬史	平成16年4月1日
管理課長	永井 進	平成15年4月1日
主 査	管野 益美	平成16年4月1日
主 事	林 克明	平成16年4月1日
学芸課長	苫名 真	平成16年4月1日
主任学芸員	平 利弘	平成14年4月1日
学芸員	石尾乃里子	平成12年4月1日
主事（非常勤）	伊藤 昭子	平成9年9月1日
主事（非常勤）	菊池 美雪	平成7年4月1日
主事（非常勤）	高田 佳子	平成9年11月1日
主事（非常勤）	冷水 聖子	平成8年4月1日
主事（非常勤）	真柳 友子	平成14年4月1日
主事（非常勤）	山川 千里	平成14年3月1日

館内案内図



①	風除室	12.1㎡
②	ロビー	123.1㎡
③	ホール	209.9㎡
④	主展示室	841.9㎡
⑤	常設展示室	209.5㎡
⑥	売店	
⑦	授乳コーナー	5.3㎡
⑧	講堂	98.4㎡
⑨	喫茶コーナー	36.7㎡
⑩	事務室	72.3㎡
⑪	館長室	32.9㎡
⑫	資料室	36.0㎡
⑬	会議室	35.7㎡
⑭	準備室	14.7㎡
⑮	管理室	30.2㎡
⑯	トイレ	56.5㎡
⑰	搬入口	57.8㎡
⑱	展示器具庫	26.9㎡
⑲	荷解室	100.6㎡
⑳	収蔵庫	218.2㎡
㉑	機械室	165.7㎡
	廊下	115.5㎡
	床面積	2499.9㎡



展示部門 ■■■
管理・事務部門 □□□

建築概要

●位 置	帯広市緑ヶ丘2番地1
●構 想 設 計	アトリエアク（公開設計競技最優秀）
●基 本 設 計	アトリエアク・太洋共同企業体
●実 施 設 計	アク・日本設計・谷津共同企業体
●工事施工者	
建 築	宮坂・萩原・曾根・市川・大道共同企業体（1、2期）
電 気 設 備	相互電業(株)（1期）
空 気 調 和 設 備	森設備工業(株)（1期）
電 力 設 備	相互・柴野・誠和・テーエス・長島共同企業体（2期）
通 信 設 備	北口・アサヒ・振興・扶桑・樋口共同企業体（2期）
衛 生 設 備	フジ・梶山・中林共同企業体（2期）
空 気 調 和 設 備	森・三洋・勝平・道東・浅岡共同企業体（2期）
●総 工 事 費	約13億4千700万円
●工 期	
	起工 平成元年10月9日
	竣工 平成3年3月25日
●敷 地 面 積	7,000㎡
●建 物 面 積	
	建面積 2,499.99㎡
	延面積 3,521.60㎡
●構 造 概 要	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
●仕 上	
〔外 装〕	
外 壁	大理石（ライムストーン） コンクリート打放し小叩仕上 アルミパネル
屋 根	アルミ垂鉛メッキ銅板葺
屋 上	露出アスファルト防水トップコート仕上
〔内 装〕	
ロビーホール床	テラゾーブロック
主展示室床	フローリング
常設展示室床	タイルカーペット
ロビーホール壁	大理石（ライムストーン） 合成樹脂系軽量骨材吹付
展 示 室 壁	石膏ボード 一部ラワンベニア下地クロスEP仕上
ロビーホール天井	合成樹脂系軽量骨材吹付
展示室天井	岩綿吸音板EP仕上

設備概要

●電 気 設 備	
受変電設備	受電電圧 6.6KV 変圧器容量 450KVA
非常電源設備	ディーゼル機関123PS 3,000RPH 発電機 98KVA 3相 200V
動 力 設 備	防災用動力 排煙機 11KW×3 消火ポンプ5.5KW×1
電 灯 設 備	展示室 壁面照明 退色防止蛍光灯（調光式） ロビー 間接照明 蛍光灯 講 堂 ワイヤメッシュ天井内埋込蛍光灯
電 話 設 備	電子ボタン電話
放 送 設 備	防災一般兼用アンプ160W
テレビ共聴設備	OCTV（帯広ケーブルTV）による共聴
火災報知設備	P1級受信機
視聴覚設備	上降式ビデオプロジェクター 1式 音声・映像ラック 1式 映写設備（16mmフィルム、35mmスライド） 1式
●機 械 設 備	
空 気 調 和 設 備	
設定温湿度	
常設展示室、主展示室	
夏	24℃（21～25℃）55%（50～60%）
冬	23℃（21～24℃）50%（45～55%）
収蔵庫、展示ケース	
年間22℃（20～24℃）55%（40～60%）	
*（ ）内は可変調整範囲、設定精度は温度±1℃ 湿度±3%	
熱源機器	
空冷チリングユニット	冷却能力 240,000Kcal/H
吸収式冷温水発生機	冷却能力 100USRT
	暖房能力 253,000Kcal/H
温 水 機	暖房能力 500,000Kcal/H
空 気 調 和 機	
主展示室	2系統
常設展示室、荷解室	1系統
展示ケース	1系統
収蔵庫	1系統
ロビー、ホール	1系統
管理諸室	1系統
衛 生 設 備	
給水設備	市水道使用
排水設備	市下水道放流
給湯設備	電気温水機
消火設備	屋内消火栓設備、ハロン消火設備

沿革

昭和62年 7 月	道東地域道立地方美術館設置調査費計上
昭和63年 2 月	帯広市への道立地方美術館設置を決定
昭和63年 4 月	北海道立帯広美術館設置基本構想策定
昭和63年 5 月	北海道立帯広美術館構想設計競技実施
昭和63年10月	北海道立帯広美術館構想設計競技入選作品決定
平成元年 3 月	北海道立帯広美術館基本設計完了
平成元年 8 月	北海道立帯広美術館実施設計完了
平成元年10月	北海道立帯広美術館建設工事着工
平成 3 年 3 月	北海道立帯広美術館建設工事竣工
平成 3 年 4 月	北海道立美術館条例の一部改正により、北海道立帯広美術館設置 北海道立帯広美術館職員を発令、組織発足 初代館長、室田浩志発令
平成 3 年 9 月	北海道立帯広美術館落成、開館記念式、屋外彫刻除幕（平成 3 年 9 月21日） 一般公開（平成 3 年 9 月22日）
平成 4 年 5 月	日本建築学会北海道支部第17回北海道建築賞受賞（平成 4 年5月21日授賞式）
平成 4 年 6 月	照明学会照明普及賞受賞（平成 4 年 6 月18日授賞式）
平成 4 年12月	第9回帯広市都市景観賞受賞（建物）（平成 4 年12月 4 日授賞式）
平成 6 年 4 月	第 2 代館長、阿部蛟発令
平成 7 年12月	公共建築賞北海道優秀賞受賞（平成 7 年12月 7 日授賞式）
平成 8 年 6 月	入館者50万人達成（平成 8 年 6 月11日）
平成 9 年 1 月	開館 5 周年記念式（平成 9 年 1 月17日）
平成 9 年 4 月	第 3 代館長、長谷川吉廣発令
平成11年 7 月	第 4 代館長、上原脩平発令
平成13年 1 月	入館者80万人達成（平成13年 1 月 7 日）
平成13年 4 月	第 5 代館長、小野寺浩発令
平成13年10月	開館10周年記念式（平成13年10月31日）
平成16年 9 月	入館者100万人達成（平成16年 9 月26日）

観覧者数一覧

平成15年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=D+E (1日あたり)	個 人				団 体 / 前 売				有料入館者計 D=B+C (／A)	無料招待免除 E (／A)
				一 般 (／B)	高大生 (／B)	小中生 (／B)	計 B (／A)	一 般 (／C)	高大生 (／C)	小中生 (／C)	計 C (／A)		
コレクション・ギャラリー		4月4日 ┌ 3月24日 (270日)	14,182人 (53人)	4,864人 (96%)	211人 (4%)	／	5,075人 (36%)	818人 (92%)	73人 (8%)	／	891人 (6%)	5,966人 (42%)	8,216人 (58%)
特 別 展	マン・レイ写真展	4月4日 ┌ 5月21日 (41日)	4,617人 (113人)	2,706人 (93%)	174人 (6%)	12人 (1%)	2,892人 (63%)	295人 (58%)	107人 (21%)	105人 (21%)	507人 (11%)	3,399人 (74%)	1,218人 (26%)
	ヴェネツィアの光と影	5月30日 ┌ 8月5日 (58日)	7,577人 (131人)	2,887人 (94%)	118人 (4%)	63人 (2%)	3,068人 (40%)	1,470人 (51%)	106人 (4%)	1,289人 (45%)	2,865人 (38%)	5,933人 (78%)	1,644人 (22%)
	帯広美術館 コレクション選集	8月15日 ┌ 11月12日 (78日)	4,070人 (52人)	1,639人 (94%)	106人 (6%)	／	1,745人 (43%)	160人 (100%)	0人 (0%)	／	160人 (4%)	1,905人 (47%)	2,165人 (53%)
	木のワンダーランド	11月21日 ┌ 1月28日 (52日)	6,003人 (115人)	1,870人 (94%)	42人 (2%)	73人 (4%)	1,985人 (33%)	173人 (8%)	4人 (1%)	1,814人 (91%)	1,991人 (33%)	3,976人 (66%)	2,027人 (34%)
	アメリカ現代美術展	2月6日 ┌ 3月24日 (41日)	6,026人 (147人)	1,974人 (91%)	201人 (9%)	／	2,175人 (36%)	1,575人 (98%)	26人 (2%)	／	1,601人 (27%)	3,776人 (63%)	2,250人 (37%)
	計	5回 (270日)	28,293人 (105人)	11,076人 (93%)	641人 (6%)	148人 (1%)	11,865人 (42%)	3,673人 (52%)	243人 (3%)	3,208人 (45%)	7,124人 (25%)	18,989人 (67%)	9,304人 (33%)
	合 計	6回 (540日)	42,475人 (79人)	15,940人 (94%)	852人 (5%)	148人 (1%)	16,940人 (40%)	4,491人 (56%)	316人 (4%)	3,208人 (40%)	8,015人 (19%)	24,955人 (59%)	17,520人 (41%)

※コレクション・ギャラリーの高大生の欄については大学生のみの人数を示す。

平成16年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=E+F (1日あたり)	個 人			団体／前売／リピーター				共 通 券			有料入館者計 E=B+C+D (／A)	無料招待免除 F (／A)	
				一 般 (／B)	高大生 (／B)	小中生 (／B)	計 B (／A)	一 般 (／C)	高大生 (／C)	小中生 (／C)	計 C (／A)	一 般 (／D)	高大生 (／D)			計 D (／A)
コレクション・ギャラリー		4月6日 3月31日 (260日)	18,441人 (71人)	2,586人 (96%)	113人 (4%)		2,699人 (15%)	668人 (87%)	98人 (13%)		766人 (4%)	4,432人 (96%)	185人 (4%)	4,617人 (25%)	8,082人 (44%)	10,359人 (56%)
特 別 展	ローゼンクイスト 〈水の惑星によこそ〉	4月6日 5月26日 (44日)	2,017人 (46人)	1,114人 (96%)	40人 (4%)		1,154人 (57%)	157人 (97%)	5人 (3%)		162人 (8%)				1,316人 (65%)	701人 (35%)
	安野光雅・絵本の世界展	6月4日 7月14日 (35日)	10,023人 (286人)	2,210人 (95%)	66人 (3%)	40人 (2%)	2,316人 (23%)	1,885人 (50%)	242人 (7%)	1,614人 (43%)	3,741人 (37%)	1,579人 (97%)	49人 (3%)	1,628人 (16%)	7,685人 (76%)	2,338人 (24%)
	ピカソ、マティスと 20世紀の画家たち	9月3日 10月13日 (35日)	11,648人 (333人)	2,738人 (93%)	155人 (5%)	43人 (2%)	2,936人 (25%)	2,830人 (87%)	21人 (1%)	415人 (12%)	3,266人 (28%)	1,642人 (96%)	72人 (4%)	1,714人 (15%)	7,916人 (68%)	3,732人 (32%)
	歌麿・国貞・広重 …遊べや遊べ！ 子ども浮世絵展	10月22日 12月1日 (36日)	3,374人 (94人)	629人 (95%)	28人 (4%)	5人 (1%)	662人 (20%)	388人 (66%)	14人 (2%)	186人 (32%)	588人 (17%)	363人 (96%)	16人 (4%)	379人 (11%)	1,629人 (48%)	1,745人 (52%)
	ピノッキオ★ その誕生から現代まで	12月7日 1月23日 (35日)	2,870人 (82人)	504人 (84%)	34人 (6%)	64人 (11%)	602人 (21%)	162人 (36%)	5人 (1%)	289人 (63%)	456人 (16%)	421人 (95%)	23人 (5%)	444人 (16%)	1,502人 (53%)	1,368人 (47%)
	森の薫り、 そして巴里の風	1月29日 3月13日 (38日)	1,451人 (38人)	192人 (96%)	8人 (4%)		200人 (14%)	141人 (97%)	4人 (3%)		145人 (10%)	427人 (94%)	25人 (6%)	452人 (31%)	797人 (55%)	654人 (45%)
	計	6回 (223日)	31,383人 (141人)	7,387人 (94%)	331人 (4%)	152人 (2%)	7,870人 (25%)	5,563人 (66%)	291人 (4%)	2,504人 (30%)	8,358人 (27%)	4,432人 (96%)	185人 (4%)	4,617人 (15%)	20,845人 (66%)	10,538人 (34%)
	計 (コレクション・ギャラリー+特別展)		7回 (483日)	49,824人 (103人)	9,973人 (95%)	444人 (4%)	152人 (1%)	10,569人 (21%)	6,231人 (68%)	389人 (4%)	2,504人 (28%)	9,124人 (18%)	8,864人 (96%)	370人 (4%)	9,234人 (19%)	28,927人 (58%)
貸 館	松浦武四郎・時代と 人びと	7月23日 8月22日 (27日)	4,453人 (165人)	2,647人 (97%)	80人 (3%)		2,727人 (61%)								2,727人 (61%)	1,726人 (39%)
	回想・佐藤克教展	3月20日 3月31日 (10日)	2,103人 (210人)	1,371人 (100%)			1,371人 (65%)								1,371人 (65%)	732人 (35%)
合 計		9回 (520日)	56,380人 (108人)	13,991人 (95%)	524人 (4%)	152人 (1%)	14,667人 (26%)	6,231人 (68%)	389人 (4%)	2,504人 (28%)	9,124人 (16%)	8,864人 (96%)	370人 (4%)	9,234人 (16%)	33,025人 (58%)	23,355人 (42%)

平成15年－16年度
北海道立帯広美術館年報

発行日 平成18年3月10日

発行者 北海道立帯広美術館
〒080-0846

帯広市緑ヶ丘2番地

Tel. (0155) 22-6963

印刷所 株式会社アド・プリント

© Hokkaido Obihiro Museum of Art 2005

